取扱説明書



JANOME

安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.



目 次(1)

◎お取り扱いについてのお願い		3
◎各部のなまえ	4	~5
◎標準付属品と収納場所	6	~8
●標準付属品	6	~ 7
●収納場所(1)(天板収納部)		8
●収納場所(2)(補助テーブル収納部)		8
◎操作方法	9~	- 25
●電源のつなぎ方		9
★スタート / ストップボタンを使用する)場合	9
★フットコントローラーを使用する場合	ì	9
 操作ボタン 	. 10 ~	- 12
● 速ご の 調即		31 כו
★フットコントローラー		. 13
●画面(タッチパネル)	. 14 ~	- 15
 ●押さえ上げ 		16
●ニーリフト		16
●格納式手元照明		17
		17
● 送り調節ねじ (榠様の形の調節)		18
●ロックキーの使い力		19 10
●押さえホルダーの外し方、付け方		20
 ● 上送り押さえのセット方法 	. 20 ~	-21
★上送り押さえの交換方法		21
● PD-H:フリーキルト押さえの取り付け	方	22
●ワイドクリアテーブルの組み立て方と使	い方…	22
●針板の外し方、付け方		23
 ● 計の取りかえ方 ● 本に滴した多や針を選ぶ日空 		24
		20
 ○ぬつ則の準備 ●下幺の進備 	~ 3 5	- 33 - 30
●「水の牟倫	. 20	26
★糸こまのセット		26
★補助糸立て棒の使い方		27
★下糸巻き	. 27 ~	- 28
★ボビンのセット	. 29 ~	- 30
●上糸の準備	.31~	- 32
★上糸かけ		31
★ 术通し ● 下 払 を 針 板 の ト に 리 き 出 す 捏 合		32 22
		00
	. 34 ~	- 54
 ● 夫用ぬいの画面 ● 宇田めいの調節両面 	 25 ~	34 こ 1つ
● ◆ 次 ∩ 0 3 0 0 3 0 0 3 0 0 1 0 3 0 0 1 0 3 0 0 1 0 3 0 0 1 0 1	. 00	36
★ぬい目のあらさ調節キー		37
★糸調子調節キー		38
★ぬい目の幅(針位置)、ぬい目のあらる	さ、	
糸調子のオート値の変更	. 39 ~	- 40
★布ガイド設定キー	.41~	- 42
● 目線(目線状 保禄) ぬい	.43~	- 49
▼旦祢‱い(出町辺旦) ★上送り畑さえの値いち	. 43 ^	~ 44 기도
★自動返しぬい		46

		40
★百割止のぬい		40
★ 但級 ぬし (左 封 位 直)		47
★二里ぬい		47
★伸縮ぬい(ニットステッチ)		47
★針板ガイドの使い方		48
★直線ぬい用針板の使い方		49
●しつけぬい		50
●つくろいぬい		51
 かがりぬい 	51-	~ 53
★かがりぬし1		51
★かがりめい 2		52
★カボウはい つ		
		02
★_ツト人ナツナ(Ⅰ)		53
★ニット人テッチ(2)		53
★ニットステッチ(3)		53
●ゴムひも付け		54
●ファゴティング		54
●バック直線ぬい・バックジグザグぬい		54
●その他の実用ぬい		
◎ボタンホール・特殊模様	55 -	~ 73
●ボタンホール・特殊模様の画面		55
●ボタンホールの種類と用途		56
●スクエアボタンホール	57 -	~ 60
★ボタンホールの調節画面		60
●メモリーボタンホール		
(スクエアボタンホール)	61-	~ 62
		00
$\square \neg (f) \land h \neg h \land h$		n -
 ●フリントホタンホール ●キーホールボタンホール. 		63
 ●ラワントホタンホール ●キーホールボタンホール 		63
 ●ラワントホタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール 		63 63 64
 ●ラワントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール 	65 ~	63 63 64 ~66
 ラワントボタンホール キーホールボタンホール ニットボタンホール たまぶちボタンホール 芯入りボタンホール 	65 ~	63 63 64 ~66 67
 ラワントボタンホール キーホールボタンホール ニットボタンホール たまぶちボタンホール 芯入りボタンホール ボタンホール安定板の使い方 	65 ~	63 63 64 ~66 67 68
 ラワントボタンホール キーホールボタンホール ニットボタンホール たまぶちボタンホール 芯入りボタンホール ボタンホール安定板の使い方 つくろいぬい (ダーニング) 	65 ~	63 63 64 ~66 67 68 ~70
 ラワントホタンホール キーホールボタンホール ニットボタンホール たまぶちボタンホール 芯入りボタンホール ボタンホール安定板の使い方 つくろいぬい (ダーニング) かんぬき止め (1) 	65 ~	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71
 ラワントホタンホール キーホールボタンホール ニットボタンホール たまぶちボタンホール 芯入りボタンホール ボタンホール安定板の使い方 つくろいぬい(ダーニング) かんぬき止め(1) かんぬき止め(2) 	65 ~	63 63 ~66 67 68 ~70 71 72
 ラワントボタンホール キーホールボタンホール ニットボタンホール たまぶちボタンホール 芯入りボタンホール ボタンホール安定板の使い方 つくろいぬい (ダーニング) かんぬき止め (1) かんぬき止め (2) 	65 -	63 63 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73
 ラリントボタンホール キーホールボタンホール ニットボタンホール たまぶちボタンホール 芯入りボタンホール ボタンホール安定板の使い方 つくろいぬい (ダーニング) かんぬき止め (1) かんぬき止め (2) アイレット 	65 -	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73
 ラリントホタンホール キーホールボタンホール ニットボタンホール たまぶちボタンホール 芯入りボタンホール ボタンホール安定板の使い方 ゴくろいぬい (ダーニング) かんぬき止め (1) かんぬき止め (2) アイレット 	65 ~ 69 ~	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73 ~ 89
 ラリントホタンホール キーホールボタンホール ニットボタンホール たまぶちボタンホール 芯入りボタンホール ボタンホール安定板の使い方 づくろいぬい (ダーニング) かんぬき止め (1) かんぬき止め (2) アイレット 節りぬいの画面 	65 ~ 69 ~ 74 ~ 74 ~	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73 ~ 89 ~ 76
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●芯入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい(ダーニング) ●かんぬき止め(1) ●かんぬき止め(2) ●アイレット ②飾りぬい ●飾りぬいの画面 ★模様選択画面 	65 - 69 - 74 - 74 -	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73 ~ 89 ~ 76 76
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●芯入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい(ダーニング) ●かんぬき止め(1) ●かんぬき止め(2) ●アイレット ②飾りぬいの画面 ◆模様選択画面 ●模様組み合わせモード 	65 ~ 69 ~ 74 ~ 74 ~	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73 ~ 89 ~ 76 ~ 76 ~ 86
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●芯入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●づくろいぬい (ダーニング) ●かんぬき止め (1) ●かんぬき止め (2) ●アイレット ②飾りぬいの画面 ●様様組み合わせモード ★模様組み合わせぬいの例 	65 - 69 - 74 - 74 -	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73 ~ 89 ~ 76 78 78
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●芯入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい (ダーニング) ●かんぬき止め (1) ●かんぬき止め (2) ●アイレット ②飾りぬい ●節りぬいの画面 ★模様選択画面 ●模様組み合わせモード ★模様組み合わせぬいの例 ★反転キーの使い方 	65 ~ 69 ~ 74 ~ 74 ~	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73 ~ 89 ~ 76 78 ~ 86 78 ~ 80
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●応入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい (ダーニング) ●かんぬき止め (1) ●かんぬき止め (2) ●アイレット ②飾りぬい ●飾りぬいの画面 ★模様選択画面 ◆模様組み合わせモード ★模様組み合わせぬいの例 ★模様頭出しキーの使い方 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 -	63 63 64 ~ 66 67 70 71 72 73 ~ 89 ~ 76 78 ~ 86 78 ~ 80 81
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●芯入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい (ダーニング) ●かんぬき止め (1) ●かんぬき止め (2) ●アイレット ②飾りぬい ●飾りぬいの画面 ★模様選択画面 ◆模様組み合わせモード ★模様組み合わせやいの例 ★模様頭出しキーの使い方 ★ブレビュー機能 	65 - 69 - 74 - 77 -	63 63 64 ~ 66 67 70 71 72 73 ~ 89 ~ 76 78 ~ 80 81
 ●フリントボタンホール●キーホールボタンホール●ニットボタンホール●たまぶちボタンホール●たまぶちボタンホール●たまぶちボタンホール●たまぶちボタンホールの安定板の使い方●ボタンホール安定板の使い方●つくろいぬい(ダーニング)●かんぬき止め(1)●かんぬき止め(2)●アイレット ◎飾りぬい●飾りぬいの画面★模様選択画面●模様組み合わせモード★模様組み合わせモード★模様頭出しキーの使い方★見様頭出しキーの使い方★プレビュー機能★寝した 	65 - 69 - 74 - 77 -	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73 ~ 89 ~ 76 78 ~ 80 81 82
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●芯入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい (ダーニング) ●かんぬき止め (1) ●かんぬき止め (2) ●アイレット ②飾りぬいの画面 ◆模様選択画面 ●様様組み合わせモード ★模様組み合わせモード ★模様頭出しキーの使い方 ★環集機能 ★福集機能 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 -	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 ~ 70 ~ 70 ~ 70 ~ 70 ~ 70 ~ 70 ~ 70 ~ 70
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●芯入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい (ダーニング) ●かんぬき止め (1) ●かんぬき止め (2) ●アイレット ②飾りぬいの画面 ◆模様選択画面 ●様様組み合わせモード ★模様組み合わせモード ★模様組み合わせしいの例 ★反転キーの使い方 ★ブレビュー機能 ★模様全長表示機能 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 - 79 -	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73 ~ 76 ~ 76 ~ 80 76 ~ 80 81 ~ 84 ~ 86 ~ 86 ~ 86
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●芯入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい (ダーニング) ●かんぬき止め (1) ●かんぬき止め (2) ●アイレット ②飾りぬいの画面 ★模様選択画面 ●様様組み合わせモード ★模様組み合わせをしいの例 ★模様頭出しキーの使い方 ★ 環様範 ★模様全長表示機能 ◆模様の長さ調節機能 (エロンゲーション 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 - 79 - 83 - 85 - 	63 63 64 ~ 66 67 68 ~ 70 71 72 73 ~ 76 ~ 76 ~ 76 ~ 80 81 ~ 80 81 ~ 80 ~ 84 ~ 86
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●たまぶちボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい (ダーニング) ●かんぬき止め (1) ●かんぬき止め (2) ●アイレット ②飾りぬい ●飾りぬいの画面 ★模様選択画面 ◆模様組み合わせモード ★模様組み合わせやしいの例 ★反転キーの使い方 ★ 定転キーの使い方 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 - 83 - 85 -)	63 63 63 64 67 70 71 72 73 73 73 73 73 73 78 78 76 78 82 81 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●花入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい (ダーニング) ●かんぬき止め (1) ●かんぬき止め (2) ●アイレット ②飾りぬい ●飾りぬいの画面 ★模様選択画面. ●模様組み合わせモード ★模様組み合わせやいの例 ★模様頭出しキーの使い方 ★ 常様範 ★模様全長表示機能 ◆模様の長さ調節機能 (エロンゲーション ●つなぎもようグループの使い方 ●ユーザー作成模様 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 - 79 -	63 63 64 ~ 66 67 70 71 72 73 ~ 70 ~ 70 72 73 ~ 70 ~ 70 72 73 ~ 70 73 ~ 70 73
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●応入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい(ダーニング) ●かんぬき止め(1) ●かんぬき止め(2) ●アイレット ②飾りぬいの画面 ★模様選択画面 ●焼様組み合わせモード ★模様組み合わせモード ★模様頭出しキーの使い方 ★模様頭出しキーの使い方 ★模様全長表示機能 ◆模様の長さ調節機能(エロンゲーション) ●つなぎもようグループの使い方 ●ユーザー作成模様 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 - 83 - 85 -)	63 63 64 ~ 66 67 71 72 ~ 70 73 ~ 70 ~ 70 ~ 70 ~ 70 ~ 70 ~ 70 ~ 70 ~ 70
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●芯入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい(ダーニング) ●かんぬき止め(1) ●かんぬき止め(2) ●アイレット ②飾りぬいの画面 ★模様選択画面 ●様様組み合わせモード ★模様組み合わせモード ★模様組み合わせしいの例 ★反転キーの使い方 ★ブレビュー機能 ★模様全長表示機能 ★模様全長表示機能 ●フィブの使い方 ●コーザー作成模様 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 - 79 - 	
 ●フリントボタンホール ●キーホールボタンホール ●ニットボタンホール ●たまぶちボタンホール ●芯入りボタンホール ●ボタンホール安定板の使い方 ●つくろいぬい(ダーニング) ●かんぬき止め(1) ●かんぬき止め(2) ●アイレット ②飾りぬいの画面 ★模様選択画面 ●様様組み合わせモード ★模様組み合わせをしいの例 ★反転キーの使い方 ★ 定転キーの使い方 ★ 定載能 ★ 使様全長表示機能 ● 「すー作成模様 ●文字ぬいの画面 ◆ 模様選択画面 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 - 83 - 85 -)	63 63 63 64 67 68 71 72 73 73 73 73 73 73 73 73 74 73 74 73 78 76 78 78 82 88 88 88 88 89 89 89 89 89 89 89
 ● ラリントボタンホール ●キーホールボタンホール ● ニットボタンホール ● たまぶちボタンホール ● 芯入りボタンホール ● ボタンホール安定板の使い方 ● つくろいぬい (ダーニング) ● かんぬき止め (1) ● かんぬき止め (2) ● アイレット ② 飾りぬいの画面 ★模様選択画面 ● 様様組み合わせモード ★模様頭出しキーの使い方 ★模様頭出しキーの使い方 ★模様全長表示機能 ★模様全長表示機能 ● つなぎもようグループの使い方 ● ユーザー作成模様 ◎ 文字ぬいの画面 ★模様選択画面 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 - 77 - 83 - 85 -) 	63 63 63 64 67 68 70 72 73 72 73 72 73 73 73 76 76 76 76 89 82 88 88 88 88 89 89 89 89 89 89
 ● フリントホタンホール ● キーホールボタンホール ● ニットボタンホール ● たまぶちボタンホール ● 芯入りボタンホール ● ボタンホール安定板の使い方 ● つくろいぬい (ダーニング) ● かんぬき止め (1) ● かんぬき止め (2) ● アイレット ② 飾りぬいの画面 ★ 模様選択画面 ● 様様組み合わせモード ★ 模様組み合わせモード ★ 模様組み合わせをいの例 ★ 模様全長表示機能 ● 友字ぬい ● 文字ぬいの画面 ▲ 葉様選択画面 ● 文字ぬいの画面 ★ 模様選択画面 	65 - 69 - 74 - 74 - 77 - 77 - 83 - 85 -) 85 -) 	63 63 63 64 67 70 72 72 73 72 73 72 73 72 73 72 73 72 73 72 73 72 73 72 73 72 73 74 72 78 78 78 78 78 78 79 78 79 79 79 79 79 79

目 次 (2)

◎用途選択	97	′~	135
●用途選択の画面(標準付属押さえ使用) S)7 ~	~ 99
★模様選択画面			99
●地ぬい			100
●ふちかがり			101
●まつりぬい	102	$2 \sim$	103
●シェルタック			104
●三つ巻きぬい			105
●ファスナー付け	106	\sim	108
●コンシールファスナー付け	109)~	110
●ギャザー			111
			112
●ボタン付け	112	$2 \sim$	114
●かんぬき止め			115
	115	\sim	116
	11/	\sim	118
●キルティンク	115) ~	127
★ E 版 GU 1			119
★こしぬい	 1 O 1		120
★ カリーキルティング	121	\sim	120
★手めい園ナルトめい			120
★バロアブル,77 (可亦ぶグザグ)			120
■田途選択の画面(オプション畑大え体	 ⊞)		128
	/m/		120
●Uボン付け			130
●パイピ ^ン グ			131
 コード付け 			132
 ●ピンタック 			133
●フリーモーションカウチング	134	$\downarrow \sim$	135
◎ 2 本針ぬい	136	i∼	137
			,
◎刺しゅう	138	}~	189
●刺しゅうの準備	138	}~	146
★刺しゅうユニットの取り付け方			138
★キャリッジアームの開放			139
★刺しゅうユニットの取り外し方			140
★押さえの交換			141
★針の交換			141
★針板の交換			141
★刺しゅう糸			142
★芯地			142
★刺しゆう枠とテンプレート	143	$s \sim$	144
★刺しゅう枠に布を張るとき			145
★刺しゆつ枠のキャリッジ取り付け			146
★ぬい始めの糸かけ			146

●ぬい方	147~172
★内蔵模様の選択方法(模様)	147~151
★内蔵模様の選択方法(文字)	152~154
) ★刺しゅう実行画面	155 ~ 159
★模様ぬい	
★フリンジ模様	161~162
★フリンジ模様(アップリケ)	163~164
★フリンジ模様(フレーム模様)…	
★文字刺しゅう選択画面	
● ★文字の組み合わせ	16/~168
★2- <i>U</i> ター	
★ホーター と乂子の組み合わせ.	
★又字の削除・挿入	
★ アツノリク 楔様	172
	173~184
	195
の反り」のめい方	186~188
 ●フラッグデザインのめいち 	189
◎模様データの保存・呼び出し	190~197
	100 104
 ●模様データの保存 	190~194
●模様データの保存	190~194 194~196
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい 	190~194 194~196 194~195
●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい ★刺しゅう	190~194 194~196 194~195 195~196
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい ★刺しゅう ● PC リンク 	190~194 194~196 194~195 195~196 195~196
 ●模様データの保存	190~194 194~196 194~195 195~196 195~197 198~212
 ●模様データの保存	190~194 194~196 194~195 195~196 195~2197 198~212
 ●模様データの保存	190~194 194~196 194~195 195~196 195~219 198~212 212
 ●模様データの保存	190~194 194~196 194~195 195~196 195~212 198~212 213 213
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい ★刺しゅう ● PC リンク ◎ミシンの設定 ◎ミシンのお手入れ ●かまと送り歯、糸切り部の掃除 ◎メッセージ画面一覧 	190~194 194~196 194~195 195~196 195~212 198~212 213 213 214
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい ★刺しゅう ● PC リンク ◎ミシンの設定 ◎ヘルプ動画 ◎トまと送り歯、糸切り部の掃除 ◎メッセージ画面一覧 ◎ミシンの調子が悪いときの直し方 	190~194 194~196 194~195 195~196 195~212 198~212 213 213 214 215~217
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい ★刺しゅう ● PC リンク ◎ミシンの設定 ◎ミシンの設定 ●かまと送り歯、糸切り部の掃除 ●かまと送り歯、糸切り部の掃除 ◎メッセージ画面一覧 ◎ミシンの調子が悪いときの直し方 ●ミシンの調子が悪いときの直し方 	190~194 194~196 194~195 195~196 195~212 198~212 213 213 214 215~217
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい ★刺しゅう ● PC リンク ◎ミシンの設定 ◎ミシンのお手入れ ●かまと送り歯、糸切り部の掃除 ◎メッセージ画面一覧 ◎ミシンの調子が悪いときの直し方 ●ミシンの調子が悪いときの直し方 (自動糸通し) 	190~194 194~196 194~195 195~196 195~212 198~212 213 213 214 215~217
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し	190~194 194~196 194~195 195~196 195~212 198~212 213 213 214 215~217 21 7
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい ★刺しゅう ● PC リンク ◎ミシンの設定 ◎ミシンの設定 ●かまと送り歯、糸切り部の掃除 ◎メッセージ画面一覧 ●ミシンの調子が悪いときの直し方 ●ミシンの調子が悪いときの直し方 (自動糸通し) ◎模様一覧表 	190~194 194~196 194~195 195~196 195~212 198~212 213 213 214 215~217 218~231
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい ★刺しゅう ● PC リンク ③ミシンの設定 ③ミシンのお手入れ ●かまと送り歯、糸切り部の掃除 ③メッセージ画面一覧 ③ミシンの調子が悪いときの直し方 ●ミシンの調子が悪いときの直し方(自動糸通し) ●【通常ぬい】 【通常ぬい】 	190~194 194~196 194~195 195~196 195~212
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい… ★刺しゅう ● PC リンク ◎ミシンの設定 ◎ペルプ動画 ◎ミシンのお手入れ… ●かまと送り歯、糸切り部の掃除 ◎メッセージ画面一覧 ◎ミシンの調子が悪いときの直し方 (自動糸通し) ◎模様一覧表 ●【通常ぬい】 ●【通常ぬい文字】 	190~194 194~196 194~195 195~196 195~197 198~212 213 213 214 215~217 218~231 218~219 218~221
 ●模様データの保存 ●模様データの呼び出し ★通常ぬい… ★刺しゅう ● PC リンク… ◎ミシンの設定 ③ミシンのお手入れ ●かまと送り歯、糸切り部の掃除 ③メッセージ画面一覧 ◎メッセージ画面一覧 ●ミシンの調子が悪いときの直し方 ●ミシンの調子が悪いときの直し方 (自動糸通し) ◎模様一覧表 ●【通常ぬい】 ●【通常ぬい文字】 ●【刺しゅうぬい模様】 	$190 \sim 194$ $194 \sim 196$ $194 \sim 195$ $195 \sim 196$ 197 197 $198 \sim 212$ 213 213 214 $215 \sim 217$ 217 $218 \sim 231$ $218 \sim 219$ $220 \sim 221$ $222 \sim 227$ $222 \sim 227$

◇ご使用の前に

① ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。

② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。





◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障が生じたときは、「◎ミシンの調子が悪いときの直し方」(215 ~ 217 ページ)により、 点検・調整を行ってください。



- 1. 天板
- 2. 天びん
- 3. 糸立て棒
- 4. 糸こま押さえ(大)
- 5. 小物置きスペース
- 6. 補助糸立て棒取り付け穴
- 7. 糸切りホルダー
- 8. ボビン押さえ
- 9. 押さえ入れ(P:刺しゅう押さえ)
- 10. 糸切り(下糸巻き用)
- 11. 糸巻き軸
- 12. 早見板
- 13. 格納式手元照明
- 14. 面板
- 15. 糸切り・糸押さえ
- 16. 補助テーブル
- 17. スケール(センチメートル / インチ表示)
- 18. 送り調節ねじ(ふた付)
- 19. ニーリフト取り付け穴
- 20. 画面 (タッチパネル)
- 21. ボタンホール切りかえレバー
- 22. 自動糸通し
- 23. 押さえホルダー止めねじ
- 24. 押さえホルダー
- 25. 押さえ
- 26. 針板
- 27. カッター(下糸切り用)
- 28. 角板
- 29. 角板開放ボタン
- 30. 針
- 31. 針止めねじ
- 32. アーム糸案内
- 33. 糸切りボタン
- 34. 押さえ上下移動ボタン
- 35. 上下停針ボタン
- 36. 止めぬいボタン
- 37. 返しぬいボタン
- 38. スタート / ストップボタン
- 39. 糸通しボタン
- 40. スピードコントロールつまみ
- 41. 糸巻きボタン







- 42. 押さえ上げ
- 43. 手さげハンドル
- 44. はずみ車
- 45. タッチペン収納場所
- 46. 通風口
- 47. USB 差し込み口 (タイプ B)
- 48. USB 差し込み口 (タイプA)
- 49. 上送り調節ダイヤル
- 50. プラグ受け
- 51. フットコントローラープラグ受け
- 52. 電源スイッチ
- 53. 刺しゅうユニット取り付け部
- 54. 刺しゅうユニット取り付け部カバー
- 55. 刺しゅうユニット
- 56. 刺しゅうユニットケース
- 57. ミシンカバー
- ※ モデルによりオプションになります。
- 58. ワイドクリアテーブル
- 59. アクセサリーケース
- ※ モデルによりオプションになります。





○標準付属品と収納場所

●標準付属品 З 2 1 6 7 8 12 10 11 16 17

15 13 14 〔刺しゅうカウチングセット〕 14. QO:前あきキルト押さえ . 20 21 18 19 22 23 G

5

4

9

25

24



31













- 1. A:基本押さえ
- ※ ミシンの押さえホルダーに付いています。
- 2. D:三つ巻き押さえ
- 3. E:ファスナー押さえ 4. F: サテン押さえ
- 5. F2: クラフト F 押さえ
- 6. G:まつりぬい押さえ
- 7. M:縁かがり押さえ
- 8.0:パッチワーク押さえ
- 9. T:ボタン付け押さえ
- 10. R:ボタンホール押さえ
- 11. ボタンホール安定板
- 12. PD-H: フリーキルト押さえ
- 13. QC: 丸穴キルト押さえ
- - 15. QV:透明キルト押さえ
- 16. Z:コンシールファスナー押さえ
- 17. P:刺しゅう押さえ
- 18. 上送り押さえホルダー
- 19. AD:上送り押さえ
- 20. PC-2: 刺しゅうカウチング押さえ(大)
- 21. PC-1: 刺しゅうカウチング押さえ(小)
- 22. 針止めひも案内
- 23. 補助糸ガイド棒
- 24. 直線ぬい用針板
 - ※補助テーブルに収納されています。
- 25. ボビン〔5 個〕 ※1個は、ミシンの内がまに入っています。
- 26. 針ケース

28

32

36

A A

35

P

0

- ・ブルー針〔11番〕…2本
- ・レッド針〔14番〕…1本
- ・パープル針〔14番〕…1本
- •2本針…1本

27. 補助糸立て棒

- 28. フェルト
- 29. ドライバー
- 30. ミシンブラシ
- 31. シームリッパー
- 32. タッチペン
- 33. キルティングガイド
- 34. 糸こま押さえ(大)
 - ※ ミシンの糸立て棒に付いています。
- 35. 糸こま押さえ(小)
- 36. 糸こま押さえ(特殊)
- 37. ネット
- 38. 糸こま受け台
- 39. ボタン付けプレート
- 40. はさみ
- 41. かま用クリーナー



●収納場所(1)(天板収納部)



補助テーブルを外すとフリーアームになります。 そでぐちやすそなどのぬい、および袋物のくち端の始 末に利用できます。



- ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてくだ さい。感電・火災の原因になります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
 ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり火災の原因になります。

★スタート / ストップボタンを使用する場合



★フットコントローラーを使用する場合



① 電源スイッチを「OFF」(切)にします。

- ② 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
- ③電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ④ 電源スイッチを「ON」(入) にします。
- ※ 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のための初期 設定が数秒間行われます。 初期設定中は針などが動きますので、ミシンに触れな いでください。
- ※ 電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切)の操作は 5 秒以上間かくをあけてください。
- ※ フットコントローラーは、モデルによりオプションに なります。
- ① 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
- フットコントローラープラグをフットコントローラー プラグ受けに差し込みます。
- ③電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ⑤ 電源スイッチを「ON」(入) にします。
- ※ フットコントローラーのコードの取り出し方と収納方 法は 13 ページをごらんください。
- ※ フットコントローラーを接続すると、スタート/スト ップボタンは使用できません。

●操作ボタン



【スタート / ストップボタン】

ボタンを押すと、ミシンはゆっくり動きはじめてからスピードコントロールつまみでセットした速さになります。 (スロースタート機能)

- もう一度押すと停止します。(通常は針が下の位置で停止します。)
- ※ ボタンのランプの色がミシン停止中は緑に、運転中は赤になります。
- ※ボタンを押してスタートさせるときおよび停止させるときに、指をはなさないで押し続けているあいだは、ミシンは低速で動きます。
- ※ ミシンを停止したとき、通常は針が下の位置で停止しますが、針を上の位置に停止することもできます。 「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】③針停止位置」(203ページ)をごらんください。
- ※ 動きはじめの速度(スロースタート機能)は、かえることができます。 「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】⑧スロースタート調節」(205 ページ)をごらんください。
- ※ フットコントローラーを接続しているときは、スタート / ストップボタンは使用できません。

【返しぬいボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

《ミシン停止中》(フットコントローラーを接続していないときのみ) ボタンを押しているあいだは低速で返しぬいを行い、指をはなすとミシンは停止します。

《ミシン運転中》

ボタンを押しているあいだは返しぬいを行い、指をはなすと前進ぬいにもどります。

■ その他の模様の場合

ぬい途中にボタンが押されると、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。 停止してから押した場合、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 実用ぬいグループの模様 🦕 🕁 およびボタンホールグループの模様 🚺 📗 🎚 は、特殊な使い方になり ます。(46、61、69、71 ページ参照)



【止めぬいボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

停止してから押した場合、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

■ その他の模様の場合

ぬい途中にボタンが押されると、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

停止してから押した場合、運転再開後、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬ いを行って自動的にミシンが停止します。

※ ぬう前にボタンを押しておくと、模様を1 つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的に ミシンが停止します。ランプが点滅します。

【上下停針ボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

ミシンが停止しているときにボタンを押すと、針の位置が上にあるときは下に、下にあるときは上に移動させる ことができます。

※ ミシンを停止したときの針位置の設定方法は、「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】③針停止位置」(203 ペ ージ)をごらんください。

【押さえ上下移動ボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

ミシンが停止しているときに、押さえの位置を上下に移動させることができます。



【糸切りボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。(自動糸切り) (針が布にささった状態でも、糸切りボタンを押すと針は上の位置に移動します。)

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのままの状態でぬうことができます。

※ 通常は、ぬい終わったあと糸切りボタンを押して上糸と下糸を切りますが、糸切りボタンを使用しないで、ぬい終わると同時に自動的に糸切りを行うこともできます。「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】①通常ぬいオートストップ時の糸切り」(206ページ)をごらんください。

糸切りの注意事項

- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合、2 本針ぬいで糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。
 - …「◎実用ぬい/●直線(直線状模様)ぬい/★直線ぬい(中針位置)/〔面板の糸切りの使い方〕欄」(44 ページ)参照
- ・ 糸こまの糸残りが少ないものは使用しないでください。糸がらみの原因になります。
- ・ 糸切り部の掃除をときどき行ってください。糸切り部に糸くずがたまると故障の原因になります。
 …「◎ミシンのお手入れ/●かまと送り歯、糸切り部の掃除」(213ページ)参照
- ・ 糸が切れず糸がからんでしまった場合は、ロックキーによりミシンをロック状態にしてから針板を外し、からんでいる糸を取り除いてください。
 …・「◎ミシンのお手入れ/●かまと送り歯、糸切り部の掃除」(213 ページ)参照

【糸通しボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯(ロックモード中)します。

針に糸を通すときに使います。 糸通し中は、ランプが点滅します。 ※ 2 本針には使用できません。

【糸巻きボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

下糸巻きのときに使います。 糸巻き中は、ランプが点滅します。



★スピードコントロールつまみ



ぬう速さは、スピードコントロールつまみやフットコン トローラーで調節します。

スピードコントロールつまみは、スタート / ストップボ タン使用時のぬう速さを調節できます。 つまみの位置が右側になるほど速くなります。

※ フットコントローラー使用時は、フットコントローラ ーをいっぱいに踏み込んだときの最高速度を調節でき ます。

★フットコントローラー



※ フットコントローラーは、モデルによりオプションに なります。

フットコントローラーの踏みかげんで、ぬう速さが調節 できます。

- ・深く踏む→速くなる。
- ・浅く踏む→遅くなる。
- ※ スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右側 の位置(最高速)にして、踏みかげんで調節してくだ さい。

初心者の方が細かいものをぬうときなどは低速側にし ておくと、フットコントローラーをいっぱいに踏み込 んでもスピードが出ないので使いやすくなります。

<u> (</u>注意

- フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因になります。
- フットコントローラーを使用する際は、周辺に糸 くずやほこりがないことを確認してください。 動作不良を起こし、けが・故障の原因になります。

【コードの取り出し方と収納方法】

- フットコントローラーを使用するときは、底のカバー を外してコードを取り出します。
- ② フットコントローラーを使用しないときは、底のふた を外してコードを巻き付けて収納します。
- ③ カバーは、先に2カ所のつめを押し込んでから取り 付けます。





●画面(タッチパネル)

〔電源投入時の通常ぬいモードの画面〕 〔ホーム画面〕 ※ 画面のキーは付属 のタッチペンか指 4 в で押してください。 うぬい (1/2) 1/29先のとがったもの などで押すと故障 の原因になります。 (タッチペンを使う ことをおすすめし 43 2 ます。) 8 タッチペン ABC ٠ + 4.5 + 2.40 × DFT 閉じるキー ンセット ンセット AT h-D (1) (2) (3) (4)(5) (6)

① ホームキー

目的の模様が属している模様グループを選ぶときに使います。ホーム画面が表示されます。

- ※ もとの画面の上に重ねて表示されるウインドウ画面が表示されます。
- ※ 閉じるキーを押すと前の画面にもどります。

【ホーム画面】

5つの模様グループ(じつようぬい/ボタンホール/アップリケ〜ユーザー作成模様/もじぬい/用途選択) 分けしたキーを押して、模様を選びます。

② 通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキー

通常ぬいを行う状態と刺しゅうを行う状態に切りかえるときに使います。

③ファイルオープンキー(194ページ参照)

ミシンや USB メモリに保存してある模様データを呼び出すときに使います。

- ④ セットキー(198ページ参照) ミシンを初期の状態(購入時の設定状態)からお好みの状態に設定するときに使います。
- (5) ヘルプキー(212ページ参照) ミシンの基本操作を動画で見ることができます。
- ⑥ ロックキー(19ページ参照)

押さえや針の交換、糸のセットを行うときなどに使います。

すべて(押さえ上下移動ボタン/糸通しボタンは除く)のボタンやキーの操作を受け付けなくし、ミシンも動 きません。ミシンが現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行う ことができます。



⑦模様選択キー

模様を直接選んでぬうことができます。

⑧ページキー

現在表示されている模様選択画面や設定画面の次または前のページ(画面)を表示させるときに使います。

▼ キーを押すと次のページ、 ▲ キーを押すと前のページに 1 ページごとにかわります。

キーを押し続けると連続してかわります。

また、中央の帯状のキーを押すと、押した位置の模様選択画面に切りかえることもできます。

- ⑨調節キー(35ページ参照)
 選ばれている模様のぬい目の幅、あらさ、糸調子、押さえ圧の変更ができます。
 (模様によって、調節項目は異なります。)
- (1) 模様頭出しキー(81ページ参照)

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

- 設定キー(34ページ参照)
 選ばれている模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更できます。
- (1) 選ばれている模様グループの名称とページが表示されます。
- (13) 模様グループのページが表示されます。
- (1) 選ばれている模様のぬいイメージが表示されます。
- (1) 選ばれている模様の代表的なぬいに適した押さえが表示されます。 (ぬい目的によって、使用する押さえは異なります。)

●押さえ上げ



押さえ上げは、押さえを交換するときや、厚い布を入れるときなど特殊な場合に使います。

※ 押さえ上げは、普通にあげて止まる位置(A の位置) よりさらにあげることができ(B の位置)、厚い布が 入れやすくなります。

 ※ 通常の押さえのあげさげは、押さえ上下移動ボタンを 使用してください。
 押さえ上げを使用すると、ミシンがスタートしなかっ たり、自動糸切りができない場合があります。
 (押さえの上下移動ボタンは 11 ページをごらんくだ さい。)





autorial aut

ニーリフトを取り付けると、押さえ上下移動ボタンを使わないで押さえのあげさげができます。

手を使わずにひざの動作で行いますのでキルトなどをぬ うときに便利です。

※ ニーリフトを使用した横振り機能(バリアブルジグザ グ)は「◎用途選択/●キルティング/★バリアブル ZZ(可変ジグザグ)」(127ページ)をごらんください。

取り付けは、ニーリフトの凸部をニーリフト取り付け穴 の凹部に合わせ、差し込みます。

ニーリフトの角度調節は、ねじをゆるめてニーリフトを 出し入れし、お好みの角度の位置でねじをしめて固定し ます。

ひざを使ってニーリフトを右側に押すと押さえがあがり (2段階)、もどすと押さえがさがります。

※ ぬい中は、ニーリフトに触れないように注意してくだ さい。





格納式手元照明を手前に引き出すと、ミシンより突き出 た位置でランプが点灯し、ミシンの作業面を明るくする ことができます。(格納するとランプは消えます。)

※ 格納式手元照明は、照明角度を調節できます。お好み の位置でご利用ください。







(3)



	▲ 警告	
 ・ 面板レンズで太陽光など強い光を見ないでください。目を損傷するおそれがあります。 ・ 面板レンズを直射日光など強い光があたる場所に放置しないでください。火災の原因になります。 		
	 <u>^_</u> 注意	
	 面板レンズは、ぶつけたり、過度な力を加えない	

 ・ 面板レンズは、ぶつけたり、過度な力を加えない でください。けが・破損の原因になります。

面板レンズをミシンに取り付けると針元が大きく見える ので、細かいぬい作業などに便利です。

【面板レンズの取り付け方、外し方】

面板レンズのつまみを持ち、図のように面板レンズを正 面に向けた位置で、面板レンズの取り付け軸をミシンの 面板左側の取り付け穴に止まるまで押し込みます。

外す場合は、面板レンズを正面に向けた位置で面板レン ズのつまみを下側にさげると取り外すことができます。

- (1) 面板レンズは、角度を調節できます。
- (2) 必要ない場合は、横に回転させることができます。
- (3) 面板レンズだけを取り外すこともできます。

●送り調節ねじ(模様の形の調節)





《文字の場合: 「8」の例》





通常ぬいの場合、布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては模様の形がくずれて正しい形でぬえない場合があります。

実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様の形が くずれている場合は送り調節ねじで調節します。

キャップを外すと調節ができます。

キャップは、下側を持ちあげて外します。

取り付けるときは、キャップをミシンの穴に合わせては め込みます。

- ※ 図のように指示線を垂直にした位置が、標準的な条件 での模様を正しくぬえる目安の位置です。
- ※ 送り調節ねじの位置をかえた場合は、ぬい終わったあ と標準位置(指示線が垂直位置)にもどしておいてく ださい。

【模様の形の整え方】

図 1 のように模様がつまっているときは、送り調節ねじ を「+」方向にまわします。

図 2 のように模様が伸びているときは、送り調節ねじを 「-」方向にまわします。

【文字の形の整え方】

図 1 のように文字がつまっているときは、送り調節ねじ を「+」方向にまわします。

図2のように文字が伸びているときは、送り調節ねじを 「-」方向にまわします。



図 1 のように左側があらいときは、送り調節ねじを「+」 方向にまわします。

図 2 のように右側があらいときは、送り調節ねじを「-」 方向にまわします。

●ロックキーの使い方



【ロックキー】

ロックキーを押すとミシンがロック状態になり、押さえ 上下移動ボタンと糸通しボタンを除くすべてのボタンな どが受け付けません。ミシンも動きません。

ミシンが現在設定されている状態を保持したまま安全に 押さえや針、針板の交換、糸のセットなどを行うことが できます。

- ※ 押さえや針、針板の交換、糸のセットなどを行うとき に、ロック状態にしないで、電源スイッチを切った状 態で行うと、押さえ上げで押さえのあげさげができな い場合があります。
- ※ ロックキーを押すと、押さえがさがった状態になりま す。
- ※ ロック状態を解除する場合は、ウインドウ画面のロッ クキーアイコンを押してください。

●押さえの外し方、付け方

<u> 注</u>意

- ・押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。 けがの原因になります。
- ・ 押さえは模様に合ったものをご使用ください。押さえが合っていないと針が押さえにあたり、けがの原因 になります。





【押さえの外し方】

- 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
- ② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げで押さえをあげます。
- ※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと で押さえを付けるときに、押さえ上げで押さえをさげ ることができません。
- ③ 押さえホルダーのレバーをうしろ側から手前に押して、 押さえを外します。
- ※ レバーを上から押さないでください。故障の原因にな ります。

【押さえの付け方】

押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、 押さえ上げをゆっくりさげます。

※ 押さえは、模様に合ったものを使用してください。 押さえには記号が付いています。

<u> 注</u>意

押さえホルダーの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってくだ さい。けがの原因になります。



押さえ棒

押さえホルダー止めねじ

【押さえホルダーの外し方】

- 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
- ※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。
- ② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえをあげます。
- ③ ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわして ゆるめ、押さえホルダーを外します。

【押さえホルダーの付け方】

押さえ棒に押さえホルダーを取り付け、押さえホルダー 止めねじを右にまわしてドライバーでしっかりしめます。

●上送り押さえのセット方法

押さえホルダ

<u> 注</u>意

上送り押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。 けがの原因になります。

123





- ※ 上送り押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り 付けてください。 押さえが付いていないと正常な取り付けができません。
- 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
- ※ ロックキーの使い方は 19ページをごらんください。
- ② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと 手順⑥で押さえをさげるときに、押さえ上げで押さえ をさげることができません。
- ③ ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわして ゆるめ、押さえホルダーを外します。
 押さえホルダーの外し方は、上記【押さえホルダーの 外し方】をごらんください。





★上送り押さえの交換方法



- ④ 押さえ棒に上送り押さえホルダーを取り付け、押さえ ホルダー止めねじを上送り押さえホルダーにふれる位 置まで指で右にまわし、上送り押さえホルダーを仮止 めしておきます。
- ⑤ 上送り押さえホルダーのフック部をうしろ側から手前 に「カチン」と音がして止まるまでしっかりと押し付 けます。
- ※ 上送り押さえホルダーのフック部が上送り取り付けピンにしっかりと押し付けられた状態になっていないと、 上送りが正常にはたらきません。
- ⑥ 押さえ上げをゆっくりさげてから、はずみ車を手で手前にまわして針をいちばん下までさげます。
- ⑦ 押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめてから、上送り押さえが針板に押し付けられた状態で、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。
- ※ 上送り押さえホルダーを外すときは、通常の押さえホ ルダーを外す場合と同じ方法(20ページ手順①②の 方法)で針と押さえをあげ、押さえホルダー止めねじ をゆるめてから上送り押さえホルダーをうしろ側に引 いて外してください。

取り外す場合は、押さえのうしろ側を指で手前方向に押 し込むと外れます。

取り付ける場合は、上送り押さえホルダーのピン取り付け部(両側2カ所)に押さえのピン(両側2カ所)を手前からはめ込んで、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

🊺 注意

PD-H: フリーキルト押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。





- 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
- ※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。
- ② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげます。
- ③ 押さえ上げをあげます。
- ④ 押さえホルダーを外します。
 押さえホルダーの外し方は 20 ページをごらんください。
- ⑤ 針と押さえ上げがあがっている状態で、フリーキルト 押さえのピンを針止めの上にのせ、押さえのみぞを、 うしろ側から押さえホルダー止めねじに合わせ、押さ えホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。
- ※ 取り付け後、押さえが傾いていない事を確認してくだ さい。針が押さえにあたり、けがの原因になります。
- ⑥ ロックキーを押して、ロック状態を解除します。
- ※取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロック キーを押してミシンをロック状態にします。針と押さ え上げをあげ、押さえホルダー止めねじをドライバー でゆるめ、フリーキルト押さえを取り外します。

●ワイドクリアテーブルの組み立て方と使い方



<u> (</u>注意)

ワイドクリアテーブルをアイロン台など他の目的に 使用しないでください。けがの原因になります。

ワイドクリアテーブルはカーテンやテーブルクロスなど 大きな布地をぬうときに使用すると、布が安定してまっ すぐぬえるので便利です。

【組み立て方】

- ① すべり止めからはく離紙をはがします。
- テーブル脚にすべり止めを貼り付けます。
- ③ テーブル脚をテーブルの4カ所の取り付け穴に合わせ、ねじでテーブル脚を取り付けます。
- テーブル支えをワイドクリアテーブルの裏に取り付けます。

【使い方】

- ① ミシンから補助テーブルを外します。
- ワイドクリアテーブルを両手で持ち、ミシンのフリー アームにはめ込むように上からセットします。
- ③ ワイドクリアテーブルの高さがフリーアームの高さと 同じになるように、4 カ所の補助脚をまわして高さを 調節します。

▲ 注意

針板の交換は、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。





【針板の外し方】

- ① 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシ ンをロック状態にします。
- ※ ロックキーの使い方は 19ページをごらんください。
- ② 針がさがっている場合には、はずみ車を手で手前にま わして針をあげ、押さえ上下移動ボタンで押さえをあ げます。
- ※ 押さえをあげるとき、押さえ上げであげるよりも押さ え上下移動ボタンであげるほうが高くあがり、針板が 取り外しやすくなります。
- ③ 補助テーブルを外します。
- ④ フリーアーム中央の下にある針板開放レバーをさげる と、針板を外すことができます。

【針板の付け方】

- ① ミシンの針板取り付け部左側に針板の2つのガイド を入れます。
- ② 針板右側にある「◎」マークが付いている場所を「パ チン」と音がするまで指でしっかりと押しつけて、針 板を固定します。
- ※ 針板を取り付け後、押さえ確認メッセージが表示され ます。押さえを確認したあと、閉じるキーを押します。 また、はずみ車を手で手前にゆっくりまわして、針が 針板にあたらないことを確認してください。
- ※ 押さえ確認メッセージが消えたら、ロックキーアイコ ンを押して、ロックを解除します。
- ※ ミシンの電源スイッチが入っている場合は、針板が外 れているあいだ、針板が外れていることを示す警告メ ッセージ画面が表示されています。 針板を取り付けたとき、このメッセージ画面が消える ことを確認してください。消えない場合は、もう一度 取り付け直してください。





(3)

<u> (</u>注意

針の交換は、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



針止めねじ



② ロックキーを押してミシンをロック状態にします。
 ※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。
 ※ 押さえは、さがった状態のままにしておきます。

- ③ 針止めねじを手前に1~2回まわしてゆるめ、針を 外します。
- ④ 取り付けは、針の平らな面を向こう側に向けてピンに あたるまで差し込み、針止めねじをドライバーでしっ かりしめます。
- ※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだ けでなく、針がゆるんで針折れして危険です。



すきま



針の平らな面を平らな物(針板など)に置いたとき、す きまが針先まで均等に見えるのが良い針です。 針先が曲がったり、つぶれているものは使わないように してください。 ●布に適した糸や針を選ぶ目安

【通常ぬいの場合】

種類	糸	針
コーン ジョーゼット トリコット	ポリエステル(90番)	9番~ 11番 または ブルー針
シーチング ジャージー ウール地	絹糸 50番 綿糸 60番 ポリエステル,ナイロン 50番~90番 綿糸 50番	11番~14番 または ブルー針,レッド針,パープル針 14番またはレッド針,パープル針
デニム ツィード コート地	絹糸 50番 綿糸 40番~50番 ポリエステル 40番~50番 ポリエステル 30番	14番~16番 または レッド針、パープル針
	棟 類	植 類糸コーン ジョーゼット > リコットポリエステル 90番パリエステル 90番シーチング ジャージー ウール地絹糸 50番 ポリエステル、ナイロン 50番~ 90番編糸 50番ボリエステル、ナイロン 50番~ 90番ボリエステル、カイロン 50番 ネリエステル 30番

※ ブルー針〔11番〕・レッド針〔14番〕・パープル針〔14番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。

※ 一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と針を選び、 試しぬいをして確かめてください。

※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※ ブルー針(柄の部分が青色の針)およびパープル針(柄の部分が紫色の針)は、目とびの防止効果があります。 (市販SP針も同様の効果があります。)

【刺しゅうの場合】

布の種類	糸	針
うすい布		11番 または
普通の布、ニット地	ミシン刺しゅう糸	ブルー針
厚い布		14番 または レッド針

※ 刺しゅうの下糸は、刺しゅう専用下糸を使用してください。

※ レッド針を使用して目とびしやすい場合は、パープル(紫)針を使用すると目とび防止効果があります。

◎ぬう前の準備

●下糸の準備

★ボビンの取り出し



★糸こまのセット





《小さい糸こまの場合》



《特殊糸こまの場合》



- ※ ナイロン透明糸およびメタリック糸は、下糸に使用し ないでください。
- 押さえ上げをあげ、角板開放ボタンを右へずらして角 板を外します。
- ② ボビンを取り出します。



糸立て棒を軽くおこし、糸の端が糸こまの下から手前に 出るように糸こまを向けて糸立て棒に入れ、糸こま押さ えを押しつけて糸こまを押さえます。

※ 普通の糸こまには糸こま押さえ(大)を、小さい糸こ まには糸こま押さえ(小)を使います。

※ レジロンなど伸縮性の糸を使用する場合には、付属の 糸こまネット使用をおすすめします。 糸外れや糸のよじれ防止効果があります。 糸こまネットは、糸こまの大きさに合わせて折り曲げ るか、切って使用してください



図のような長さの糸こまを使用するときには、糸こま押 さえ(特殊)を使用することで、糸こまを固定すること ができます。

糸こま押さえ(特殊)は、図のように、糸こまを糸立て 棒にセットしたあと、糸こまの穴に入れてください。

※ 糸こまと糸こま押さえ(特殊)のあいだにはすきまが ないようにしてください。

★補助糸立て棒の使い方



★下糸巻き



付属の補助糸立て棒は、ミシンに付いている糸立て棒に 糸こまをセットした状態のまま別の糸こまで糸巻きをす るときや、2本針ぬいのときなどに使います。

補助糸立て棒を補助糸立て棒取り付け穴に差し込みます。 糸こまの糸の端は、手前から向こう側へでるようにします。

※ 下糸巻き速度の調節は「◎ミシンの設定/【共通設定】 ⑩下糸巻き速度」(202ページ)をごらんください。



糸巻き軸にボビンを差し込みます。



(2) (3)





糸を両手で持ち、糸かけ板にかけます。

- ③ 糸案内カバー(B)の上から糸案内カバー(A)の左か らうしろにまわして、必ず強めに右に引いて、糸を引 き出します。
- ※ 糸を補助ばねの下に確実に通すために、糸こま側の糸 を左手で持ち、引き出した糸を右手で強めに引いてく ださい。

補助ばねの下を通していないと、糸巻き不良の原因に なります。



- ④ 右に引き出した糸を左手で押さえ、右手で糸の端をボ ビンに右まわり(時計方向)に4~5回巻きます。
- ⑤ ボビンに4~5回巻いた糸を、ボビンの下にある糸 切りホルダーのみぞに入れ、みぞにそって引いて糸を 切ります。
- ※ みぞは 5 カ所あり、中にカッターが内蔵されています。

⑥ ボビン押さえをボビンの方に押しつけます。



〔糸巻き表示画面〕



- ⑦ 糸巻きボタンを押します。
 画面が左の「糸巻き中」の表示になります。
 巻き終わるとボビン押さえが自動的にもどってボビンの回転が止まります。
- ※ 糸巻き中はランプが点滅します。

⑧ 糸巻き軸からボビンを外し、糸切りで糸を切ります。

(8)

6

(7)

ランプ点滅

糸巻きボタン



(1) (2)











<u> 注</u>意

ボビンを内がまにセットするときは、必ずロックキ ーによりミシンをロック状態にしてから行ってくだ さい。けがの原因になります。

- 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
- ※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。
- ② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと 押さえをさげるときに、押さえ上げで押さえをさげる ことができません。
- ③ 糸の端がボビンのうしろ側から矢印方向に出るように 向けて(糸が左巻き)、ボビンを内がまに入れます。
- ※ ボビンから引き出される糸の状態の図が角板に表示されています。
- ④ ボビンが回転しないように、右手でボビンを軽く押さ えます。
 左手で糸の端を持ち、内がまの手前のみぞにかけ、さらに手前のつのの下をくぐらせます。
- ※ 糸を各部に確実にかけるために、手順④が終了するま で、右手でボビンを押さえた状態で行ってください。
- ⑤ つのの下をくぐらせた糸を矢印 1 の方向に引きあげ て矢印 1 の右側のみぞに入れます。
- ※ 手順②で、内がまの手前のみぞに糸がかかっていない と、内がまの板ばねのあいだに糸が入らず、ボビンか ら直接矢印 1 の右側のみぞに通ってしまいます。 (左図、【B】参照) その場合は手順④からかけ直してください。 正しくかけられていないと、ぬい不良の原因になりま
 - す。



 ⑥ そのままみぞにそって矢印2の方向に糸を通し、下 側のカッターにかけてから右に水平に引いて糸を切り ます。

- ⑦ 角板を左側から合わせて取り付けます。
- ※ 通常は、下糸はこの状態のままでぬい始めることがで きます。

ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要があるとき は、「●下糸を針板の上に引き出す場合」(33ページ) をごらんください。







★上糸かけ





上糸をかけるときは、必ずロックキーによりミシン をロック状態にしてから行ってください。 けがの原因になります。

- ※ 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを使 用してください。
- ※ 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に右 手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引い てかけてください。

【準備】

- (1) 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンで針と天びん を上にあげます。
- (2) ロックキーを押して、ミシンをロック状態にします。 (押さえはさがった状態になります。)
- ※ ミシンがロック状態になっていないと、糸が正しくか けられず、ぬい不良の原因になります。
- ※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。

【上糸かけ】

- ①糸を両手で持ち、糸かけ板にかけます。
- ② 右手で糸こま側の糸を押さえ、糸案内カバー(B) に かけ、みぞにそって手前に引き出します。
- ③ 糸案内板の下をまわし、左上に引きあげます。
- ④ 天びんの右からうしろへまわして手前に引き、ばねを 通過させて糸穴に入れ、まっすぐ下におろします。
- ⑤ アーム糸案内に右からかけます。
- ⑥ 針棒糸かけに右からかけます。
- ⑦ 糸通しを使って針穴に糸を通します。
 糸通しの使い方は 32 ページをごらんください。





●下糸を針板の上に引き出す場合



ギャザーやスモッキングなどをぬう場合のように、ぬい 始めの下糸を長くする必要があるときだけ、下記手順① ~④の方法で下糸を針板の上に引き出してください。

- ●下糸の準備/★ボビンのセット」手順③~⑤(29 ページ)と同じ方法で下糸を矢印1の方向に引きあ げてみぞに入れたら、そのまま10cmほど向こう側 に引き出しておき、角板を取り付けます。
 (糸は、下側にあるカッターで切らないでください。)
- ② 針に上糸を通し、押さえ上げをあげた状態で、上糸の端を指で押さえておきます。

3

(2)

上糸



 ③ 電源スイッチを入れ(ロック状態の場合はロック状態 を解除し)、上下停針ボタンを押して針をさげ、もう 一度押して針をあげます。
 上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。

④ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10cm ほど引き出して、そろえておきます。







〔模様選択画面〕(1/2ページ)



〔模様選択画面〕(2/2ページ)



模様頭出し キー



電源投入時はじつようぬいグループの模様選択画になり ます。

じつようぬいグループは、27個の模様(模様番号 1 ~ 27)があり、2 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

じつようぬいグループの画面は、模様選択キー・設定キー・ 先頭キーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や 設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法/●画面 (タッチパネル)」(14ページ)をごらんください。

【設定キー】

その模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件 に変更します。 選ばれている模様によっては、グレー表示になっていて 使用できない設定キーがあります。

1) 調節キー

調節キーを押すと調節画面が全体表示されます。調節 画面ではぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)、 ぬい目のあらさ、糸調子の設定値を変更したり、押さ え圧の設定などを行うことができます。 (35~40ページ参照)

②送り歯切りかえキー

特殊なぬいなどで布を送る必要がないときに、キーを 押して送り歯を常時さげた状態に設定します。

③ 布ガイド設定キー

付属の布ガイドを利用するときに設定します。 布ガイドを利用すると布端からお好みの位置に正確に ぬうことができます。(41ページ参照)

④ ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行うときに設定します。 ピボットぬいを設定すると、ミシンを止めたときに針 が布にささり、押さえがあがった状態になります。 ぬい方向をかえてぬうときに、自分で押さえをあげる 必要がなく、ぬい位置もずれずにきれいにぬうことが できます。

⑤2本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うときに、 キーを押して2本針ぬいに設定します。 使い方は、「◎2本針ぬい」(136ページ)をごらん ください。

⑥上送りぬい切りかえキー

付属の上送り押さえを使用して上送りぬいを行うとき に、キーを押して上送りぬいに設定します。 (45ページ参照)

【模様頭出しキー】

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬう ときにその模様の最初からぬうことができます。 使い方は、「◎飾りぬい/●模様組み合わせモード/★模 様頭出しキーの使い方」(81ページ)をごらんください。
〔模様選択画面〕



〔調節画面〕



模様選択画面の調節キーを押すと、調節画面が全体表示 されます。

【例】直線ぬい

①ぬい目の幅調節キー

ぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)をかえるこ とができます。(36ページ参照)

- ② ぬい目のあらさ調節キー
 ぬい目のあらさをかえることができます。
 (37ページ参照)
- ③ **糸調子調節キー** 上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができま す。(38ページ参照)

④押さえ圧調節キー

模様を選ぶと、画面にその模様の代表的なぬいに適し た押さえ圧「オート」が表示されます。 布送りがスムースでないときや、特殊なぬい方や布地 の厚さによっては、数値を調節してください。

※一般的な押さえ圧が「オート」と表示されている場合は、普通地、厚物地は「オート+1~+4」薄物地や伸縮性の布地は「オート-1~-4」の範囲で調節してください。

⑤ 初期化キー(DFT キー) ぬい目の幅、ぬい目のあらさ、糸調子、押さえ圧を変 更した場合、オート値(電源を入れたときに自動的に 設定されている値)にもどすことができます。

※ もとの画面にもどるときは、調節キーを押してください。

★ぬい目の幅調節キー



ぬい目の幅調節キーでぬい目の幅(直線状模様の場合は、 針位置)をかえることができます。

「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、ぬい目 の幅が広くなります。 直線状模様の場合は、針が右へ移動します。

「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、ぬい目 の幅がせまくなります。 直線状模様の場合は、針が左へ移動します。

初期化キーを押すと、オート値(電源を入れたときに自 動的に設定されている値)にもどすことができます。

※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安をミリメートルで表示しています。 画面の数値は、直線状模様の場合は、左針位置からの距離の目安をミリメートルで表示しています。 左針位置が「0.0」、中針位置が「4.5」、右針位置が「9.0」になります。



★ぬい目のあらさ調節キー



ぬい目のあらさ調節キーでぬい目のあらさをかえること ができます。

「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、ぬい目 のあらさがあらくなります。

「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、ぬい目 のあらさが細かくなります。

初期化キーを押すと、オート値(電源を入れたときに自動的に設定されている値)にもどすことができます。

※ ぬい目のあらさは、布や糸によりかわりますので、画 面表示の数値は目安としてミリメートルで表示してい ます。

また、返しぬいのぬい目のあらさは、表示数値より小 さくなります。

★糸調子調節キー



【バランスのとれた糸調子】



【上糸が強すぎる場合】



【上糸が弱すぎる場合】



模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に自動セットされ、上糸と下糸がバランスよくぬえます。 糸や布の種類、ぬい方などによって自動セットのままで は糸調子のバランスがとれない場合は、糸調子調節キー で調節します。

- ※ 糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたな くなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりしま す。
- ※ 画面には、糸調子が自動セット状態の場合は「オート」、 糸調子調節キーで調節されている場合は「マニュアル」 と表示されます。
- ※ 模様ごとに自動セットされる糸調子(オート値)を、 すべての模様に対して全体的に強くしたり、弱くした りすることができます。 「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】①糸調子」(203 ページ)をごらんください。

【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわ ります。

ジグザグぬいのときは、布の裏側に上糸が少し出るくら いになります。

【上糸が強すぎる場合の調節】

上糸が強すぎると下糸が布の表に引き出されます。 糸調子調節キーの「-」を押して数値を小さくします。

【上糸が弱すぎる場合の調節】

上糸が弱すぎると上糸が布の裏に引き出されます。 上糸が布の表でたるんだり、輪になる場合もあります。 糸調子調節キーの「+」を押して数値を大きくします。

★ぬい目の幅(針位置)、ぬい目のあらさ、糸調子のオート値の変更

〔調節画面〕
 「ステッチの調整値を保存 (FS) が「ステッチの調整値を保存 (FS)」
 「OFF」に設定されている場合 が「ON」に設定されている場合



23

(1)





セットキーにより、通常ぬい設定の「ステッチの調整値 を保存 (FS)」を「ON」に設定しておくと、ぬい目の幅 (針 位置)、ぬい目のあらさ、糸調子のオート値(電源を入れ たとき、ミシンに自動的に設定されている値)押さえ圧 をお好みの値に変更して保存することができます。

オート値をお好みの値に変更して保存しておくと、その 模様を選ぶだけで、その設定した値でぬうことができます。

 ※ セットキーによる「ステッチの調整値を保存 (FS)」 を「ON」に設定する方法は、「◎ミシンの設定/ 【通常ぬい設定】 ⑫ステッチの調整値を保存 (FS)」 (206 ページ)をごらんください。

【変更したオート値の保存方法】

- セットキーにより、「ステッチの調整値を保存 (FS)」 が「ON」に設定されていると、FS キー(オート値 設定キー)が表示されます。
- ※ 初期の状態(購入時の設定状態)は、「OFF」に設定 されています。
- ② 調節画面の調節キーにより、設定したい項目の数値を 変更します。
 左図の例では、針位置を「4.5」から「9.0」、ぬい目 のあらさを「2.40」から「3.00」に変更しています。
- ③ FS キーの保存キーを押します。
- ④ ウインドウ画面の保存場所を FS1 キー、または FS2 キーを選んで押します。
- ※ 手順⑤の調節画面になります。
- ※ すでに FS1 と FS2 に保存されている場合には、FS 1 キーまたは FS2 キーの押した方に上書き保存され ます。
- ⑤ 調節画面の数値を囲む枠が黄色に塗られて、針位置のオート値が「9.0」、ぬい目のあらさのオート値が「3.00」に設定されたことを示します。



【変更したオート値の読込み方法】

1 つの模様で2つ変更した値を保存している場合などに、 FS キーの読込みキーを押して読込みます。

- ① 読込みキーを押します。
- ② ウインドウ画面の読込みで、赤文字表示が現在表示している値なので、黒文字のFS2キーを押して読込みます。
- ③ FS2 に保存した値が表示されます。

【変更したオート値の削除方法】

保存した調整値を削除する場合は、次の要領で行います。

- FS キーの削除キーを押します。
- ② ウインドウ画面の削除で削除する調整値 FS2 キーを 押します。
- ③ 調節画面に切りかわり、FS2 の数値を囲む黄色枠が 消えます。
- ※ 調整値をオート値のもどす場合は、初期化キー(DF Tキー)を押します。

【変更したオート値の一括削除方法】

※ 変更した全模様のオート値を一括して初期の状態(購入時の設定状態)にもどす方法は、「◎ミシンの設定 /【通常ぬい設定】⑫ステッチの調整値を保存(FS)」 (206ページ)をごらんください。

★布ガイド設定キー



布ガイドを利用するときに設定します。

布ガイドを利用すると布端からお好みの位置に正確にぬ うことができます。

※ 布ガイドを設定すると、ミシンに取り付けた刺しゅう ユニットのキャリッジがミシンの左外側に移動して突 き出ます。(最大約 22cm) まわりにぶつかる物がないように注意してください。

【布ガイドの取り付け方】

ミシンの電源スイッチを切り、ミシンに刺しゅうユニッ トを取り付けます。

- ※ 刺しゅうユニットの取り付け方は、「◎刺しゅう/● 刺しゅうの準備/★刺しゅうユニットの取り付け方」 (138ページ)をごらんください。
- ミシンの電源スイッチを入れ、布ガイド設定キーを押します。
 メッセージ画面【A】が表示されます。
- ② メッセージ画面【A】のOKキーを押します。
 キャリッジが左に移動し、布ガイド設定画面が表示されます。



- ③ 布ガイドのつまみを横に向け、布ガイドの凹部をキャ リッジの凸部に合わせて差し込みます。
- ④ つまみを右方向にまわして縦に向け、布ガイドを固定 します。

〔布ガイド設定画面〕



〔40mm 以上の設定画面例〕



(1)

(2)



布ガイド収納キー



【布ガイドの設定方法】

- ※ 布ガイド位置のオート値(電源を入れたとき、ミシン に自動的に設定されている値)は、15mmに設定さ れています。
- 移動キーで布ガイドの位置(中針位置からの距離)を 変更します。
- ※ 移動キーは、40mmの位置までは0.1mmと1mm 単位、40mm以上は1mmと5mm単位で変更でき ます。
- ※ 閉じるキーを押すと、布ガイドの位置が変更されない で模様選択画面にもどります。
- ② OK キーを押します。 変更した値が確定されて模様選択画面にもどり、設定 した布ガイドの位置でぬうことができます。
- ※ 設定値をオート値にもどす場合は、布ガイド設定画面 の初期化キーを押して OK キーを押します。
- ※ 布ガイドの位置を示す数値に対して、移動する布ガイ ドの実際の位置を調整する(少しずらす)ことができ ます。

また、【布ガイドの取り付け方】手順③でOKキーを 押したときに移動する位置をオート値(15mm) ではなく、前回最後に使用した位置にすることができ ます。

「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】⑨布ガイドの初 期位置調整、⑩布ガイドの位置記憶」(205 ページ) をごらんください。

【布ガイドの終了方法】

- 布ガイド設定画面の布ガイド収納キーを押します。
 メッセージ画面が表示されます。
- ② メッセージ画面の OK キーを押します。
 キャリッジが右に移動し、刺しゅうユニット着脱位置
 にもどります。
- ③ 電源スイッチを切り、刺しゅうユニットから布ガイドを取り外し、ミシンから刺しゅうユニットを取り外します。
- ※ 刺しゅうユニットの取り外し方は、「◎刺しゅう/● 刺しゅうの準備/★刺しゅうユニットの取り外し方」 (140ページ)をごらんください。

●直線(直線状模様)ぬい

★直線ぬい(中針位置)





F:サテン押さえ 上糸

【ぬい始め】

- 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布 を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前 にまわして最初のぬい位置に針をさします。
- ② 押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、ミシンをスタートし、ぬいます。
- ※下糸(ボビン)をセットした直後および糸切りボタン を使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸は針板 の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こ う側に引いて、押さえで押さえてください。
- ※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押します。

ぬい始めの糸の引き出し方

通常は、ぬい始めの上糸は押さえの向こう側に引き出 して、押さえで押さえます。 ただし、F:サテン押さえ、F2:クラフトF押さえや R:ボタンホール押さえなどのように、押さえの向こ う側(うしろ側)の底があがっていて、糸を押さえる 部分がない押さえは、ぬい始めの糸は横方向に引き出 して押さえてください。



【厚手の布端のぬい始め】

- 最初のぬい位置に針をさし、基本押さえの黒ボタンを 押し込みます。
- ② 黒ボタンを押したまま押さえ上下移動ボタンを押して 押さえをさげます。
- ③ 黒ボタンから手をはなし、ぬい始めます。
- ※ 黒ボタンを押した状態で押さえをさげると押さえが水 平に固定され、段部をスムーズにぬい始めることがで きます。

ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由 に動く状態になります。



【ぬい方向の変更】

- ① 布の方向をかえる位置まできたらミシンを停止します。
- ② 布に針がささっていない場合は、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押さえ上下移動ボタンで押さえをあげます。
- ※ 通常はミシンを停止すると、針が布にささった状態に なっています。
- ③ 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえ上下移動 ボタンで押さえをさげてぬい始めます。
- ※ ぬい位置がずれずにきれいにぬうことができます。
- ※ ミシンを停止したとき、常に自動的に針が布にささり、 押さえがあがった状態になるピボットぬいを設定する ことができます。ピボットぬいは「●実用ぬいの画面 /【設定キー】/④ピボットぬい設定キー」(34ページ) をごらんください。

【ぬい終わり】

- ゆい終わりの位置で返しぬいボタンを押して数針返し ぬいを行い、ミシンを停止します。
- ② 糸切りボタンを押して糸を切ります。
- ※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボタン を押すと針と押さえは上の位置に移動します。
- ③布を向こう側に引き出します。
- ※ ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めを自動的に行う自

動返しぬい模様 1 と自動止めぬい模様 1 があ ります。 「★自動返しぬい」「★自動止めぬい」(46 ページ) をごらんください。

面板の糸切りの使い方

返しぬい

30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。

針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出してから手前に返すようにして糸を切ります。

ぬい終わりの位置



★上送り押さえの使い方



〔メッセージ画面〕



閉じるキー



上布と下布でずれやすい布地や皮など送りにくい布地を ぬう場合、上送り押さえを使用するときれいにぬうこと ができます。

上送り押さえが使用できる模様は、早見板に表示されて いる赤い表示の模様です。

【準備】

- ①上送りぬい切りかえキーを押します。
- ※ メッセージ画面が表示されますので、閉じるキーを押 して、上送り押さえホルダーと AD: 上送り基本押さ えを取り付けてください。
- ② 上送り押さえホルダーを取り付けます。
- ※ 上送り押さえホルダーの取り付け方は、「◎操作方法
 ✓●上送り押さえのセット方法」(20~21ページ)
 をごらんください。
- ※ 上送りぬいを解除する場合は、上送りぬい切りかえキ ーを押してください。

【ぬい方】

上糸を押さえの下に通して向こう側に引き出し、ぬい始 めます。

※ しま地や格子じま、プリント地をぬうときは、布地の 端と最初のしまをぬい目のはじめのところで注意深く そろえ、ぬい目の線に直角にピンを止め、ぬいます。



<u>上布と下布がずれる場合</u>

上布と下布でずれる場合は、上送り調節ダイヤル をまわして調節します。

A 図のようにずれる場合は、上送り調節ダイヤルを「+」方向にまわします。

B 図のようにずれる場合は、上送り調節ダイヤルを「-」方向にまわします。

※ 上送り押さえを使用しないときは、必ず上送り調節ダイヤルの位置を「0」の位置にもどしてください。

★自動返しぬい





返しぬい

★自動止めぬい

① 模様 (3)	
 ② 押さえ	



止めぬい

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め(返し ぬい)を自動的に行うときに使います。

【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返しぬいを行います。

【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停 止します。

【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フッ トコントローラーを踏むと、その位置から自動的に数針 返しぬいを行ってミシンが停止します。 運転したままボタンを押した場合は、その位置から自動

的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め(止めぬ い)を自動的に行うときに使います。

【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止めぬいを行います。

【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止 します。

【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フッ トコントローラーを踏むと、その位置で自動的に数針止 めぬいを行ってミシンが停止します。

運転したままボタンを押した場合は、その位置で自動的 に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

★直線ぬい(左針位置)



※ 模様 Í の場合、調節画面のぬい目の幅調節キ ーでの調節は、他の直線状模様と異なり、ぬい位置 (針位置)ではなく、ぬい目の幅の調節になります。







針板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドが いろいろ表示されています。

【ガイドライン】

布端を針板のガイドラインに合わせてぬうと、布端から 正確な位置にぬうことができます。

ガイドラインの数字は、ぬい位置(針板の穴の中央)か らガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」 で表示しています。

※ ガイドラインは角板およびミシンのフリーアームにも 表示されています。

【角度目盛り】

角度目盛りは、パッチワークのピース作りに使うと便利 です。

パッチワーク布(ピース)の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしでぬいしろ 0.65cm(1/4インチ)のぬい始めの位置を決めることができます。

※ 使い方は、「◎用途選択/●パッチワーク/〔針板角 度目盛りの使い方〕欄」(118ページ)をごらんくだ さい。

【コーナーリングガイド】

布端から 1.6cm(5/8 インチ)のところで直角にぬい 方向をかえるときに利用します。 ぬい方向をかえたあと布端から 1.6cm(5/8 インチ) の位置にぬうことができます。

- 布端がコーナーリングガイドのところにきたらミシン を停止します。
- ② 針を布にさした状態で押さえ上下移動ボタンで押さえ をあげ、布を直角に回転させます。
 布端が針板右側のガイドライン 1.6cm (5/8 インチ)の位置に合います。
- ③ 押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、ミシンをスタ ートさせます。



〔直線ぬい用針板〕

針板の穴の小さい「直線ぬい用針板」を使用すると、針 が布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が美 しく仕上がります。

直線ぬいの場合は、模様 よ よ ま を選び、直線ぬい用 針板でぬうことをおすすめします。

- ※ 針板の交換方法は、「◎操作方法/●針板の外し方、 付け方」(23ページ)をごらんください。
- ※ ミシンの早見板の模様

ープとキルトグループにある模様と同じ模様です。

ロックキーを使用してロック状態で直線ぬい用針板に交換すると、メッセージ画面が表示されます。正しい押さ えが取り付けられているか確認してください。 メッセージ画面の閉じるキーを押し、ロックキーを押し てロック状態を解除すると模様選択画面にもどり、ぬう ことができます。

- ※ 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだは、じつようぬいグループ、キルトグループおよび用途選択グループの一部の模様しか選択できません。 選択できない模様は、模様選択キーの色がグレーになっていて、押しても受け付けられないようになっています。 用途選択グループは、「◎用途選択」(97ページ)をごらんください。
- ※ 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだ、キルト

節キーで針位置を変更することはできません。



〔模様選択画面〕



直線ぬい用針板 でぬうことがで きる模様



しつけぬいの模様は、ミシンをスタートさせても布は送 られずに、1 針ぬって停止します。(フットコントローラ 一の場合も、踏み続けていても1 針ぬって停止します。)

ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても 針は上の位置で停止します。

お好みの間かくを、1 針ずつ手で布を移動させてぬうこ とができます。

押さえホルダーを外し、PD-H: フリーキルト押さえを取 り付けます。



【ぬい方】

押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、布を前後にピン と張ってぬいます。

1 針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を 向こう側に必要な長さだけ引き出し、繰り返しぬいます。

<u>フットコントローラーの利用</u>

しつけぬいは、フットコントローラーを使用すると両 手が使えて便利です。

※ フットコントローラーは、モデルによりオプション になります。







●かがりぬい



① 模様 [13)	
 ② 押さえM:縁かがり押さえ 	



普通地、平織り2枚に適しています。 地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使 います。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

★かがりぬい2





普通の布や厚い布およびほつれやすい布の布端をかがる ときに使います。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

★かがりぬい3





オーバーロックのぬい目に似ていて、布端がほつれやすい布地のかがりぬいに使います。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。





◎ボタンホール・特殊模様

●ボタンホール・特殊模様の画面





〔模様選択画面〕(2/2ページ)



ホーム画面のボタンホールキーを押すと、ボタンホール および特殊模様グループの模様選択画面になります。 ボタンホールおよび特殊模様グループは、25 個の模様 (模様番号 1 ~ 25)があり、2 つの画面(ページ)に分 かれていて、ページキーで選択できます。

ボタンホールおよび特殊模様グループの画面は、模様選 択キーや調節キーなどのキーの他に、選ばれている模様 に関するいくつかのぬい情報や設定状態が表示されてい ます。

- ※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法/●画面 (タッチパネル)」(14~15ページ)をごらんください。
- ※ 調節キーを押すと、調節画面になります。 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(35ページ)をごらんください。 特殊な使い方については、このあとのそれぞれの模様 の項の説明をごらんください。
- ※ボタンホール、特殊模様は、模様が完成するとほつれ 止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
- ※ 模様頭出しキーの使い方は、「◎飾りぬい/●模様組 み合わせモード/★模様頭出しキーの使い方」 (81 ページ)をごらんください。
- ※ 模様

 のぬい方は、「◎用途選択/●ボタン付け」
 (112~114ページ) をごらんください。

●ボタンホールの種類と用途

ג 📘	ウエアボタンホール	普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボタンホールです。	
MEM ² メモ (ス	Eリーボタンホール クエアボタンホール)	自分でボタンホールの長さを決めてぬうボタンホールです。 2.5cm 以上の長いボタンホールをぬうことができます。	
	ラウンドボタンホール	薄い布から普通の布に使います。ブラウス、子供服でよく使わ れます。	
0 1 両手	ラウンドボタンホール	薄い布に使います。薄手のブラウスでよく使われます。	
J [°] +-	-ホールボタンホール	普通の布から厚い布に使われる一般的なボタンホールです。	
と ラウ ボク	ウンドキーホール タンホール	大きく厚めのボタンはキーホールボタンホールがよく使われます。	
と ^{* キー} (テ	ーホールボタンホール ーラーメイド)	模様 5 ~ 6 と同じキーホールボタンホールですが、片方の口を 補強したボタンホールです。	
₿ [®] ≠-	-ホールボタンホール		
U +-	-ホールボタンホール		
	ットボタンホール	伸縮性のある布に適したボタンホールです。 そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使われます。 ※ 模様 12 は薄い布用です。	
	ットボタンホール		
	ットボタンホール		
[] たき	まぶちボタンホール	たまぶちボタンホールを作る最初の工程になります。	

模様 📲 (メモリーボタンホール)を除くボタンホールは、R:ボタンホール押さえにボタンをセットするだけ

で自動的に最適な長さのボタンホールをぬうことができます。(ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタン ホール押さえのボタン受け台にはさみ込むと自動的に決まります。)

※ ボタンの直径が 1.0 ~ 2.5cm までのボタンホールができます。

※ボタンホールは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

<u>ボタンホールの注意事項</u>

- ・ 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。
- ・ 厚物の段部や安定して布送りできない布などをぬうときは、ボタンホール安定板を使用してください。
- ・ 使用する布のはぎれなどで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- ボタンホールをぬう場所に、必ずマーク(しるし)を付けてください。





④ 押さえをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、横に 引き出します。

上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマ ークのぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげます。

※ 押さえをさげるとき、押さえ前部のストッパーを向こう側に軽く押しつけた状態でさげ、ストッパーと押さえスライダーにすきまがあかないように注意してください。(下記〔ぬい始める前の確認〕欄参照)



⑤ 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。(ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。)

ボタンホールをぬい終わったところでほつれ止めの止めぬいを行って、自動的にミシンが停止します。



(5)



かんぬき

ボタンホール 切りかえレバー

かんぬき

ラインタック

まち金

ラインタック

かんぬき

シームリッパー

(7)

ボタンホールの重ねぬい

ボタンホールをぬい終わったところで押さえ上げをあげずにもう一度ミシンをスタートさせると、ボリュー ム感のあるボタンホールの「重ねぬい」ができます。

「重ねぬい」は、必ず押さえ上げをあげずにそのままの状態でミシンを再スタートさせてください。 ※ ボタンホールの重ねぬいで送りがつまるときには、ぬい目のあらさを大きくしてぬってください。



⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、シームリッパー で左右のラインタックの糸を切らないようにボタン穴 を切り開きます。

【ぬい順序】

- []] 下ぬいをし、左側のラインタックをぬいます。
- [2] 下ぬいをし、かんぬきと右側のラインタックをぬい ます。
- [3] かんぬきと止めぬいを行って自動的にミシンが停止 します。 ぬい終わるとメッセージ画面が表示されます。
- ボタンホールの重ねぬいをする場合には、そのまま * スタート/ストップボタンを押してぬいます。 重ねぬいをしない場合には、押さえ上下移動ボタン を押して、押さえをあげます。

★ボタンホールの調節画面

〔調節画面〕



①《ボタン穴の幅の調節》



②《ぬい目の幅の調節》



③《ぬい目のあらさの調節》



模様選択画面の調節キーを押すと、調節画面が全体表示 されます。

- ① ボタン穴の幅調節キー ボタン穴の幅(ボタンホールの中幅)をかえることが できます。
- ②ぬい目の幅調節キー ガタンホール タケの短ちからススト がズキキキ

ボタンホール全体の幅をかえることができます。

- ③ **ぬい目のあらさ調節キー** ぬい目のあらさをかえることができます。
- ④ 糸調子調節キー
 上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができます。
- 押さえ圧調節キー 押さえ圧をかえることができます。
- ※ 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(35ページ)をごらんください。





④ ミシンをスタートさせると、下ぬいを行います。
 ぬい始めの位置にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

 ⑤ ミシンをスタートさせると、かんぬきと右側のライン タックをぬいます。
 必要な長さの位置にもどったらミシンを停止し、返し ぬいボタンを押します。

- ⑥ ミシンをスタートさせると、かんぬきと止めぬいを行い、ミシンが自動的に停止します。
- ⑦ ぬい終わるとメッセージ画面が表示されます。
 ミシンは、手順③~⑥でぬったボタンホールの長さを
 記憶しています。
 - 別の場所に同じ長さのボタンホールをぬう場合 は、この画面の状態のまま布の位置をかえて ミシンをスタートさせます。
 返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのボタ ンホールを自動的にぬってミシンは停止します。
 - 同じ長さのボタンホールをぬう必要がない場合 は、閉じるキーを押してメッセージ画面を消す と、記憶しているボタンホールサイズは取り消 されます。



- ★ボタンホールの調節画面」(60ページ)をごらん ください。
- ※ キーホールボタンホールの穴は、パンチ(市販品)で 丸穴を開けてからシームリッパーで切り開いてくだ さい。



ぬい始めの位置





- ※ ぬい方は、「●スクエアボタンホール」と同じです。 57~59ページをごらんください。
- ※幅とあらさのかえ方は、「●スクエアボタンホール/
 ★ボタンホールの調節画面」(60ページ)をごらんください。
- ※ 左右のぬい目のあらさがそろわないときは、「◎操作 方法/●送り調節ねじ(模様の形の調節)」(18ペー ジ)をごらんください。







- ※ ぬい方は、「●スクエアボタンホール」と同じです。 57~59ページをごらんください。
- ※使用する芯糸の太さに合わせてぬい目の幅(ボタンホ ールの全体の幅)およびボタン穴の幅(ボタンホール の中幅)を調節してください。
- ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ 込んでから、芯糸の一方の端をボタンホール押さえ後 部の左側の切り込みに入れ、横に引いて金属の板のあ いだにはさみ込んで固定します。
 芯糸は、押さえの下から前に引き、輪にして押さえ前 部のつのにかけます。
- ② つのにかけた芯糸を、押さえの下を通して押さえ後部の右側の切り込みに入れ、横に引いて金属の板のあいだにはさみ込んで固定します。
- ※ 芯糸は、たるみのないように強く張ってください。
- スクエアボタンホールの手順①~⑦(57~59ページ)と同じようにぬいます。

 ④ ぬい終わったら芯糸を引いてたるみをなくし、余分な 芯糸を切ります。

左右どちらの芯糸も引けない場合は、芯糸の両側を切 ります。 ●ボタンホール安定板の使い方



上糸

(2) (3)

(4)

上糸

厚物の段部や安定して布送りできない布などをぬうとき にボタンホール安定板を使用すると、布送りをスムーズ にしてぬうことができます。

【使い方】

押さえの穴

ボタンホール安定板

ボタンホール安定板

 ボタンホール押さえの取り付け穴に、ボタンホール安 定板のガイド部分を差し込みます。

- ボタンホール安定板を組み付けたボタンホール押さえ をミシンに取り付けます。
- ③ 押さえをあげ、上糸を押さえの穴から下に通し、ボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだから横に引き出します。
- ④ 上糸を横に引き出した状態でボタンホール押さえとボ タンホール安定板のあいだに布を入れます。
- ※ ぬい方は、「★スクエアボタンホール」と同じです。 57~59ページをごらんください。



布

<u>布がボタンホール切りかえレバーに触れて、</u> <u>うまくぬえない場合</u>

弾力性のある厚い布(フリースなど)をぬう場合、布 を送るときに浮きあがった布がボタンホール切りかえ レバーに触れて誤操作を起こし、正しい形にぬえない ことがあります。

このような場合は、布を送るときに布が浮きあがらな いようにまち針で固定し、ボタンホール安定板を使用 してぬってください。



123







〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



- ※ 模様 ↓↓ は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬい を行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止 時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の 位置で停止します。)
- ① ボタン受け台をいっぱいに引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出します。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上下移動ボタンを 押して、押さえをさげます。
- ④ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。
- ※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 2cm の長さを ぬうことができます。(幅は約 0.9cm) 2cm より短い長さでぬう場合は、下記【2cm より 短い長さでぬう場合】をごらんください。

⑤ 布の向きをかえてぬいます。

【2cm より短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。 押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停 止するまでぬいます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシン はぬった長さを記憶しています。

 別の場所に同じ長さのものをぬう場合は、この画面の 状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。
 返しめいギタンを押さたくても同じ長さのものを良動

返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動 的にぬってミシンは停止します。

 同じ長さのものをぬう必要がない場合は、閉じるキー を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さ は取り消されます。



【形の整え方】

つくろいぬい(ダーニング)のぬい始め(左側)とぬい 終わり(右側)の高さがそろわないときは、調節画面の 高さ調節キーで調節します。

「1.0」~「9.0」の範囲で調節できます。 (「5.0」はオート値)

- 左側が低い場合は、「-」を押します。
 …「1.0」~「4.0」
- 右側が低い場合は、「+」を押します。
 …「6.0」~「9.0」






〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



ポケットぐちなど、ぬい目に力がかかってほつれやすい 部分などを補強します。

- ※ 模様 **1** は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬ いを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停 止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上 の位置で停止します。)
- ゆい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。
- ② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上下移動ボタンを 押して、押さえをさげます。
- ③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいま す。
- ※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 1.5cm の長さのかんぬき止めをぬうことができます。
 1.5cm より短い長さでぬう場合は、下記【1.5cm より短い長さでぬう場合】をごらんください。
- ※ ぬい目の幅やあらさは、調節画面のぬい目の幅調節キ ーとぬい目のあらさ調節キーでかえることができます。 (ぬい目のあらさをかえると、自動でぬえる最大長さ 「1.5cm」もかわります。)

【1.5cm より短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。 押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停 止するまでぬいます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシン はぬった長さを記憶しています。

 別の場所に同じ長さのものをぬう場合は、この画面の 状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせま す。

返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動 的にぬってミシンは停止します。

- 同じ長さのものをぬう必要がない場合は、閉じるキー を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さ は取り消されます。
- ※ かんぬき止めの長さが 0.7cm、1cm、1.2cm の固 定値の場合は、用途選択の模様から選ぶと、返しぬい ボタンを押さなくても自動的にぬうことができます。 「◎用途選択/●かんぬき止め」(115 ページ)をご らんください。





あき止まりや、ポケットロの飾りをかねた補強ぬい に使います。

自動的に止まるまでぬいます。









- ※ アイレット模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)
- ゆい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。
- ② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上下移動ボタンを 押して、押さえをさげます。
- ③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいま す。
- ※ ぬい目の内側は、パンチ(市販品)などで穴を開けます。 パンチの穴の大きさは、直径 0.25cm 以下のものを ご使用ください。

【形の整え方】

布によってアイレットの形がくずれる場合は、調節画面 の形状調節キーで調節します。

「S1」と「S3」で調節できます。(「S2」はオート値)

- ぬい目にすきまがある場合は、「-」を押して 「S1」にします。
- ぬい目が重なる場合は、「+」を押して「S3」 にします。

○飾りぬい●飾りぬいの画面

〔ホーム画面〕



ホームキー



①アップリケキー ②かざりもよう 1 キー ③キルトキー ④サテンキー ホームキーを押して、ホーム画面の飾りぬいキーを 押すと、飾りぬいの模様グループを選ぶ選択画面に なります。

飾りぬいの模様グループは、10個のグループがあり、 各グループの選択キーで選択できます。

①アップリケグループ

アップリケキーを押すと、アップリケなどに使用 する模様グループの模様選択画面になります。 アップリケグループは、18 個の模様とスペース 模様および自動止めぬい模様があります。

アップリケのぬい方は、「◎用途選択/●アップ リケ」(115ページ)をごらんください。

②かざりもよう 1 グループ

かざりもよう 1 キーを押すと、伝統的な飾り模様 グループの模様選択画面になります。 かざりもよう 1 グループは、48 個の模様とスペ ース模様および自動止めぬい模様があり、3 つの ページ(画面)に分かれていて、ページキーで選 択できます。

③キルトグループ

キルトキーを押すと、キルトなどに使用する模様 グループの模様選択画面になります。 キルトグループは、67 個の模様とスペース模様 および自動止めぬい模様があり、5 つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択でき ます。

キルトのぬい方は、「◎用途選択/●パッチワーク、 ●キルティング」(117~119ページ)をごら んください。

④サテングループ

サテンキーを押すと、サテン(ぬい目を密着させ た模様)グループの模様選択画面になります。 サテングループは、29 個の模様とスペース模様 および自動止めぬい模様があります。 サテングループの模様は他の飾りぬいの模様グル ープと異なり、ぬい目のあらさをかえずに模様の 長さを 2 ~ 5 倍にかえることができる模様長さ 調節機能があります。

模様の長さ調節機能の使い方は、87ページをご らんください。



⑤つなぎもようキー
 ⑥かざりもよう2キー
 ⑦ロングステッチキー
 ⑧ワンポイントキー
 ⑨プレイキー
 ⑩ユーザー作成模様キー

⑤ つなぎもようグループ

つなぎもようキーを押すと、模様と模様の間かくをあ けるためのつなぎもようグループの模様選択画面にな ります。

つなぎもようグループは、7個の模様とスペース模様 および自動止めぬい模様があります。

つなぎ模様の使い方は、88ページをごらんください。

⑥ かざりもよう 2 グループ

かざりもよう2キーを押すと、装飾的なかざりもよ う2グループの模様選択画面になります。 かざりもよう2グループは、108個の模様とスペー ス模様および自動止めぬい模様があり、7つのページ (画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑦ロングステッチグループ

ロングステッチキーを押すと、ロングステッチグルー プ(1つの模様の長さが長い装飾模様)の模様選択画 面になります。 ロングステッチグループは、18個の模様とスペース 模様および自動止めぬい模様があります。

⑧ ワンポイントグループ

ワンポイントキーを押すと、具象的な飾り模様(形が はっきりした模様)グループの模様選択画面になりま す。 ワンポイントグループは、42個の模様とスペース模 様および自動止めぬい模様があり、3つのページ(画 面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑨ プレイグループ

プレイキーを押すと、遊び心が入った飾り模様グルー プの模様選択画面になります。 プレイグループは、11個の模様とスペース模様およ び自動止めぬい模様があります。

10 ユーザー作成模様グループ

ユーザー作成模様キーを押すと付属のアキュツールズ のステッチコンポーザーで作成した模様データの模様 選択画面になります。 ステッチコンポーザーの使い方は、ステッチコンポー ザーの画面にあるヘルプをごらんください。



模様グループ選択キーを押すと、その模様グループの模 様選択画面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ(画面)に分かれてい る場合は、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様の画面と同様、模様選択キ ー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれて いる模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法/●画面 (タッチパネル)」(14~15ページ)をごらんください。

【設定キー】

その模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件 に変更します。

※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色が グレーになっていて使用できないキーがあります。

① 調節キー

調節キーを押すと調節画面が全体表示になります。 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(35ページ)をごらんください。

②上下反転キー

選んだ模様を上下反転した形でぬうことができます。 (79 ページ参照)

金右反転キー

選んだ模様を左右反転した形でぬうことができます。 (79ページ参照)

④模様組み合わせキー

模様を組み合わせてぬうときに、キーを押して模様組 み合わせモードに設定します。(78 ページ参照)

- ⑤布ガイド設定キー 付属の布ガイドを利用するときに設定します。 (41ページ参照)
- ⑥ピボットぬい設定キー

ビボットぬいを行うときに設定します。 (34 ページ参照)

⑦2本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うときに、 キーを押して2本針ぬいに設定します。 使い方は、「◎2本針ぬい」(136ページ)をごらん ください。

【模様頭出しキー】

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬう ときにその模様の最初からぬうことができます。 模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初 または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうこと ができます。(81ページ参照) 〔模様選択画面/通常モード〕 <u>かざりもよう2(3/7)ページの例</u> 模様組み合わせキーの状態: ₩









設定キーの模様組み合わせキーを押すと、通常モードの 模様選択画面から模様組み合わせモードの模様選択画面 にかわります。

模様組み合わせモードに設定すると

- 通常モードでは選んだ模様を1つだけ繰り返し連続してぬいますが、模様組み合わせモードではお好みの 模様を組み合わせてぬうことができます。
 - 模様は、最大100個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
 - 組み合わせができる模様は、飾りぬいの模様グ
 ループと文字ぬいの模様グループです。
 - ※ 文字ぬいの模様グループは、「◎文字ぬい」(90 ページ)をごらんください。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。(83ページ参照)
- 組み合わせた模様をミシンに保存したり、USB メモリに保存することができます。

【模様組み合わせモードの画面】

通常モードから模様組み合わせモードに切りかえると、 2本針ぬい切りかえキーがなくなり、削除キー、プレビ ューキー、保存キーおよび組み合わせた模様を確認した り選択するためのカーソル移動キーが画面上に追加され ます。

- ※ 模様組み合わせモードは、2本針ぬいができません。
- ① 削除キー

カーソルの付いている模様を削除することができます。 模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の下 側にある場合は、最後の模様を削除することができま す。(83ページ参照)

② プレビューキー

組み合わせた模様のすべてを一覧表で確認できます。 (82ページ参照)

③保存キー

組み合わせた模様をミシンに保存したり、USB メモ リに保存するときに使います。 使い方は、「◎模様データの保存・呼び出し/●模様 データの保存」(190ページ)をごらんください。

- ④布ガイド設定キー 付属の布ガイドを利用するときに設定します。 (41 ページ参照)
- ⑤ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行うときに設定します。 (34 ページ参照)

⑥ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変 更したい模様(場所)を選ぶことができます。 (83 ページ参照)

★模様組み合わせぬいの例



× 1 3

 様様組み合わせモードの状態で、かざりもよう2グ ループの模様
 ^{3'}

 を選びます。

② 模様 🕺 を選びます。

③ 模様 🔮 を選びます。

- ④ ミシンをスタートさせると、3つの模様を繰り返しぬいます。
 ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
- ※ 止めぬいボタンの使い方は、「◎操作方法/●操作ボ タン/【止めぬいボタン】」(11 ページ)をごらんく ださい。

かざりぬいもようグループの模様 🛛 および模様 🔒 の使い方	R
■ 画面右下の模様選択キー 🔲 は、スペース模様です。	約 5mm の間かく
1 個につき約 5mm の間かくをあけることができます。 間かくの値は、調節画面のぬい目のあらさ調節キーで小さくできます。 右図は、各模様のあいだにスペース模様を 1 個組み合わせた例です。	約 5mm の間かく
■ 画面右下の模様選択キー (2) は、自動止めぬい模様です。 模様を1つだけまたは複数組み合わせた最後に自動止めぬい模様を組 み合わせると、模様を1つだけまたは組み合わせた模様の数だけぬっ たあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。	約 5mm の間かく

★反転キーの使い方



左右反転キーまたは上下反転キーを使うと、選んだ模様の形を左右または上下反転した形でぬうことができます。

左右反転と上下反転を組み合わせることができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用 できます。

※上下反転できる模様は、ミシンの早見板に表示されている模様を四角に塗って表示しています。 また、通常モードの場合は、上下反転できない模様が 選ばれているとき、上下反転キーは使用できません。

〔早見板/ワンポイントグループの例〕



模様の四角色付きが 上下反転できる模様

【左右反転、上下反転のぬい方】(通常モードの例)

- ① 模様を選びます。 (ワンポイントグループの模様 🎦 の例)
- ② 模様を左右反転した形でぬう場合は、左右反転キーを 押します。
 画面に左右反転マークが表示され、左右反転した形で ぬうことができます。
- ※ 左右反転キーをもう一度押すと左右反転マークが消え、 もとの通常の形にもどります。
- ③ 模様を上下反転した形でぬう場合は、上下反転キーを 押します。
 画面に上下反転マークが表示され、上下反転した形で ぬうことができます。
- ※ 上下反転キーをもう一度押すと上下反転マークが消え、 もとの通常の形にもどります。
- ④ 模様を左右反転と上下反転を組み合わせた形でぬう場合は、左右反転キーと上下反転キーを押します。
 画面に左右反転マークと上下反転マークが組み合わされて表示され、左右および上下反転した形でぬうことができます。



反転機能のご注意

通常モードで左右および上下反転キーで反転マークを表示させると、反転キーをもう一度押して反転マーク を取り消すまで反転機能の設定は継続します。(次の模様を選んでも反転した形になります。) ただし、上下反転機能の場合は、上下反転に設定された状態で上下反転できない模様を選ぶと、上下反転機 能の設定が取り消されますのでご注意ください。







?

вТ

800

模様頭出しキーを使うと、模様をぬっている途中でミシ ンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬ うことができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用 できます。

模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初 または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうこと ができます。

【例】模様組み合わせモードで、かざりもよう 2 グループの模様 📓 🖉 <table-cell> を組み合 わせてぬっている場合

【ぬいかけた模様の最初からぬう場合】

- ① 組み合わせた模様のぬいイメージ。
- ミシンを停止した位置。
- ③模様頭出しキーを押します。
- ※ 模様頭出しキーを押すと、表示が 🔽 にかわります。
- ④ ミシンをスタートさせると、途中で停止した模様(3 番目の模様)の最初からぬいます。
- ※ 模様頭出しキーの表示が **■** のとき、ぬい途中の模様の最初からぬいます。

【組み合わせた模様の最初からぬう場合】

- ④ 上記、【ぬいかけた模様の最初からぬう場合】の手順
 ③で模様頭出しキーを押すと、表示が にかわるので、もう1回模様頭出しキーを押します。
- ※ 模様頭出しキーを2回続けて押すと、表示が ■▲ に かわります。
- ⑤ ミシンをスタートさせると、組み合わせた模様の最初 (1番目の模様)からぬいます。
- ※ 模様頭出しキーの表示が I▲ のとき、組み合わせた 模様の最初からぬいます。



★プレビュー機能





模様組み合わせモード設定中は、編集機能を利用すると、 模様を組み合わせたあとでも、ぬったあとでも、組み合 わせた模様の一部を削除したり、別の模様を追加したり、 模様の形を反転させたり、模様のぬい目の幅やあらさな どの設定値を変更したりすることができます。

【編集機能の使用例】

 様様組み合わせモードの状態で、かざりもよう2グ ループの模様
 ³

 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ³
 ¹
 ¹

- ② カーソル移動キー ▲ を2回押して、画面のぬい
 イメージの模様 ³ にカーソルを合わせます。
 カーソルの付いた模様が赤色にかわります。





- ④ 模様 2⁴を選びます。
 模様 8³/2⁴と模様 8³のあいだに模様 2⁴が追加されます。
- ※ 模様の設定値の変更や模様の削除は、カーソルの付い ている模様(赤色の模様)に対してできます。 また、カーソルの付いている模様(赤色の模様)の前 に新しく選んだ模様が追加されます。
- ⑤ カーソル移動キーを2回押して、画面のぬいイメージの模様 (こカーソルを合わせます。)

- ⑥ 調節キーを押して調節画面にし、ぬい目の幅の設定値 を「9.0」から「5.0」に変更します。
- ※ 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(35ページ)をごらんください。

⑦ 模様 👫 のぬい目の幅が変更できました。



(3)

模様組み合わせモード設定中は、模様を1つだけぬった ときまたは組み合わせた模様をぬったときの全長(目安) を知ることができます。

模様をぬったときの全長は、布の種類や厚さ、ぬいの速さ、 および模様の種類などのぬい条件で異なります。

同じようなぬい条件で一度試しぬいをして表示の数値を補 正しておくと、次回確認するときに実際のぬい長さに、よ り近い表示になります。

※一度補正すると、その補正値は、他の模様や他の組み 合わせ模様(文字ぬいを含む)にも適用されます。ま た、ミシンの電源スイッチを切っても記憶されていま す。

補正後に、ぬい条件の大きく異なるぬいで模様の全長 を知りたい場合は、再度、同じような条件で試しぬい をして表示されている数値を補正し直してください。

【模様全長表示機能の使用例】

- ② 模様のぬいイメージが表示されてる場所を押します。
- ③ 模様全長表示画面が表示されます。 この画面で自動止めぬい模様を含めて4つの模様の 全長の目安(例では39mm)を知ることができます。



選んだ模様の全長 (目安) 選んだ模様の数



(5)

〔模様の全長表示画面〕(補正後)



④ 画面のメッセージにしたがい、同じぬい条件で試しぬ いをし、止めぬいを含む4つの模様の実際の全長(例 では 37mm)を「+|または「-|キーで入力し、 OK キーを押して確定します。

- ⑤ 次回からは、同じ模様の場合でも、別の組み合わせ模 様の場合でも、模様の全長表示画面を表示させると、 実際のぬいにより近い全長(目安)が表示されます。 このとき全長表示画面は、補正されていることを示す ためにメッセージの表示がありません。 (左の画面例は、別の組み合わせ模様で全長表示画面 を表示させた場合)
- ※ 補正前の初期の状態(購入時の設定状態)にもどす場 合は、初期化キーを押して OK キーを押してください。

(1) 〔模様選択画面/サテングループ〕



8 **F** 4

NA H

•

ン (1/2)

XX 7-1-

-

14/29

9.0 +

+

X1 +

+

+

11 x-1

0.40

2.2

オート

調節キー

вТ

(2)

(3)

サテングループの模様は、他の飾りぬいの模様グループ と異なり、ぬい目のあらさをかえずに模様の長さを2~ 5倍にかえることができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでもでき ます。

※ サテングループの模様はぬい目の細かい飾り模様(密 着模様)です。布が縮む場合は、裏に芯地を貼ってく ださい。

【模様の長さの調節例】

- ① サテングループの模様 🌒 を選びます。
- ② 調節キーを押して、調節画面を全体表示させます。





●つなぎもようグループの使い方

〔模様選択画面/つなぎもようグループ〕

模様



つなぎもようグループの模様は、模様と模様の間かくを 直線ぬいを使ってあけるときに使います。

模様選択キーに表示されている模様の右側の数字[1][2] [3] は、つなぎ模様を] つ組み合わせたときのつなぎ模 様(直線ぬい)のぬい目の数を示します。

↓ ↓ ↓ ↓ は、針位置やぬい目のあら さのオート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に設 定されている値)が設定されていて、そのオート値はぬ い目の幅調節キーとぬい目のあらさ調節キーでかえるこ

模様 は、針位置やぬい目のあらさのオート値が 設定されていないで、その値はつなぎ模様の 1 つ前に記 憶されている模様と同じ値になり、ぬい目の幅調節キー とぬい目のあらさ調節キーでかえることはできません。 (針位置は、前の模様のぬい終わりの針位置になります。)

- 【例】模様組み合わせモードで、かざりもよう 1 グループの模様 💲 のあいだに 模様 4 を組み合わせて、間かくをあける
- ① 模様組み合わせモードの状態で、かざりもよう 1 グ ループの模様 楽を選びます。

② つなぎもようグループの模様 🔓 を選びます。

- ③ ミシンをスタートさせると、模様 の間かくがあ いた状態でくり返しぬいます。
- ※ 模様と模様のあいだに、中針位置の直線のぬい目が2

例えば、サテングループの模様 のように、ぬい 目のあらさが細かい模様の次につなぎもよう 使うと、つなぎ模様のぬい目のあらさは1つ前の模様 のぬい目のあらさと同じになるため、つなぎ模様のぬ い目のあらさも細かくなって、次の模様とほとんど間 ぬい目のあらさが細かい模様のあとにつなぎもようで つなぎもよう 📒 のぬい 間かくをあけたい場合は、つなぎもよう ※ 直線のぬい目が1つしか入っていないが、 1を使用してください。 のオート値のぬい目のあらさが 2.5mm あるため、間かくがあく。

▶ユーザー作成模様



(新





ホーム画面のもじぬいキーを押すと、文字ぬいの模様選 択画面になります。

模様選択画面の書体切りかえキーを押すと、書体を選ぶ 選択画面になります。書体は 7 個にグループ分けしてあ ります。

明朝体 (9mm) グループ

「明朝体(9mm)」キーを押すと、明朝体(ひらがな・ カタカナ、およびスペース模様2個)の模様選択画 面になります。 明朝体(9mm)グループは、3つのページ(画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ(高さ)は、最大 9mm あります。

②まるもじ (9mm) グループ

「まるもじ(9mm)」キーを押すと、まるもじ(ひら がな・カタカナ、およびスペース模様 2 個)の模様 選択画面になります。 まるもじ(9mm)グループは、3 つのページ(画 面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ(高さ)は、最大 9mm あります。

③ ブロック体グループ

「ブロック」キーを押すと、ブロック体(英字・数字・ 記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個) の模様選択画面になります。 ブロック体グループは、5つのページ(画面)に分か れていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大 9mm で、個 々の文字サイズ(高さ)は 9mm より小さくな ります。

④ スクリプト体グループ

「スクリプト」キーを押すと、スクリプト体(英字・ 数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個) の模様選択画面になります。 スクリプト体グループは、5つのページ(画面)に分

- かれていて、ページキーで選択できます。
- ※ 文字構成全体の高さ(枠)が9mmで、個々の 文字高さは9mmより小さくなります。(上記ブ ロック体グループと同じです。)



⑤ ブロードウェイ体グループ

「ブロードウェイ」キーを押すと、ブロードウェイ体 (英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、および スペース模様3個)の模様選択画面になります。 ブロードウェイ体グループは、5つのページ(画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

 ※ 文字構成全体の高さ(枠)が9mmで、個々の 文字高さは9mmより小さくなります。
 (90ページブロック体グループと同じです。)

⑥ ブロック体 (9mm) グループ

「ブロック(9mm)」キーを押すと、ブロック体(英 字の大文字・数字・記号、およびスペース模様3個) の模様選択画面になります。

ブロック体 (9mm) グループは、3 つのページ (画 面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ(高さ)は、9mm あります。

⑦ ワンポイントグループ

「ワンポイント」キーを押すと、ワンポイントの模様 選択画面」になります。 ワンポイントは、26 個あります。

★模様選択画面



〔模様選択画面〕 ブロック体グループ 1/5 ページの例



書体切りかえキーで書体を選ぶと、模様選択画面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ(画面)に分かれてい る場合は、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様や飾りぬい模様の画面と同 様、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキ ーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示さ れています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法/●画面 (タッチパネル)」(14~15ページ)をごらんください。

【設定キー】

その模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件 に変更します。

- ※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色が グレーになっていて使用できないキーがあります。
- ・縦書き切りかえキー 横書きと縦書きを切りかえることができます。 (93ページ参照)
 - ※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。
- ② **書体切りかえキー** 書体グループを選ぶ選択画面になります。
- ③ **ひらがな・カタカナ切りかえキー** ひらがなとカタカナを切りかえることができます。 模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

模様選択キーの表示も同時に切りかわりま (94ページ参照)

9調節キー

調節キーを押すと調節画面が全体表示されます。 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(35ページ)をごらんください。

11 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく(低く)することができます。

⑪ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえることができます。 模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

※ 設定キーの中の④「削除キー」、⑤「プレビューキー」 ⑥「保存キー」、⑦「布ガイド設定キー」、⑧「ピボットキー」および模様頭出しキーの使い方は、飾りぬい と同じです。 組み合わせた文字内容を確認できるプレビュー機能および編集機能、模様全長表示機能も飾りぬいと同じです。 す。「◎飾りぬい/●模様組み合わせモード」(77ペ ージ)をごらんください。

●文字ぬいの例

- 文字ぬいは、飾りぬいの模様組み合わせモードと同様、お好みの模様を組み合わせてぬうことができます。
 - ・ 模様は、最大100個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
 - ・ 組み合わせができる模様は、文字ぬいの模様グループと飾りぬいの模様グループです。
 - ※ 飾りぬいの模様グループは、「◎飾りぬい」(74ページ)をごらんください。

■ 文字を1つだけまたは複数の文字を組み合わせてぬった場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。) ぬわれた文字のぬい始めとぬい終わりには、ほつれ止めの止めぬいが入っています。

- ※ 文字と飾りぬい模様を組み合わせてぬった場合、組み合わせた模様の最後が文字の場合は、最後の文字を ぬって自動的にミシンは停止します。組み合わせた模様の最後が文字以外の模様の場合は、組み合わせた 模様をくり返しぬいます。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。
 - ※ 編集機能は、「◎飾りぬい/●模様組み合わせモード/★編集機能」(83ページ)をごらんください。

■ 組み合わせた模様をミシンに保存したり、USB メモリに保存することができます。

文字ぬいの注意事項

横書き・縦書き切りかえキー

- ・ 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
- ・ 針は付属のブルー針(柄の部分が青色の針)、押さえは F: サテン押さえを使用してください。
- ・ 伸びる布地、薄手の布地などをぬう場合は、布の裏に市販品の芯地を貼るかまたはトレーシングペーパー や薄い紙を布の下に敷いてぬってください。
- 文字や記号を組み合わせた場合、隣り合う模様によっては間かくがせまくなったり、広くなることがあります。気になる場合はスペース模様で調節してください。(95ページ〔スペース模様〕欄参照)



〔模様選択画面〕 明朝体グループ 1/3 ページ

【例】明朝体の横書きで文字「ししゅうミシン」 をぬう

- 「明朝体(9mm)」キーを押して明朝体の模様選択画 面を表示させ、横書き・縦書き切りかえキーが横書き の状態(よう)で、文字「し」を2度選びます。
- ※ 縦書きの場合は、最初の文字を選ぶ前に、横書き・縦 書き切りかえキーを押して、キーの表示を ます。

(2)2/3ページ







1/3ページ

(4)(5) 2/3ページ

ひらがな・カタカナ切りかえキー

(6)



2/3ページ

- ページキーで2/3ページを表示させ、文字「ゅ」を 選びます。
- ③ ページキーで 1/3 ページを表示させ、文字「う」を 選びます。

- ④ ページキーで2/3ページを表示させ、ひらがな・カ タカナ切りかえキーを押して、キーの表示を ら にかえ、文字「ミ」を選びます。
- ※ ひらがな・カタカナ切りかえキーを押すと、画面の模 様選択キーの表示もカタカナに切りかわります。
- ⑤ ページキーで 1/3 ページを表示させ、文字「シ」を 選びます。

- めい
 イメージ
 パリーマーク
 イメージ
 パリーマーク
 イメージ

 イメージ
 パリーマーク
 イメージ
 パリーマーク
 イメージ
- ⑥ ページキーで2/3ページを表示させ、文字「ン」を 選びます。
- ミシンをスタートさせると、「ししゅうミシン」をぬったあと自動的にミシンは停止します。





すべての組み合わせ模様の糸調子をオート値(電源を入 れたとき、ミシンに自動的に設定されている値)と異な る別の統一した値に設定したいとき、飾りぬいの場合は、 調節画面の糸調子調節キーで模様ごとに設定する必要が あります。

文字ぬいの場合は、統一糸調子機能により、組み合わせ 模様(文字)ごとに設定しないで、一括して統一した糸 調子を設定することができます。

【設定例】

① 文字を選びます。(ブロック体「ABC」の例)



◎用途選択

●用途選択の画面

(標準付属押さえ使用)





〔用途選択画面〕



標準付属押さえ オプション押さえ 使用キー 使用キー ホーム画面の用途キーを押すと、ぬいの用途に適した模 様が直接選べる用途選択画面になります。

用途選択画面は2画面あり、標準付属押さえ使用キーと オプション押さえ使用キーで選択できます。 標準押さえ使用の用途選択画面は、12個の用途選択キ

一があります。

オプション押さえ使用の用途選択画面は、6 個の用途選 択キーがあります。(128 ページ参照)

※ 用途選択により選んだ模様に設定されている「ぬい目 の幅・ぬい目のあらさ・糸調子」などの値は、ぬいの 用途に適した値になっています。

① 地ぬい

「地ぬい」キーを押すと、4 種類の地ぬいの用途選択 画面になります。4 種類の中から目的のキーを押す と、それぞれの用途に適した地ぬいの模様選択画面に なります。地ぬいは、12 種類の模様があります。 (100 ページ参照)

② ふちかがり

「ふちかがり」キーを押すと、縁かがりの模様選択画 面になります。縁かがりは4種類の模様があります。 (101ページ参照)

③まつりぬい・シェルタック

「まつりぬい&シェルタック」キーを押すと、まつり ぬいとシェルタックのどちらかを選ぶ用途選択画面に なります。 目的のキーを押すと、まつりぬいまたはシェルタック の模様選択画面になります。 まつりぬいは2種類、シェルタックは3種類の模様 があります。(102、104ページ参照)

④ 三つ巻き

「三つ巻き」キーを押すと、三つ巻きの模様選択画面 になります。三つ巻きは、3種類の模様があります。 (105 ページ参照)

⑤ファスナー付け

「ファスナー」キーを押すと、2種類のファスナー付けの用途選択画面になります。2種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適したファスナー付けの模様選択画面になります。ファスナー付けは、10種類の模様があります。(106ページ参照)

⑥ギャザー

「ギャザー」キーを押すと、ギャザーの模様選択画面 になります。ギャザーは、2種類の模様があります。 (111ページ参照)



⑦しつけぬい

「しつけ」キーを押すと、しつけぬいの模様選択画面 になります。しつけぬいは、2 種類の模様があります。 (112 ページ参照)

⑧ボタン付け

「ボタンつけ」キーを押すと、ボタン付けの模様選択 画面になります。ボタン付けは、2種類の模様があり ます。(112ページ参照)

⑨ かんぬき止め

「かんぬき」キーを押すと、かんぬき止めの模様選択 画面になります。かんぬき止めは、4 種類の模様が あります。(115 ページ参照)

10 アップリケ

「アップリケ」キーを押すと、アップリケの模様選択 画面になります。アップリケは、6 種類の模様があり ます。(115ページ参照)

①パッチワーク

「パッチワーク」キーを押すと、パッチワークの模様 選択画面になります。パッチワークは、3 種類の模様 があります。(117 ページ参照)

12キルティング

「キルティング」キーを押すと、6種類のキルティン グの用途選択画面になります。6種類の中から目的の キーを押すと、それぞれの用途に適したキルティング の模様選択画面になります。キルティングは、22種 類の模様があります。(119ページ参照)

★模様選択画面



ホームキー

用途選択画面の用途選択キーを押すと、その用途に使用 する模様選択画面になります。

「地ぬい」「まつりぬい・シェルタック」「ファスナー付け」 「キルティング」は2段階の用途選択画面で構成されて いますので、用途選択キーを2回押すと模様選択画面に なります。

※ 模様選択画面のもどりキーを押すと、1 つ前の用途選 択画面にもどります。 用途選択のぬいが終わって、他の模様グループを選ぶ 場合は、ホームキーで目的の模様グループを選んでく ださい。

●地ぬい



用途選択画面の「地ぬい」キーを押すと、4 種類の地ぬ いの用途選択画面になります。 4 種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に

適した地ぬいの模様選択画面になります。

地ぬいに適した12種類の模様が選択できます。

※ ぬい方は、「◎実用ぬい/●直線(直線状模様)ぬい」 (43ページ)をごらんください。

【伸びない布地】

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどに適した5 種類の模様が選択できます。

① もどりキー

もどりキーを押すと1つ前の画面にもどります。

【伸びる布地】

ジャージー、ニット、トリコットなど伸縮性布地に適し た3種類の模様が選択できます。

【円弧ぬい】

円弧ぬいに適した3種類の模様が選択できます。

【トップステッチ】

トップステッチに適した模様が選択できます。

1	伸びない	布地	·
			-
·		 ▲.5 + 2.40 + DFT 	



伸びる布地

<u>円弧ぬい</u>









〔模様選択画面/ふちかがり〕

用途選択画面の「ふちかがり」キーを押すと、ふちかが りの模様選択画面になります。 ふちかがりに適した4種類の模様が選択できます。

※ ぬい方は、「◎実用ぬい/●かがりぬい」(51 ページ) をごらんください。

●まつりぬい

〔用途選択画面〕 〔模様選択画面/まつりぬい〕 まつりぬい&シェルタック



用途選択画面の「まつりぬい&シェルタック」キーを押 すと、まつりぬいとシェルタックのどちらかを選ぶ用途 選択画面になります。

「まつりぬい」キーを押すと、まつりぬいの模様選択画面 になります。

まつりぬいに適した2種類の模様が選択できます。





〔模様選択画面/まつりぬい〕



〔調節画面〕





【針位置の調節方法】

※下記、左針位置調節キーおよび右針位置調節キーは、 調節キーを押して表示される調節画面にもあります。 どちらを使用しても同じ設定ができます。 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(35ページ)をごらんください。

《左針位置調節キー》

左側の針位置(折り山側の針位置)をかえることがで きます。右側の針位置は固定なので、左に模様の幅が 変化します。

画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距 離の目安をミリメートルで表示しています。

- 「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、 左針位置が左へ移動します。
- 「−」を押すと表示されている数値が小さくなり、 左針位置が右へ移動します。

《右針位置調節キー》

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置 は固定なので、右に模様の幅が変化します。

画面の数値は、押さえのガイドから右針位置までの距 離の目安をミリメートルで表示しています。

- 「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、 右針位置が右へ移動します。
- 「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、
 右針位置が左へ移動します。

《ぬい目の幅調節キー(針位置調節キー)》

模様の幅をかえずに左側の針位置(折り山側の針位置) をかえることができます。

画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距 離の目安をミリメートルで表示しています。

- 「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、
 左針位置が左へ移動します。(模様全体が左に移動します。)
- 「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、
 左針位置が右へ移動します。(模様全体が右に移動します。)
- ※ 変更した値をオート値(電源を入れたとき、ミシンに 自動的に設定されている値)にもどす場合は、調節画 面の初期化キーを押してください。



《右針位置調節キー》

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置 は固定なので、右に模様の幅が変化します。

折り山








 ④ ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを 0.3cm 出して アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあて ます。

- ⑤ 模様 よう を選び、E:ファスナー押さえに付けかえ、 むしのきわを押さえの右側面にあて、あき止まりから ファスナーの左側をぬいます。
- ※ ぬい始めのほつれ止めは数針返しぬいをします。

- ⑥ ファスナーの端から約 5cm ほど手前でミシンを停止 し、針を布にさした状態で押さえをあげ、スライダー を押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの 部分をぬいます。
- ※ ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。



 ファスナーを閉じ、スライダーを上にたおし、上の布 をファスナーの上にかぶせます。

模様 よ を選び、A:基本押さえに付けかえ、かぶ せた布と台布をしつけで止めます。

- ⑧ 模様 を選び、E:ファスナー押さえに付けかえ、
 上の布のあき止まりを 0.7 ~ 1 cm ほど返しぬいしてから、むしのきわを押さえの左側面にあて、ファスナーの右側をぬいます。
- ⑨ ファスナーの上側を 5cm ほど残したところでミシン を停止し、針を布にさした状態で押さえをあげ、手順
 ③でぬったしつけ糸をほどき、スライダーを押さえの 向こう側にずらします。

(10)



10 押さえをさげて残りの部分をぬいます。
 ぬい終わったら手順⑦でぬったしつけ糸をほどきます。

コンシールファスナー付け





④ 模様
 ④ 模様
 ② を選び、Z: コンシールファスナー押さ

えに付けかえます。

右側のむしを立てて、押さえの左のみぞに入れ、むしの部分を押さえの凸部にあてながら、あき止まりまでぬっていきます。

- ※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいを します。
- ⑤ 押さえをあげ、ファスナーを閉じます。
- ⑥ 模様
 ⑥ 模様
 を選び、Z: コンシールファスナー押さえ
 を外し、E: ファスナー押さえをセットします。
- ⑦ 身頃を右側に折り返して、ぬいしろに左側の台布の端 を止め金から2~3cmのところまでぬい付けます。
- ※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいを します。

⑧ 模様 を選び、身頃を左側に折り返して、ぬいしろに右側の台布の端を止め金から2~3cmのところまでぬい付けます。 ぬい終わりに返しぬいをします。

⑨ 止め金をファスナーのあき止まりの位置より 0.3cmくらい上でペンチで固定します。



〔模様選択画面/ギャザー〕



用途選択画面の「ギャザー」キーを押すと、ギャザーの 模様選択画面になります。

ギャザーに適した2種類の模様が選択できます。

【ぬい方】ギャザー(模様

- 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出しておきます。
- ※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、「◎ぬう前の準備 /●下糸を針板の上に引き出す場合」(33ページ) をごらんください。
- ② 図のように、出来上がり線を挟んで、2本平行にしつ けをぬいます。
- ③ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 5cm くらい残して切ります。
 (糸切りボタンで切らないでください。)
- ④ ぬい始めの糸を結んでから、ぬい終わりの下糸を2本
 一緒に引いて、布を縮め、糸を結びます。
- ⑤ ギャザーを整え、アイロンがけします。
- ⑥ 通常ぬいの直線模様を選び、出来上がり線をぬって、 しつけを取ります。
- ※ しつけを取ったときの針穴が気になる場合は、出来上 がり線の上側に2本しつけをして、ギャザーを寄せま す。左図【A】参照

【ぬい方】いせ込み(模様 🔔 🌕 の例)

- 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出しておきます。
- ※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、「◎ぬう前の準備 /●下糸を針板の上に引き出す場合」(33ページ) をごらんください。
- ゆいしろの部分に 0.5 ~ 0.7cm の間かくで 2本平行にぬいます。
- ③ 布を軽くつまみ、上糸をそのままにして下糸を両側から引き、まるみを付けます。
- ※ ひだがよらないように注意して糸を引いてください。

●しつけ

〔模様選択画面/しつけ〕



用途選択画面の「しつけ」キーを押すと、しつけの模様 選択画面になります。

しつけに適した2種類の模様が選択できます。

模様 は、ぬい目のあらさが最大値(約 0.5cm)の直線ぬいを自動的にぬうことができます。

あとで糸をほどきやすいように、糸調子が弱く設定され ています。

模様 して は、お好みの間かくを 1 針ずつ手で布を移動させてぬうことができます。

ぬい方は、「◎実用ぬい/●しつけぬい」(50 ページ) をごらんください。

●ボタン付け

〔模様選択画面/ボタン付け〕



用途選択画面の「ボタンつけ」キーを押すと、ボタン付けの模様選択画面になります。 ボタン付けに適した2種類の模様が選択できます。



必ず針がボタンの左右の穴におりることを確認して ください。ボタンに針があたると針が折れ、けがの 原因になります。



ボタン付け押さえの取り付け方

押さえを交換する場合の基本操作は、「◎操作方法/● 押さえの外し方、付け方」(19ページ)をごらんください。

- 押さえのうしろのピンを押さえホルダーのうしろの みぞにかけます。
- ② 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさ げて取り付けます。





2345

(6)(7)





【普通のボタン付けのぬい方】(模様 😁 の例)

普通の <u>ポ タンつけ</u>

- ※ 模様 ↔ は、ぬいが終了すると自動的にミシンが 停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位 置停止になっていても針は上の位置で停止します。)
- ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の 間かく調節キーで、画面の数値を間かくと同じ値に設 定します。(最大 7.0mm まで調節できます。)
- ※ 間かく調節キーは、調節キーを押して表示される調節 画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定がで きます。
- ② ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にま わしてボタンの左の穴に針をさします。
- ③ ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえを さげます。
- ④ はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンにあたらないで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。
- ※ 針がボタンにあたる場合は、間かく調節キーで調節し てください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置 が移動します。)
- ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと 自動的にミシンは停止します。
- ⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10
 ~ 20cm 残して切ります。(糸切りボタンで切らない でください。)
- ⑦ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。
 ぬい終わりの上糸と下糸は、下糸を引いて上糸を布の裏側に引き出し、上糸と下糸を結んでから切ります。



※ 模様 と は、ぬいが終了すると自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)







根巻きボタン付けは、付属のボタン付けプレートを使用 してぬいます。(ボタンの厚さが厚いものは使用できません。)

- ①ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の 間かく調節キーで、画面の数値を間かくと同じ値に設 定します。(最大 7.0mm まで調節できます。) (模様選択画面は 112 ページ参照)
- ② ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にま わしてボタンの左の穴に針をさします。
- ③ ボタンの下にボタン付けプレートを差し込み、ボタン の左右の穴が真横になるようにして、押さえをさげます。
- ※ ボタン付けプレートは、みぞの部分がボタン穴の下に なるように差し込んでください。
- ※ ボタン付けプレートは、厚い方が 4.5mm、うすい 方が 3mm になっています。根巻きの用途に合わせ てお選びください。
- ④ はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンおよびボタン付けプレートにあたらないで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。
- ※ 針がボタンにあたる場合は、間かく調節キーで調節してください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。)
- ⑤ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと 自動的にミシンは停止します。
- ⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10
 ~ 20cm 残して切ります。(糸切りボタンで切らない でください。)
- ⑦ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。
 ぬい終わりの上糸と下糸は、上糸をボタンと布のあいだに引き出し、次にその上糸を引いて下糸をボタンと布のあいだに引き出します。
 上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に数回巻き付けて結びます。

〔模様選択画面/かんぬき止め〕



●アップリケ

〔模様選択画面/アップリケ〕



左針位置(L)基準 右針位置(R)基準 中針位置(M)基準

、針板の穴

用途選択画面の「かんぬき」キーを押すと、かんぬき止 めの模様選択画面になります。

かんぬき止めに適した4種類の模様が選択できます。

模様 **1** (1, 2, 2, 1) (1, 2, 2,

模様 **#** は、お好みの長さ(最大 2.5cm)がぬえます。

ぬい方は、「◎ボタンホール/●かんぬき止め」(71 ペ ージ)をごらんください。

用途選択画面の「アップリケ」キーを押すと、アップリ ケの模様選択画面になります。 アップリケに適した 6 種類の模様が選択できます。

画面の模様選択キーに表示されている「M」「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

模様 (100) (

※ アップリケに使用できる模様は、飾りぬい模様グルー プのアップリケグループにもあります。 アップリケグループの模様選択キーに表示されている 「L」は、上記同様、ぬい目の幅をかえたときに、左針 位置を基準(固定)に右に幅が変化します。 飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」(74ページ) をごらんください。







アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。 模様の針位置が右のときに、アップリケ布の縁の外側に ささるようにぬいます。

カーブのところや方向転換するところでは、アップリケ 布の外側に針がささった位置でミシンを停止し、針をさ したまま押さえをあげて方向をかえるときれいに仕上が ります。

※ ピボットぬい設定キーを使用すると便利です。

「◎実用ぬい/●実用ぬいの画面」(34 ページ) をご らんください。



<u>針停止位置切りかえキーの使い方</u>

セットキーによるミシンの設定で、針停止位置の設定が「上位置 停止」に設定されていても、用途選択の6種類のアップリケ模様 を選択すると、ミシンが停止したときの針位置は下位置になります。 ミシンを停止したときの針位置を上にしたい場合は、模様選択画 面の針停止位置切りかえキーを押して上位置停止状態にしてくだ さい。



:上位置停止状態

※ セットキーによる、針停止位置の設定は、「◎ミシンの設定/ 【通常ぬい設定】③針停止位置」(203 ページ)をごらんください。

角ぬいキーの使い方

模様選択画面の角ぬいキーを利用すると、角の部分で方向転換し てから模様頭出しキーにより模様を最初からぬっても、模様のぬ い始めにほつれ止めの止めぬいが入らないので、模様をきれいに ぬうことができます。

- ※ 模様頭出しキーは、「◎飾りぬい/●模様組み合わせモード/ ★模様頭出しキーの使い方」(81ページ)をごらんください。
- 角ぬいキーを押してキーの表示を角ぬいの状態にします。(角 ぬいの状態にセットすると、模様頭出しキーの表示も角ぬい状 態の表示にかわります。)



- ② 方向転換するところのアップリケ布の外側に針がささった位置 でミシンを停止します。
- ③ 針をさしたまま押さえをあげて布の方向をかえ、模様頭出しキ ーを押してからミシンをスタートさせます。

〔模様選択画面/パッチワーク〕



【模様選択画面/パッチワーク(上送り)】 上送りぬい切りかえキー







用途選択画面の「パッチワーク」キーを押すと、パッチワークの模様選択画面になります。

パッチワーク(ピーシング)に適した3種類の模様が選 択できます。

- ※3種類の模様は、0:パッチワーク押さえを利用して ぬうと、0.65cm(1/4インチ)のぬいしろを正確 にぬうことができます。
- ※ 模様 ↓ ↓ は、自動返しぬいおよび自動止め ぬいです。 自動返しぬいおよび自動止めぬいのぬい方は、「◎実用

白動返しぬいのより白動正のぬいのぬい方は、「◎実用 ぬい/●直線(直線状模様)ぬい/★自動返しぬい、 ★自動止めぬい」(46 ページ)をごらんください。

- ※ ピーシング用の模様は、飾りぬい模様グループのキル
 - トグループにもあります。(模様 は、ビアデア) 模様 に、上記、パッチワークの3種類の模様と 同様、パッチワーク押さえを利用してぬうと、1/4 インチのぬいしろを正確にぬうことができます。 模様 には、パッチワーク押さえを利用してぬうと、 0.7cm のぬいしろを正確にぬうことができます。 飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」(74 ページ) をごらんください。
- ※ 上送りぬい切りかえキーを押すと、使用する押さえ表示がOD:パッチワーク用上送り押さえになりますが、 標準付属品には含まれていませんので、ご了承願います。

なお、OD:パッチワーク用上送り押さえは、オプション品にて対応予定です。



 布を中表に合わせ、ぬい始めの位置からミシンをスタ ートさせ、ぬい終わりの位置でミシンを停止します。





(3) 〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



- ② 返しぬいボタンを一度押します。
 その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
- ③ ミシンが停止するとメッセージ画面が表示されます。
 - 引き続き同じ長さをぬう場合は、OK キーを押します。ぬい長さが記憶され、ミシンをスタートさせるだけで、返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。
 - ・ 異なる長さをぬう場合は、閉じるキーを押します。
- ※ ぬい目のあらさの調節は、模様選択画面上でできます。 調節キーを押して表示される調節画面にもあります。 どちらを使用しても同じ設定ができます。



針板角度目盛りの使い方

パッチワーク布(ピース)の角度と同じ角度目盛りに 布端を合わせると、しるしなしで 0.65cm(1/4 イ ンチ)のぬい始めの位置を決めることができます。

【例】レモンスター

- ② ピースの対角線に折り目を付けます。
- ③ ぬい始めは、布端をパッチワーク押さえのガイドお よび角度目盛り「45」度〈点線〉に合わせて布を 置きます。
- ※ パッチワーク押さえを使わず基本押さえなどを使用 する場合は、飾りぬい模様グループのキルトグルー プ、模様 (中針位置の直線)を選び、布端を針 板のガイドライン 1/4 インチおよび角度目盛り 「45」度〈実線〉に合わせて布を置きます。
- ④ ぬい終わりは対角線までぬいます。

●キルティング

〔用途選択画面/キルティング〕



★直線ぬい





用途選択画面の「キルティング」キーを押すと、6 種類 のキルティングの用途選択画面になります。 6 種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に 適したキルティングの模様選択画面になります。

キルティングの用途選択画面の「直線ぬい」キーを押すと、 3種類の直線ぬいの模様が選択できます。

※ ぬい方は、「◎実用ぬい/●直線(直線状模様)ぬい」 (43ページ)をごらんください。

【キルティングガイドの使い方】

キルティングガイドを利用すると、前にぬったぬい目と 平行に等間かくでぬうことができます。



- 押さえホルダーのうしろの取り付け穴にキルティング ガイドを差し込みます。(針位置とキルティングガイ ドのガイド部分までの距離がぬう間かくになります。)
- ② キルティングガイドのガイド部分に隣のぬい目を合わ せながらぬいます。



★とじぬい

〔模様選択画面/とじぬい〕



キルティングの用途選択画面(119ページ参照)の「と じぬい」キーを押すと、4 種類のとじぬいの模様が選択 できます。

厚みのあるキルト綿をとじるときに使用します。

※ とじぬい模様は 1 つの模様が完成すると、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

① 模様 * * (とじぬい 1)
② 押さえF:サテン押さえ



ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。



★フリーキルティング

〔模様選択画面/フリーキルティング〕



キルティングの用途選択画面(119ページ参照)の「フ リーキルト」キーを押すと、4種類のフリーキルティン グの模様が選択できます。

【各種フリーキルト押さえの特長】

《PD-H:フリーキルト押さえ》

20000模様を使用します。 押さえ高さの調整が出来、一定の高さでぬう押さえです。 手元で見やすく、安定して布を押さえるので、段差のあ る作品にも適しています。 また、ガイド線があるので先にぬったラインにガイド線 を合わせて、次のラインを均等にぬうことができます。



① 模様...... (直線ぬい1) ② 押さえ.....PD-H:フリーキルト押さえ



- 【ぬい方】(模様 🗼 😭 の例)
- ※ PD-H:フリーキルト押さえの取り付け方は、「◎操 作方法/● PD-H:フリーキルト押さえの取り付け方」 (22 ページ)をごらんください。

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。 1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

- 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ち ます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
- ミシンをスタートさせます。
 ミシンは1 針ぬって停止します。
- ③上糸を上に引いて、下糸を引き出します。
- ※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上に下糸 を引き出します。
- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布 の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
 図案にそって両手で布を案内しながらキルティングします。
- ※ キルト押さえを使用するときは、布を前後に強く 引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原 因になります。



【QC:丸穴キルト押さえ/QO:前あきキルト 押さえ/QV:透明キルト押さえの取り付け方】

- 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押し て針をあげます。
- ② ロックキーを押して、ミシンをロック状態にします。
- ※ ロックキーの使い方は 19ページをごらんください。
- ③使用しない押さえを外します。
- ④ 押さえのうしろのピンを押さえホルダーのうしろの みぞにかけます。
- ※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロック キーを押してミシンをロック状態にし、押さえホル ダーのレバーを押して、押さえを外します。

【QC:丸穴キルト押さえ/QO:前あきキルト 押さえのぬい方】



両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。 1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さ えすぎたりする場合があります。その場合は押さえ高さ の調節をしてください。(125ページをごらんください。)

- 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
- ② ミシンをスタートさせます。
 ミシンは1 針ぬって停止します。
- ③ 上糸を上に引いて、下糸を引き出します。
- ※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上に下 糸を引き出します。
- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、 布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
- ※ QO:前あきキルト押さえは押さえの穴がないので、 引き出した上糸と下糸を横にして、押さえておきま す。
- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
 図案にそって両手で布を案内しながらキルティングをぬいます。
- ※ キルト押さえを使用するときは、布を前後に強く 引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原 因になります。



上糸

(1) (2) (3)

押さえの穴



両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。 1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さ えすぎたりする場合があります。その場合は押さえ高さ の調節をしてください。(125ページをごらんください。)

- 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
- ミシンをスタートさせます。
 ミシンは1 針ぬって停止します。
- ③ 上糸を上に引いて、下糸を引き出します。
- ※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上に下 糸を引き出します。
- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
 図案にそって両手で布を案内しながらガイド線に合わせ、等間隔にキルティングすることができます。
- ※ キルト押さえを使用するときは、布を前後に強く 引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原 因になります。





押さえ高さ調節

PD-H:フリーキルト押さえは、ぬい中最適な押さえ 高さ(押さえの下面が布に軽く触れる位置)に自動セッ トされますが、QC:丸穴キルト押さえ、QO:前あきキ ルト押さえ、QV:透明キルト押さえの場合、布の種類 や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎ たりする場合があります。その場合は押さえ高さの調 節をしてください。

- ① 押さえ高さ調節キーを押します。(模様直線ぬい2の例)
- ② 押さえ高さ調節画面が表示されます。
- ※ 高さのオート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的 に設定されている値)は、1.5mm です。
- ③ 押さえ高さを高くするときは、「+」キーを押します。
 押さえ高さを低くするときは、「-」キーを押します。
- ④ OK キーを押します。変更した値が確定されて、前の画 面にもどります。
- ※ 閉じるキーを押すと押さえ高さが変更されないで、前 の画面にもどります。
- ※ 変更した値をオート値にもどす場合は、初期化キーを 押して、OK キーを押します。

C模様選択画面 日 針停止キー T	 1 針停止キーの使い方 ・ フリーキルティング模様を選んだ直後、模様選択画 面の1 針停止キーの表示は () になっています。 この状態でミシンをスタートさせるとミシンは自動 的に1 針ぬって停止し、キーの表示が () にか わります。 この表示の状態でミシンを再スタートさせると連続 してぬいます。 ・ 最初から連続してぬいたい場合は、1 針停止キーを 押してキーの表示を () にかえてください。 ※ () キーは、押すごとに 2 つの表示が切りかわり ます。 ・ フリーキルト模様をぬったあと、そのまま同じ模様 を別の場所にぬう場合、ミシンをスタートさせてか
	ら自動的に1 針ぬって停止したいときは、1 針停 止キーを押してキーの表示を

★刺し子風ステッチ

〔模様選択画面/刺し子風ステッチ〕



★手ぬい風キルトぬい

〔模様選択画面/手ぬい風キルトぬい〕



① 模様		(手ぬい風キルト1)
② 押さえF	- - : サテン邦	Potr Contraction



キルティングの用途選択画面の「刺し子風ステッチ」キ ーを押すと、3種類の刺し子風ステッチの模様が選択で きます。

キルティングの用途選択画面の「手ぬい風キルトぬい」 キーを押すと、2種類の手ぬい風キルトぬいの模様が選 択できます。

※ 手ぬい風キルトぬいの模様は、飾りぬい模様グループ のキルトグループの5/5ページにもあります。 飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」(74ページ) をごらんください。

【ぬい方】(模様

手ぬい風キルトぬいの模様は、下糸が上に引きあげられ るので、ステッチが手ぬい風に見えます。

上糸はナイロン糸、下糸は普通の糸を使用してぬいます。 針は14~16番を使用します。

★バリアブル ZZ(可変ジグザグ)

〔模様選択画面/バリアブル ZZ ステッチ〕









キルティングの用途選択画面の「バリアブル ZZ ステッチ」キーを押すと、6 種類の可変ジグザグぬいの模様が 選択できます。



これらの模様はフリーキルティングを行うとき、ニーリ フトを使用して、ひざでぬい目の幅を自由にかえること ができるので両手が使えて便利です。(ぬっているとき、 ニーリフトを右側に押すほどぬい目の幅が大きくなりま す。)





- ※ ミシンが停止しているときにニーリフトを操作すると、 通常の使用方法と同様、押さえのあげさげができます。 ニーリフトの取り付け方および通常の操作方法は、 「◎操作方法/●ニーリフト」(16ページ)をごらん ください。
- ※ 選んだ模様によって使用する押さえが異なります。
 正しい押さえを使用してください。
 PD-H:フリーキルト押さえの取り付け方は、「◎操作方法/● PD-H:フリーキルト押さえの取り付け方」
 (22ページ)をごらんください。
 QV:透明キルト押さえの取り付け方は、(123ページ)をごらんください。
- ※ ぬい方や 1 針停止キーの使い方は、「★フリーキルティング」(122~125ページ)と同じです。
- ※ ニーリフトの移動量に対する針の振る量(ぬい目の幅)をかえることができます。「◎ミシンの設定/
 【通常ぬい設定】/⑦バリアブル ZZ(可変ジグザグ)感度調整」(204 ページ)をごらんください。

●用途選択の画面

(オプション押さえ使用)



オプション押さえ使用キーを押すと、6 種類のオプション押さえで使用できる、模様選択画面になります。

① ビーズ付け

ŤΤ

「ビーズつけ」キーを押すと、ビーズ付けの模様選択画面 になります。ビーズ付けは、2種類の模様があります。 (129ページ参照)

② リボン付け

「リボンつけ」キーを押すと、リボン付けの模様選択画面 になります。リボン付けは、6 種類の模様があります。 (130 ページ参照)

③パイピング

「パイピング」キーを押すと、パイピングの模様選択画面 になります。パイピングは、2種類の模様があります。 (131ページ参照)

④ コード付け

「コードつけ」キーを押すと、コード付けの模様選択画面 になります。コード付けは、4 種類の模様があります。 (132 ページ参照)

⑤ ピンタック

「ピンタック」キーを押すと、ピンタックの模様選択画面 になります。ピンタックは、2種類の模様があります。 (133ページ参照)

⑥ フリーモーションカウチング

「フリーモーションカウチング」キーを押すと、フリーモ ーションカウチングの模様選択画面になります。フリー モーションカウチングは、2種類の模様があります。 (134ページ参照)



〔用途選択画面/ビーズ付け〕



用途選択画面の「ビーズつけ」キーを押すと、2 種類の ビーズ付けの模様が選択できます。

ビーズ付けは、ブライダルウェアやドレス、カジュアル ウェア、クラフト小物に使用します。



細幅用は、ビーズ、パールの大きさは 2mm 以下のものをご使用ください。

広幅用は、ビーズ、パールの大きさは 2.5 ~ 4mm のものをご使用ください。

※ 広幅用押さえは、L2:ビーズ押さえを使用します。







ビーズまたはパールを押さえの溝の下に入れます。 ぬい目の幅とあらさをビーズまたはパールの大きさに合 わせます。 布をガイドして、ビーズ、パールの上をぬいます。





〔用途選択画面/リボン付け〕



用途選択画面の「リボンつけ」キーを押すと、4 種類の リボン幅に合ったジグザグぬい模様選択と直線ぬい、か ざりもようの模様選択ができます。

※ リボン付け押さえは、10mm までのリボン幅をガイ ドしながらぬうことができます。





〔用途選択画面/パイピング〕



用途選択画面の「パイピング」キーを押すと、パイピン グコードを本体にぬいつける模様とパイピングコードを 作る模様が選択できます。

※ お好みの布でオリジナルのパイピングコードを作った り、既製品やオリジナルのパイピングコードをぬいつ けることができます。 バックやクッションのふちにアクセントをつけること ができます。

【パイピングコードの本体へのぬいつけ方】

- 中表に合わせた2枚の布のあいだにパイピングコードを置いた状態で、押さえの下に持っていきます。
 布とコードの端を合わせます。
- 押さえの左側のみぞにコードを合わせます。
- ③ 図のように左側のみぞにコードを案内して、その上からぬいます。
 針はひもの右側に落ちます。

〔用途選択画面/パイピングコードを作る〕





【パイピングコードの作り方】

- バイアス方向にカットしたテープを2つ折りし、芯になるひもをはさみます。
- ② 図のように押さえの右側のみぞに、布ではさんだひも を合わせます。
- ③ 右側のみぞに案内させてぬいます。針はひもの左側に落ちます。









用途選択画面の「コードつけ」キーを押すと、4 種類の コード付けに合った模様選択ができます。

コードや糸をかえることで様々なコーディングをぬうこ とができます。



【ぬい方】(模様

コードを押さえのばねの下にくぐらせ、みぞに通します。 コードを押さえの下にくぐらせ、押さえのみぞに入れます。 コードを平行にそろえて、ぬい目がコードにまたがるよ うにぬいます。







✓ 〔用途選択画面/ピンタック〕



●フリーモーションカウチング

〔用途選択画面/フリーモーションカウチング〕



用途選択画面の「フリーモーションカウチング」キーを 押すと、2種類のフリーモーションの模様が選択できます。

フリーモーションカウチング押さえを使用し、毛糸や飾 り糸などをデザインに合わせ、ぬいつけていきます。 フリーモーションカウチング押さえは2種類あります。





糸こまネット

【フリーモーションカウチング押さえの取り付 け方】

- ① 押さえ止めねじを外します。
- ② 図のようにフリーモーションカウチング押さえをフリ ーモーションカウチング押さえホルダーに差し込みま す。
- ③ 押さえ止めねじをしめます。

【フリーモーションカウチング押さえホルダー の取り付け方】

フリーモーションカウチング押さえホルダーの取り付け は、「◎操作方法/ PD-H:フリーモーション押さえの取 り付け方」(22ページ)をごらんください。

【糸外れ防止】

糸外れや糸のよじれ等がある場合には、付属の糸こまネ ットの使用をおすすめします。

```
〔用途選択画面/フリーモーションカウチング〕
```



<u> î</u>注意

針を交換するときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。 けがの原因になります。

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うと、きれいな飾りぬいができます。

- 2本針ぬいは、実用ぬいグループおよび飾りぬいの模様グループができます。
 (模様によってはできない模様があります。)
 ボタンホールグループ、飾りぬい模様の模様組み合わせモード、文字ぬいおよび用途選択の模様はできません。
- 2本針ぬいは、付属の2本針をご使用ください。
 2本針の交換方法は、「◎操作方法/●針の取りかえ方」(24ページ)をごらんください。
- ぬい終わりの上糸と下糸はミシンの面板に付いている糸切りで切ってください。
 (糸切りボタンを使用しないでください。)
 面板の糸切りの使い方は、「◎ぬう前の準備/●直線(直線状模様)ぬい/★直線ぬい(中針位置)/
 〔面板の糸切りの使い方〕欄」(44 ページ)をごらんください。
- 2本針ぬいは、試しぬいをして確認してください。



【上糸のかけ方】

- ※ 2本針ぬいを行うときは、補助糸立て棒を使います。
 補助糸立て棒の取り付け方法は、「◎ぬう前の準備/
 ●下糸の準備/★補助糸立て棒の使い方」(27 ページ)をごらんください。
- ※ 糸は、60 番および 60 番より細い糸を使用してくだ さい。

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように①~⑦の手順で正しくかけてください。

- ①~④
 糸のかけ方は、針が1本のときの通常の上糸かけの
 手順①~④と同じです。
 「◎操作方法/●上糸の準備/★上糸かけ」(31ページ)をごらんください。
- ⑤ 1本の糸はアーム糸案内に右からかけます。もう1本の糸はアーム糸案内の穴に通します。
- ⑥ 1本の糸は針棒糸かけに左からかけます。
 もう1本の糸は針棒糸かけにはかけません。
- ⑦2本針に左右に分けて糸を通します。
- ※ 2本針は糸通しが使えません。針穴に糸を通すときは、 手で針の手前から向こう側に通してください。



【ぬい方】

(飾りぬい模様/飾り模様 2 グループ、模様 🗜 の例)

 ① 模様選択画面の2本針ぬい切りかえキーを押して2 本針ぬい設定にします。



: 1本針ぬい設定状態

:2本針ぬい設定状態

- ※ ぬい目の幅が最大 3.0mm に制限されます。
 直線状模様の場合は、針位置が 3.0 ~ 6.0 の範囲に
 制限されます。
 2本針ぬいを行うときは、安全のために、必ず 2本
 針ぬい切りかえキーを押して 2本針ぬい設定状態に
 してください。
- ※ 2本針ぬい設定状態にすると、2本針ぬいに適さない 模様の模様選択キーの色がグレーにかわり、キーを押 しても受け付けられないようになります。 1本針ぬい設定状態で2本針ぬいに適さない模様が 選ばれているときは、2本針ぬい切りかえキーの色が グレーになっていて、押しても受け付けられないよう になっています。(左図、画面【A】参照) 2本針ぬいに設定する場合は、2本針ぬいに適した模 様を選んでキーの色をかえてから2本針ぬい設定状 態にしてください。
- ② ぬう模様に適した押さえに交換します。
- ※ 2本針ぬいに使用する押さえは、A:基本押さえまた はF:サテン押さえです。 画面の押さえ表示にしたがった押さえを使用してくだ さい。
- ③ 上糸を、A:基本押さえを使用している場合は押さえの下から向こう側に、F:サテン押さえを使用している場合は押さえの下から横に引き出し、押さえ上げをさげてぬい始めます。
- ※ ぬい方向をかえるときは、針をあげてから布の方向を かえてください。
- ④ 2本針ぬいが終了したら通常の針に交換します。
- ※ 2本針を取り付けた状態で通常のぬいを行うと、針が 押さえや針板にあたる場合があります。
- ※ 2本針ぬい設定状態は、もう一度2本針ぬい切りか えキーを押すか、電源スイッチを一度切り、再度電源 スイッチを入れると解除されます。 2本針ぬい切りかえキーを押した場合は、針交換確認 のメッセージ画面が表示されます。OK キーを押すと メッセージ画面が消えます。

◎刺しゅう

●刺しゅうの準備

★刺しゅうユニットの取り付け方



コネクタ



刺しゅう枠が自由に動けるくらいの十分なスペースを 確保してください。 左図で示されたはんいには物を置かないでください。 故障やけがの原因になります。

- ① 電源スイッチを切ります。
- ② 刺しゅうユニット取り付け部カバーを外します。
- ※ フリーアーム刺しゅう枠を使うとき以外は、補助テー ブルをミシンに付けてください。

- ③ 刺しゅうユニットを両手で持ち、ミシン本体の合マークに刺しゅうユニットの合マークを合わせます。
- ④ 合マークを合わせた状態で、刺しゅうユニットを矢印方向にスライドさせ、ミシン本体に取り付けます。
- ※ ミシン本体コネクタにしっかり入るまで刺しゅう ユニットをスライドさせてください。



 キャリッジレバーを押しさげて、キャリッジアーム を開きます。

② 手で軽くキャリッジアームが止まるところまで矢印 方向にロックする位置(最大開放位置)まで開放し ます。

<u> (</u>注意

キャリッジアームを開いたときは、キャリッジアー ムを押さないでください。 キャリッジやキャリッジアームを手で無理に動かさ ないでください。 キャリッジやキャリッジアームが動いているとき、 手で止めないでください。 ミシンを傷つけたり故障の原因となります。



電源スイッチが入っているとき、切っているときにか かわらず、キャリッジを手で動かさないでください。 故障の原因となります。 キャリッジアームを開放するときは、キャリッジが ホームポジションにあることを確認してください。





Ģ

ホームポジション

0 0

0

★刺しゅうユニットの取り外し方





<u> 注</u>意

ミシンをしまうとき、または持ち運びするときには 刺しゅうユニットを必ず取り外してください。 故障やけがの原因になります。

- 刺しゅう枠を取り外し、通常ぬいモード/刺しゅう ぬいモード切りかえキーを押し通常ぬいモードにし ます。
- ※ 針がさがっているときは、上下停針ボタンを押して、 針をあげてください。
- 2 キャリッジレバーを押しさげて、キャリッジアーム を刺しゅうユニットに格納します。

<u> 注</u>意

キャリッジをホームポジションにもどすときは、刺 しゅうユニットと本体の間に指をはさまないように 注意してください。けがの原因になります。

⚠ 注意

電源スイッチが入っているとき、切っているときに かかわらず、キャリッジを手で動かさないでくださ い。故障の原因になります。 キャリッジアームを格納したとき、キャリッジがホー ムポジションにあるか確認してください。キャリッ ジがホームポジションにないと故障の原因になりま

す。

- ③ 電源スイッチを切ります。
- ④ 刺しゅうユニット取り外しレバーを押します。
- ⑤ 刺しゅうユニットを左にスライドして取り外します。
- ⑥ 刺しゅうユニット取り付け部カバーを取り付けます。

【刺しゅうユニットケースへの収納〕

- 刺しゅうユニットケースをあけ、補強板を図のよう に開きます。
- 図のように仕切り板を刺しゅうユニットケースの端 に固定します。
- ③ 刺しゅうユニットを図のように入れます。

 \bigcirc









押さえを交換するときは、必ずロックキーによりミ シンをロック状態にしてください。けがの原因にな ります。

① 電源スイッチを入れ、ロックキーを押します。

 ② 押さえホルダー止めねじをゆるめ、押さえホルダー を外します。「◎操作方法/●押さえホルダーの外し かた、付け方」(20ページ)をごらんください。

③ 刺しゅう押さえ (P) を押さえ棒に取り付け、押さえ ホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。

★針の交換

針は、ブルー針に取りかえます。 「◎操作方法/●針の取りかえ方」(24 ページ)をごら んください。

★針板の交換

針板は直線ぬい用針板を使用します。 「◎操作方法/●針板の外し方、付け方」(23 ページ) をごらんください。



糸はミシン刺しゅう糸をご使用ください。 また、使用する糸の選択を必ず行ってください。 「◎ミシンの設定/【刺しゅうぬい設定】⑪糸選択」(211 ページ)をごらんください。

- ※ 糸選択を行わないと、使用する糸に合った糸調子が 設定されないので、ぬい不良の原因になります。
- ※ 刺しゅうの下糸は、JANOME ポリエステル# 90 をご使用ください。

★芯地



刺しゅう部分の布の裏側に芯地を貼るときれいに仕上が ります。

薄い布や化繊布、または、ジャージーのような伸縮性の ある布の場合は、必ず芯地を貼ります。

しっかりした厚い布地は芯地を貼らずにそのままぬえます。 芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプが あります。接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけ られない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうする ときに使用してください。

※ アイロンの温度は、中温にします。

【接着するタイプの芯地】

布の刺しゅうしない裏と、芯地の光沢のある糊付きを向 かい合わせにしておき、角を折ってアイロンがけします。

※ 芯地の角を折っておくと、刺しゅうが終わったあと に、芯地をはがしやすくなります。
★刺しゅう枠とテンプレート

【1】SQ14 枠(標準刺しゅう枠)





刺しゅうはんいは、横 14cmX 縦 14cm です。 標準的な刺しゅうに使用します。

【テンプレート】

ます目のはんいが刺しゅうできるはんいを示しています。

- (1) 内蔵模様のぬいスタート位置 文字ぬい(横書き)センターボトムのぬいスタート位置 文字ぬい(縦書き)センターミドルのぬいスタート位置
- (2) 文字ぬい(横書き)トップボトムのぬいスタート位置 文字ぬい(縦書き)トップミドルのぬいスタート位置
- (3) 文字ぬい(横書き)エンドボトムのぬいスタート位置 文字ぬい(縦書き)エンドミドルのぬいスタート位置
- ※ 文字ぬいスタート位置の詳細は、「●ぬい方/★文字 の組み合わせ」(168ページ)をごらんください。

【2】 SQ23 枠(マグネットクリップ付き中型刺しゅう枠)とテンプレート



刺しゅうはんいは、横 23cmX 縦 23cm です。 中型模様に使用します。 ※ テンプレートの使い方は、SQ14 枠と同じです。

【3】GR 枠(マグネットクリップ付き大型刺しゅう枠)とテンプレート



刺しゅうはんいは、横 23cmX 縦 30cm です。 大型模様に使用します。 ※ テンプレートの使い方は、SQ14 枠と同じです。

【4】FA10枠(小型刺しゅう枠)とテンプレート



刺しゅうはんいは、横 10cmX 縦 4cm です。 小型模様に使用します。 ※ テンプレートの使い方は、SQ14 枠と同じです。

★刺しゅう枠に布を張るとき



- 様様のぬい位置を決めるために、布に十字マークを 付けます。 布の大きさは、刺しゅう枠より大きいものを用意し てください。
- ② 布の上に内枠を置き、その中にテンプレートを入れ て、テンプレートの基準線と布の十字マークを合わ せます。
- ③ 外枠の調節ねじをゆるめます。
- ④ 布の十字マークとテンプレートの基準線がズレない ように外枠にセットします。
- ※ 内枠を外枠にセットする場合は、内枠と外枠の三角 マークを合わせるようにします。
- ⑤ 調節ねじをしめて、布を張ります。
- ⑥ 布をピンと張るために調節ねじをしめた状態で一度 内枠を外し、テンプレートの基準線と布の十字マー クを合わせながらセットし直します。
- テンプレート取り出し穴に指を入れ、テンプレート を外します。
- ⑧ SQ23 枠か GR 枠を使うときは、刺しゅう布保 持用クリップを 4 カ所セットします。
- ※ キルトなどの厚い布に刺しゅうする場合には、刺しゅう枠が右側に移動したとき、ミシンと刺しゅう枠のすきまがなく刺しゅう枠の動きを妨げていないか確認してください。
- ※ ぬい終わったら、矢印方向に刺しゅう布保持用マグ ネットクリップを外し、調節ねじをゆるめて布を外 します。

<u> (</u>注意

布や芯地が厚くなっている所をぬうと、目飛びになっ たり、糸が切れたり、針が折れる危険があります。 3mm より厚くなっている所はぬわないでください。



刺しゅうモード 切りかえキー

- キャリッジアームを開きます。
 電源スイッチを入れます。
 通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキーを押して、刺しゅうモードにします。
 - ④ 注意メッセージが表示されます。
 内容に従ったのち、OK キーを押します。
 キャリッジがスタートポジションに移動し、送り歯が自動的にさがります。

※ 刺しゅう枠を取り付けるときは、模様を選び、ぬい

スタート位置で刺しゅう枠を取り付けます。

- ※ 閉じるキーを押すと、前の画面にもどります。
- ※ 下記確認画面が表示された場合は、OK キーや閉じるキーを押さないで、キャリッジアームを開いてください。



- つまみを縦に向け、刺しゅう枠の凹部をキャリッジの凸部に合わせて差し込みます。
- ⑥ つまみを右方向にまわして、刺しゅう枠を固定します。
- ※ 刺しゅう枠の取り付け、取り外しはセンター位置で 行います。



★ぬい始めの糸かけ



上糸の端をぬいこまないように、上糸を糸切り / 糸押さ えにかけてください。

刺しゅう押さえの穴に通し、上糸の端を糸切り / 糸押さ えに手前から向こう側へ 2 ~ 3cm 出してかけます。

●ぬい方

★内蔵模様の選択方法(模様)

〔刺しゅうモード初期画面〕



カテゴリー



刺しゅう枠選択

通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキーを押し、 刺しゅうモードにします。 刺しゅうモード初期画面になります。

〔模様キー〕

模様キーを押すと、ミシンに内蔵されているワールド模 様の選択画面になります。

〔カテゴリーキー〕

その他のグループの模様を選ぶときは、カテゴリーキー



刺しゅう模様のグループは、22 個のグループがあり、6 つのページ(画面)に分かれています。 ページキーで選択できます。

〔刺しゅう枠選択キー〕

刺しゅう枠選択キー
を押すと、刺しゅう枠サイズ
に使用できる刺しゅう模様が選択できます。



① ワールドグループ

ワールドキーを押すと、世界から取り寄せた刺しゅう模 様を選ぶ選択画面になります。

ワールドグループは、5 つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1・2ページ目、SQ23 枠使用模様が3・4ページ目、GR 枠使用模様が5ページ目です。

② デザインセレクショングループ

デザインセレクションキーを押すと、一般的な刺しゅう 模様を選ぶ選択画面になります。

デザインセレクショングループは、5 つのページに分か れていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、SQ23 枠使用模様が2ページ目、GR 枠使用模様が3・4ページ目、FA10 枠使用模様が5ページ目です。

③ ホリデーデザイングループ

ホリデーデザインキーを押すと、手書き風の刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

ホリデーデザイングループは、4 つのページに分かれて いて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1・2ページ目、SQ23 枠使用模様が3ページ目、FA10 枠使用模様が4ページ目です。

④ Noriko Nozawa コレクショングループ

Noriko Nozawa コレクションキーを押すと、野沢典子 さんがデザインした刺しゅう模様を選ぶ選択画面になり ます。

Noriko Nozawa コレクショングループは、GR 枠使用 模様が 1 ページあります。

⑤ がなはコレクション フラワーグループ

がなはコレクション フラワーキーを押すと、がなはよう こさんのフラワーデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画 面になります。 がなはコレクション フラワーグループは、2 つのページ に分かれていて、ページキーで選択できます。 SQ14 枠使用模様が 1 ページ目、FA10 枠使用模様が 2 ページ目です。

⑥ がなはコレクション キッチングループ

がなはコレクション キッチンキーを押すと、がなはよう こさんのキッチンデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画 面になります。

がなはコレクション キッチングループは、SQ14 枠使 用模様が 1 ページあります。







⑦ がなはコレクション キッズグループ

がなはコレクション キッズキーを押すと、がなはようこ さんのキッズデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面に なります。

がなはコレクション フラワーグループは、2 つのページ に分かれていて、ページキーで選択できます。 SQ14 枠使用模様が 1 ページ目、FA10 枠使用模様が

⑧ がなはコレクション スイーツグループ

2ページ目です。

がなはコレクション スイーツキーを押すと、がなはよう こさんのスイーツデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画 面になります。 がなはコレクション スイーツグループは、SQ14 枠使 用模様が 1 ページあります。

⑨ がなはコレクション ソーインググループ

がなはコレクション ソーイングキーを押すと、がなはよ うこさんのソーイングデザインの刺しゅう模様を選ぶ選 択画面になります。 がなはコレクション ソーインググループは、SQ14 枠 使用模様が 1 ページあります。

⑩ がなはコレクション その他グループ

がなはコレクション その他キーを押すと、がなはようこ さんのその他のデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面 になります。 がなはコレクション その他グループは、2つのページに 分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が 1 ページ目、FA10 枠使用模様が 2 ページ目です。

① がなはコレクション レッドワークグループ

がなはコレクション レッドワークキーを押すと、がなは ようこさんのレッドワークデザインの刺しゅう模様を選 ぶ選択画面になります。 がなはコレクション レッドワークグループは、3つの ページに分かれていて、ページキーで選択できます。 SQ14枠使用模様が1ページ目、GR枠使用模様が2ペー ジ目、FA10枠使用模様が3ページ目です。

12 アートデザイングループ

アートデザインキーを押すと、幾何学的な刺しゅう模様 を選ぶ選択画面になります。

アートデザイングループは、2 つのページに分かれてい て、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、SQ23 枠使用模様が2ページ目です。



13 刺し子デザイングループ

刺し子デザインキーを押すと、刺し子デザインの刺しゅ う模様を選ぶ選択画面になります。 刺し子デザイングループは、3つのページに分かれてい て、ページキーで選択できます。 SQ14枠使用模様が1ページ目、GR枠使用模様が2ペー ジ目、FA10枠使用模様が3ページ目です。

(1) キルティンググループ

キルティングキーを押すと、キルトデザインの刺しゅう 模様を選ぶ選択画面になります。 キルティンググループは、2 つのページに分かれていて、 ページキーで選択できます。 SQ14 枠使用模様が 1 ページ目、SQ23 枠使用模様が 2 ページ目です。

15 クロスステッチグループ

クロスステッチキーを押すと、クロスステッチデザイン の刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。 クロスステッチグループは、2 つのページに分かれてい て、ページキーで選択できます。 SQ14 枠使用模様が 1 ページ目、FA10 枠使用模様が 2 ページ目です。

1 アップリケデザイングループ

アップリケデザインキーを押すと、アップリケ模様を作 る刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。 アップリケグループは、SQ14 枠使用模様が 1 ページ あります。

① カーリーアルファベットデザイングループ

カーリーアルファベットデザインキーを押すと、カーリー 体のアルファベットの刺しゅう模様を選ぶ選択画面にな ります。

カーリーアルファベットグループは、2 つのページに分 かれていて、ページキーで選択できます。 SQ23 枠使用模様が 1・2 ページにあります。

18 モチーフアルファベットデザイングループ

モチーフアルファベットデザインキーを押すと、モチー フ模様が入ったアルファベットデザインの刺しゅう模様 を選ぶ選択画面になります。 モチーフアルファベットグループは、2つのページに分 かれていて、ページキーで選択できます。 SQ14 枠使用模様が 1・2ページにあります。







19 フリンジグループ

フリンジキーを押すと、フリンジ飾りを作るデザインの 刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。 フリンジグループは、2 つのページに分かれていて、ペー ジキーで選択できます。 SQ14 枠使用模様が 1 ページ目、FA10 枠使用模様が 2 ページ目です。

20 カウチングデザイングループ

カウチングデザインキーを押すと、毛糸を布に飾り付け る刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。 カウチングデザイングループは、2つのページに分かれ ていて、ページキーで選択できます。 SQ14 枠使用模様が 1 ページ目、SQ23 枠使用模様が 2ページ目です。

② フラッグデザイングループ

フラッグデザインキーを押すと、フラッグ・ガーランド の刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。 フラッグデザイングループは、3 つのページに分かれて いて、ページキーで選択できます。 SQ14 枠使用模様が 1 ページ目、SQ23 枠使用模様が 2 ページ目、GR 枠使用模様が 3 ページ目です。

22 クロスセッター模様グループ

クロスセッター模様キーを押すと、クロスセッターに使 用する基準線を作る模様の選択画面になります。

刺しゅう模様のグループを選択すると模様選択画面にか わります。 ページキーで模様のページをかえて、お好みの模様を選 択してください。







〔文字キー〕

文字キーを押すと、ミシンに内蔵されている刺しゅうゴ シック体文字(模様)グループの選択画面になります。 ページキーを押すと数字、記号、ヨーロッパ文字に切り かえることができます。

その他の書体を選ぶときは、書体キーを押します。

刺しゅう文字のグループは、17個のグループがあり、3 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択 できます。

① 明朝体グループ

明朝体キーを押すと、明朝体(ひらがな / スペース模様 2個含む、濁点、半濁点、漢字)の模様選択画面になり ます。

明朝体グループは、7 つのページ (画面) に分かれていて、 ページキーで選択できます。

② まるもじグループ

まるもじキーを押すと、丸文字(ひらがな / スペース模様2個含む、濁点、半濁点)の模様選択画面になります。 丸文字グループは、3 つのページ(画面)に分かれていて、 ページキーで選択できます。

③ ゴシック体グループ

ゴシックキーを押すと、ゴシック体(英字、数字、記号、 ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個)の模様選択 画面になります。

ゴシック体グループは、5つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

④ スクリプト体グループ

スクリプトキーを押すと、スクリプト体(英字、数字、記号、 ヨーロッパ文字、およびスペース模様2個)の模様選択 画面になります。

スクリプト体グループは、5 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑤ チェルトナム体グループ

チェルトナムキーを押すと、チェルトナム体(英字、数字、 記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様2個)の模 様選択画面になります。

チェルトナム体グループは、5 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑥ バウハウス体グループ

バウハウスキーを押すと、バウハウス体(英字、数字、記号、 ヨーロッパ文字、およびスペース模様2個)の模様選択 画面になります。

バウハウス体グループは、5つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。



⑦ ギャラン体グループ

ギャランキーを押すと、ギャラン体(英字、数字、記号、 ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個)の模様選択 画面になります。

ギャラン体グループは、5 つのページ(画面)に分かれ ていて、ページキーで選択できます。

⑧ タイピスト体グループ

タイピストキーを押すと、タイピスト体(英字、数字、記号、 ヨーロッパ文字、およびスペース模様2個)の模様選択 画面になります。

タイピスト体グループは、5 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑨ ブラシ体グループ

ブラシキーを押すと、ブラシ体(英字、数字、記号、ヨー ロッパ文字、およびスペース模様2個)の模様選択画面 になります。

ブラシ体グループは、5 つのページ(画面)に分かれて いて、ページキーで選択できます。

⑩ ファーストグレード体グループ

ファーストグレードキーを押すと、ファーストグレード 体(英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペー ス模様 2 個)の模様選択画面になります。

ファーストグレード体グループは、5つのページ(画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

① ホローブロック体グループ

ホローブロックキーを押すと、ホローブロック体(英字、 数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様2個) の模様選択画面になります。 ホローブロック体グループは、5つのページ(画面)に 分かれていて、ページキーで選択できます。

12 ジュピター体グループ

ジュピターキーを押すと、ジュピター体(英字、数字、記号、 ヨーロッパ文字、およびスペース模様2個)の模様選択 画面になります。

ジュピター体グループは、5 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。



③ 2- レターグループ
 2- レターキーを押すと、2- レター(英字、枠)の模様
 選択画面になります。

(4) 3- レターグループ

3- レターキーを押すと、3- レター(英字、枠)の模様 選択画面になります。

① ボーダー 1 グループ

ボーダー 1 キーを押すと、ボーダー 1(ボーダー模様) の模様選択画面になります。 ボーダー 1 は、2 つのページ (画面) に分かれていて、ペー ジキーで選択できます。

(16) ボーダー 2 グループ

ボーダー2キーを押すと、ボーダー2(ボーダー模様) の模様選択画面になります。

ボーダー2は、4つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

① マイクロゴシック体グループ

マイクロゴシックキーを押すと、マイクロゴシック体(英字、数字、記号、およびスペース模様2個)の模様選択 画面になります。

マイクロゴシック体グループは、3 つのページ(画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。 マイクロゴシックの文字の高さは約 5mm です。

★刺しゅう実行画面





【例】ワールド#6(1/5ページ)

模様#6を選ぶと、刺しゅう実行画面が表示されます。

【刺しゅう実行画面の説明】

- ① 模様表示切りかえキー
- ② 糸色確認キー
- ③ 刺しゅうはんい確認キー
- ④ 調節キー
- ⑤ キャリッジ移動キー
- ⑥ 押さえ変更キー
- ⑦ 針数
- ⑧ 針ジャンプキー
- ⑨ ジョグキー
- 11) 十字キー
- ① レイヤー移動キー









【設定キー】

① 模様表示切りかえキー

模様表示切りかえキーを押すと、色がえごとの模様表示 画面になります。

① レイヤー移動キー

レイヤー移動キーを押して、チェックマークをぬいた い色に移動させることで、その色からぬうことができ ます。

2 糸色確認キー

糸色確認キーを押すと、ぬい順序と使用する糸の糸色、 糸色名が確認できます。

③ 刺しゅうはんい確認キー

刺しゅうはんい確認キーを押すと、ぬいはんい確認画面 が表示されます。

ぬいはんい確認画面から3つの確認ができます。

(1) トレースキー



トレーススタートキーを押して刺しゅうはんい を確認します。







(2) トレース・しつけキー

スタート / ストップボタンを押すと、しつけをしながら 刺しゅうはんいを確認します。

- ※ しつけをする前に、下糸を針板の上に引き出してお きます。
- ※ しつけは、刺しゅうはんい外側 5mm(ぬいしろ) をしつけぬいします。ただし、刺しゅうはんい が刺しゅう可能はんい最大値を超えたときは、ぬいし ろは入りません。

(3) トレース・二重しつけキー

スタート / ストップボタンを押すと、内側と外側のしつ けをしながら刺しゅうはんいを確認します。

- ※ しつけをする前に下糸を針板の上に引き出しておきま す。
- ※ 外側のしつけは、刺しゅうはんい外側 5mm (ぬいし ろ)をしつけぬいします。ただし、刺しゅうはんい が刺しゅう可能はんい最大値を超えたときは、ぬいし ろは入りません。

3. 調節キー

調節キーを押すと、調節画面が表示されます。 糸調子、渡り糸の糸切り時の残糸の長さ、押さえ高さの 調節ができます。

(1) 糸調子の調節

「+」、「-」キーで糸調子を調節します。

糸調子を変更したあと OK キーを押します。

取り消すときは閉じるキーを押します。

- ※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は何も受け付けら れず、もとの画面にもどります。
- ※ オート値(電源を入れたときに自動的に設定されている値)にもどすときは、初期化キー「DFT」を押します。

(2) 渡り糸の糸切り時の残糸の長さ調節

セットキーにより、刺しゅうぬい設定の「トリミングモー ド」で「ON」または「カスタマイズキー」を選択し、 渡り糸の糸切り長さ(渡り糸の間かくが何mm以上の場 合に行うかの数値)を「OFF」以外の値に設定している ときのみ有効です。

「+」、「−」キーで残糸の長さが調節できます。 調節は「1」「2」「3」で調節します。 残糸の長さを調節変更したあと OK キーを押します。

- ※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は何も受け付けら れず、もとの画面にもどります。
- ※ オート値(電源を入れたときに自動的に設定されてい る値)にもどすときは、初期化キー「DFT」を押します。
- ※「◎ミシンの設定/【刺しゅうぬい設定】⑩トリミン グモード」(210ページ)をごらんください。



- (3) 押さえ高さの調節
- 「+」、「-」キーで押さえ高さを調節します。

押さえ高さを変更したあと OK キーを押します。

- 取り消すときは閉じるキーを押します。
- うす地のオート値キーとキルティングのオート値キーは、
- それぞれの一般的な値にするキーです。
 - ※ 押さえを PC 1 または PC 2 に変更したとき は表示されません
- ※ 刺しゅうモードで押さえが下がっているときは、調整 した値に応じて押さえの高さが変わります。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は何も受け付けら れず、もとの画面にもどります。
- ※ オート値(電源を入れたときに自動的に設定されている値)にもどすときは、初期化キー「DFT」を押します。

 $(\overline{5})$



〔押さえ変更画面〕

F

〔キャリッジ移動画面〕

⑤ キャリッジ移動キー

キャリッジ移動キーを押すと、キャリッジ移動画面が表 示されます。

針があがっていることを確認します。

てください。



押さえの高さ 最高ぬい速度

6 押さえ変更キー

使用する押さえの種類の選択ができます。

※ PC-1 と PC-2 は毛糸を使ったぬいをするときに使用 します。詳しくは「◎刺しゅう/●カウチングデザイ ンのぬい方」(186 ページ)をごらんください。

押さえの高さと最高ぬい速度の初期値も確認できます。

- ※ 刺しゅうをぬっているあいだのぬい速度は、ぬい目に よって変化します。
- ※ 最高ぬい速度の値は、スピードコントロールつまみの 位置がいちばん右側の最高速になっている場合です。 ぬい速度を遅くする場合は、スピードコントロールつ まみで調節できます。
- ※ ぬい速度を遅くした方が、刺しゅうはきれいに仕上 がります。
- ※ 押さえの高さと最高ぬい速度の初期値を設定する方法 は、「◎ミシンの設定/【刺しゅうぬい設定】⑤最高 ぬい速度、⑥刺しゅう押さえ高さ」(208 ページ)を ごらんください。



⑦ 針数

ぬい始めると、1 針目からの針数が表示されます。 針前進キー「+」と針後進キー「-」で針数を前進させたり、 後進させたりすることができます。

- ・前進させるときは、「+」キーを押します。
- ·後進させるときは、「-」キーを押します。

※「+」、「-」キーを長押しすると、1 針から 10 針、 100 針、500 針と前進、または後進させます。

青いバーはぬいの進行具合を表示しています。 ぬい始めは短く、ぬいが進むにつれて長くなっていきま す。ぬい終わると青いバーは消えて、針数も0に戻ります。



針ジャンプキーを押すと、テンキーが表示されます。 移動したい針数の数字を入力してください。 数字入力をまちがえたときは、クリアーキーを押して数 字を消去してください。クリアキーを押すと数字は「O」 になります。閉じるキーを押すと針数の入力をやめて、 前の画面に戻ります。

OK キーを押すと、入力した針数の位置に枠が移動しま す。



⑨ ジョグキー

ジョグキーで刺しゅう位置(布の基準線中央に針がくる) の調整ができます。ジョグキーの矢印方向へ枠が移動し ます。

10 十字キー

+字キーを押すと現在ぬう位置を十字マークで示します。 +字マークを消すときには、もう一度十字キーを押して ください。



【例】ワールド#6(1/5ページ)

① 模様を選びます。

 ② 布の十字マーク中央と針の位置がずれている場合は、 ジョグキーで十字マークの中央に針の位置がくるように調整します。

- ③ スタート / ストップボタンを押します。
 5~6 針ぬったところでスタート / ストップボタン を押して、ミシンを止めます。
- ④ ぬい始めの余分な糸をぬい目のきわから切ります。
- ⑤ スタート / ストップボタンを押します。
 色がえのためミシンが停止したら、糸をかえて再び
 スタート/ストップボタンを押します。

【ぬいあがり】

6 の模様は、布の基準線に対して、図のようにぬいあがります。

※ 自動糸切り設定は「◎ミシンの設定/【刺しゅうぬい 設定】⑩トリミングモード」(210ページ)をごらん ください。

【ぬい終わりの収納】

ぬい終わったら、刺しゅう枠を外します。 通常ぬいモード / 刺しゅうぬいモードキーを押し、キャ リッジがホームポジションにもどったら、キャリッジアー ムを閉じます。

(1)





2345





(1)





2345





フリンジ模様をぬい、ぬいあがりの模様を切ることで、 フリンジ飾りを作ります。

【例】フリンジ#2(2/2ページ)

- カテゴリーのフリンジを選択します。 フリンジの 2/2 ページにある模様#2を選びます。
- 通常の刺しゅうぬいと同じようにぬいます。
- ③ ぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外し、刺しゅう枠から布を取り外します。
- ④ 上糸を図の点線にそって切ります。
- ⑤ 上糸を立たせ、フリンジ飾りを作ります。

他のやり方

- カテゴリーのフリンジを選択します。 フリンジの2/2ページにある模様#2を選びます。
- ② 通常の刺しゅうぬいと同じようにぬいます。
- ③ ぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外し、刺しゅう枠から布を取り外します。
- ④ 下糸を左の図の点線にそって切り、下糸を取り除きます。
 - ※下糸の見える幅が細く、切りにくいときは、下の 図で示しているような切りやすい点線部分の下糸 だけを切り、下糸の切り端を引っ張って取り除き ます。



 5 上糸を布の表に引っ張り出し、フリンジ飾りを作り ます。 下糸を切る所

布の裏側にある下糸を下の図の点線にそって切り、下糸を取り除きます。 次に上糸を布の表に引っ張り出し、フリンジ飾りを作ります。

※ 下糸の見える幅が細く、切りにくいときは、切りやすい点線部分の下糸だけを切り、下糸の切り端を引っ張って取り除きます。





フリンジ#3(1/2ページ)



フリンジ#1(2/2ページ)



フリンジ#4(1/2ページ)



フリンジ#2(2/2ページ)



★フリンジ模様(アップリケ)



フリンジ模様の#1と#2(1/2ページ)はアップリケ 模様がぬえる特殊な模様です。

台布にアップリケ用の布をぬい付けると同時に、フリン ジ模様をぬうことができます。

【例】フリンジ#1(1/2ページ)

 台布とアップリケ用の布を用意します。 フリンジ模様の#1(1/2ページ)を選択して、刺しゅう枠に台布を張ります。 刺しゅう枠をミシンにセットして、刺しゅうはんい 確認キーを押します。 ぬいはんい確認画面で、トレース・しつけキーを押 します。ミシンが刺しゅうぬい模様をぬうはんいの 周りをしつけぬいします。

- ② しつけぬいをした大きさに合わせて、アップリケ用の布を準備します。
 アップリケ用の布の裏にのりをうすく付け、台布に貼り付けて、1 色目をぬいます。
- ③ 1 色目がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから 取り外します。(刺しゅう枠から台布を外さないでく ださい。)
 しつけぬいした糸を台布から取ります。
 1 色目のぬい目にそって、アップリケ用の布の余分 な布を切り取ります。
- ④ 刺しゅう枠を再びミシンにセットして、2 色目から ぬっていきます。
 ぬい終わったら、フリンジ飾りを作ります。



(2)

(3)

(5)

アップリケ布

他のやり方

- 刺しゅう枠の大きさより大きいアップリケ用の布と 台布を用意します。
 フリンジ模様の#1(1/2ページ)を選択して、刺しゅ う枠にアップリケ用の布を張り、1 色目をぬいます。
- ② 1 色目がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから 外します。
 刺しゅう枠から、アップリケ用の布を外し、ぬい目 にそって切り取ります。
- ③ レイヤー移動キーを押して、1 色目に戻します。
 台布を刺しゅう枠に張って、ミシンにセットし、台
 布に1 色目をぬいます。

- 1 × ×**

331 / 7, 127 SI +

? --

レイヤー 移動キー

10 d d

 ④ 1 色目がぬい終わった場所に切っておいたアップリ ケ布の裏にのりをうすく付け、台布に貼り付けます。

 ミシンをスタートして、2 色目からぬっていきます。 ぬい終わったら、フリンジ飾りを作ります。

★フリンジ模様(フレーム模様)

 \bigcirc

(4)

キャリッジ移動キー (キャリッジ移動画面)





フリンジ模様の#1と#2(1/2ページ)はフレーム模様としても使うことができます。

【例】フリンジ#1(1/2ページ)

台布とやぶれる芯地、フレームの中に入れる写真や絵を 用意します。

- フリンジ模様の#1(1/2ページ)を選択して、刺しゅう枠に台布を張り、1色目をぬいます。
- ② 1 色目がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから 取り外します。(刺しゅう枠から台布を外さないでく ださい。)

1 色目でぬった台布の内側をぬい目にそって切り 取ってください。

切り取った布よりも大きい芯地を、台布の上に置き ます。

再び刺しゅう枠をミシンにセットして、レイヤー移 動キーを押して1色目に戻します。

置いた芯地の上に1色目をぬい、2色目を続けてぬいます。

- ※1 色目がぬい終わったときに、芯地のあまりをぬい目にそって切り取るときれいに仕上がります。 芯地が切り取りにくいときは、キャリッジ移動キーを押して切りやすい位置まで刺しゅう枠を移動してください。キャリッジ移動画面についての説明は「★刺しゅう実行画面/【設定キー】/⑤キャリッジ移動キー」(158ページ)をごらんください。
- ③ ぬい終わったら、台布を刺しゅう枠から取り外します。

下糸を切ってフリンジ飾りを作り、余分な芯地を取 り除いてください。

④ 写真や絵が開けた穴から見えるようにして重ねます。



★文字刺しゅう選択画面





文字キーを押すと、ミシンに内蔵されている刺しゅうゴ シック体文字(模様)グループの選択画面になります。

【設定キー】

その文字(模様)に設定されているぬい条件をお好みの ぬい条件に変更します。

※ 選ばれている文字や設定状態によっては、キーの色が グレーになっていて使用できないキーがあります。

1) 書体キー

刺しゅう文字のグループは、17個のグループがあり、3 つのページ(画面)に分かれています。 ページキーで選択できます。「●ぬい方/★内蔵模様の選 択方法(文字)|(152ページ)をごらんください。

② 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえることがでます。 ※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

③ 文字サイズ変更キー

文字のサイズを大 (30mm)、中 (20mm)、小 (10mm) に変更できます。

(4) 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえることができます。

※ 明朝体、まるもじは「ひらがな・カタカナ」になります。 模様選択キーの表示も切りかわります。

⑤ 削除キー

カーソルの付いている文字を削除することができます。 文字を組み合わせた状態でカーソルが最後の文字の外側 にある場合は、最後の文字を削除することができます。

6) 保存キー

組み合わせた文字をミシンに保存したり、USB メモリ に保存するときに使います。

使い方は、「◎模様データの保存・呼び出し/●模様デー タの保存 (190ページ)をごらんください。

⑦ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた文字(模様)の中 から変更したい文字(模様)を選ぶことができます。

「●ぬい方/★文字の削除・挿入|(171ページ)をごら んください。

⑧ スペース調整キー

スペースを選んだとき、またはスペースを入力してカー ソルをスペースに合わせたときにスペース調節キーが表 示されます。

スペース調節キーを押すと、調節画面になります。 文字間の間かくが均一でない場合、「+」、「-」キーで調 節します。

- 「+| キーを押すと、間かくが広くなります。
- 「- | キーを押すと、間かくがせまくなります。

間かくを変更したあと OK キーを押します。

取り消すときは閉じるキーを押します。

※ オート値(電源を入れたときに自動的に設定されてい る値)にもどすときは、初期化キー「DFT」を押します。

DFT

X

★文字の組み合わせ





【例】明朝体の横書き文字サイズ中で「たま保 育園」をぬう

- ① 書体キーで明朝体グループを選び、模様選択画面を表 示させ、横書き、文字サイズ中で、文字「た」を選び ます。
- ※ カーソルの位置に文字が挿入されます。
- ② ページキーで 2/7 ページを表示させ、文字「ま」 を選びます。
- ③ ページキーで 4/7 ページを表示させ、文字「保」 を選びます。









ABC

たま保育園

6

0 / 2.238 ST +

Pr 201

? 9

- ④文字「育」を選びます。
- ⑤ 文字「園」を選びます。
- ⑥「OK」キーを押します。



 ミシンをスタートさせると、「たま保育園」をぬった あと自動的にミシンは停止します。

【色がえキー】 色がえキーを押すと、1 文字ぬうごとに、ミシンが停止 します。 糸を交換してぬいます。

【ぬい原点キー】 文字のぬい原点は、横書きと縦書きでそれぞれ3種類の ぬい原点から選択できます。

[1] トップボトム 先頭のぬい原点で下合わせとなります。

[2] センターボトム 中央のぬい原点で下合わせとなります。

[3] エンドボトム 最終のぬい原点で下合わせとなります。

[1] トップミドル 先頭のぬい原点で中合わせとなります。

[2] センターミドル 中央のぬい原点で中合わせとなります。

[3] エンドミドル 最終のぬい原点で中合わせとなります。

※ 英語などの縦書きの場合は、左図のようになります。 横書きは明朝体と同じです。



③ ④

+ A 前 边

Æ

- 1 × × * *

HP.

AA

【例】2-レター「冊」をぬう

 書体キーで 2- レターグループを選び、模様選択画面 を表示させ、枠模様「
 を選びます。

※ 枠模様は文字を選ぶ前に選びます。

- ② 文字「A」を選びます。
- ③ 文字「B」を選びます。
- ※ 文字などの入れかえをするときは、削除キーを押し て、はじめから枠、または文字を選び直します。
- ④ OK キーを押します。

5

(2)

EP.

AA

• A 🖻 🖄

E J O

T

OK

? -

A

W

A 2 X X

B

POR

U





- ⑤ ミシンをスタートさせます。
- ※ ぬいの前に色がえキーを押すと、1 文字ぬうごとに、 ミシンが停止します。 糸を交換してぬいます。
- ※ 3- レターは、2- レターと同じ要領で行います。
- ※ 2- レターと 3- レターのぬい原点(スタート位置) は、中央になります。

★ボーダー1と文字の組み合わせ



(2)

あア漢字

あア

A~Z

1-7

A~Z

A~Z

2 2 2 2 ?

ľ



(3)

AA

Duck

大文字・小文字

切りかえキー

*** * * * *

bcde

📰 🕸 📩 ? 🖬

0

t



- ② 書体キーでゴシック体グループを選び、
 模様選択画面を表示させ、文字「D」(大文字 / サイズ中)を選びます。
- (3) 大文字・小文字切りかえキーを押して、 小文字にし、「u」、「c」、「k」を選びます。

(5) (6) (4)-+ 2 1 0 44 ⊕⊕ Duck 4 1 **® ₽Duck** 50 > 61 * 34 1 ⊕ ∞ ŵ 4~7 0 / 1.541 ST + 15 A ABC ABC OK ■ 🖉 🖈 ? 🗝 2 2 2 2 2 ? A Xtyl ?

ATTAD

1

A 2 A X ?

BCDE

H I J M N O

S T

WXY

3D



色がえキー

- ④ 書体キーでボーダー 1 グループを選び、
 模様選択画面を表示させ、枠模様
 「 ・
 「 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 <
- ⑤「OK」キーを押します。
- ⑥ ミシンをスタートさせます。
- ※ ぬいの前に色がえキーを押すと、1 文字 ぬうごとに、ミシンが停止します。 糸を交換してぬいます。

★文字の削除・挿入





文字を組み合わせたあとでも、組み合わせた文字の一部 を削除したり、文字を追加したりすることができます。

【例】明朝体「りんご」の「ご」を削除し、 「か」を挿入して、「かりん」にする

①「りんご」と入力します。

 ② カーソル移動キーで修正(削除)する文字「ご」を 選びます。 (カーソルの付いた文字は赤色にかわります。)

③ 削除キーを押します。
 「ご」が削除されます。







④ カーソル移動キーで挿入したい次の文字「り」に移 動します。

「か」を選びます。
 「か」が「り」の前に挿入されます。

★アップリケ模様



台布とアップリケ用の布を用意します。

【例】アップリケデザイン#1

- ① アップリケデザインの#1を選びます。
- アップリケ用の布を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をミシンにセットして、1 色目をぬいます。
- ③ 1 色がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンか ら外します。
- ④ 刺しゅう枠からアップリケ用布を外し、ぬい目 にそって切り取ります。
- ⑤ レイヤー移動キーを押して、1 色目にもどしま す。
- ⑥ 台布を刺しゅう枠に張って、ミシンにセットし、 台布に1 色目をぬいます。

- ⑦ 1 色目がぬい終わった場所に切っておいたアッ プリケ布の裏にのりをうすく付け、台布に貼り 付けます。
- ミシンをスタートして、2 色目からぬっていき ます。



編集モードキー

(2)

●編集刺しゅう

〔刺しゅう枠選択画面〕



刺しゅう模様を組み合わせたり、ぬい位置を移動したり、 大きさや向きをかえたり、自由に編集することができます。

- - ※ 枠選択キーを押すと、刺しゅう枠の変更ができ ます。

初期の状態(購入時の設定状態)は、刺しゅう枠 (SQ23)が表示されます。

※ 刺しゅう枠(ASQ22、HH10、RE18)はオ プションにて対応予定です。

- ② 編集画面では内蔵模様、文字、USBメモリに保存した刺しゅう模様を開くことができます。
 - ※ 内蔵模様、文字を選ぶ場合はホームキーを押し ます。

USB メモリから模様を選ぶ場合はファイルオープン キーを押します。「◎模様データの保存・呼び出し/ ●模様データの呼び出し/★刺しゅう」(195 ペー ジ)をごらんください。







〔刺しゅう実行画面〕



【刺しゅう編集画面の説明】

模様(編集)に設定されているぬい条件をお好みの条件 に変更します。

- ※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色が グレーになっていて使用できないキーがあります。
- ① ジョグキー
- ② 十字キー
- ③ 選択切りかえキー
- 4 枠選択キー
- ⑤ 拡大・縮小キー
- ⑥ コピーキー
- ⑦ 削除キー
- ⑧ 回転キー
- ① 左右反転キー
- ⑩ 上下反転キー
- ① アークキー
- 12 設定切りかえキー
- 13 グループキー
- ⑭ コーナーレイアウトキー
- 15 ぬい順序変更キー
- 値 模様色・背景色設定キー
- ① 同色まとめキー
- 18 単色ぬいキー
- 19 ズームキー
- 20 画面移動キー
- (1) 保存キー

【例】ワールド#7(1/5ページ)

模様#7を選ぶと、編集画面の中央に模様が表示されます。

【編集する模様の選択】

編集画面で編集したい模様を選択します。 選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。

【刺しゅうするには】

OK キーを押します。 刺しゅう実行画面になり、刺しゅうができます。

ホームキーを押し、編集モードキーを押すことで、刺しゅ う編集画面に戻ることができます。

※ 刺しゅうぬい中は、刺しゅう編集できません。



【設定キー】

① ジョグキー

【模様の移動1】

編集画面内の模様を移動させるには、動かしたい模様を 選択し、ジョグキーの矢印方向へ模様が移動します。 ※ キャリッジは移動しません。

【模様の移動2】

タッチペンか指でも移動できます。 動かしたい模様をタッチペンか指で押し、動かしたい位 置までそのまま移動します。

※ 先端のとがったもので画面を押すと故障の原因にな ります。

2 十字キー

十字キーを押すと、中心位置に模様が戻ります。

③ 選択切りかえキー

複数の模様が近くにあるときや、模様が重なっていると きは、編集したい模様を選択することが難しくなります。 複数の模様があるときは、選択切りかえキーが表示され ます。

- (1) 「+」キーか「-」キーを押すと、赤色の四角枠が 編集画面に表示されます。
- (2) 「+」キーか「-」キーを何回か押して、選択した い模様が赤色の四角枠で囲まれたら、選択キーを 押して模様を選択します。



(3)



選択キー







4 枠選択キー

枠選択キーを押すと、刺しゅう枠の変更ができます。 初期の状態(購入時の設定状態)は、刺しゅう枠(SQ23) が表示されます。

※ 刺しゅう枠(ASQ22、HH10、RE18)はオプションにて対応予定です。

⑤ 拡大・縮小キー

拡大、または縮小する模様を押します。 選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。 拡大・縮小車面になります。 「+」キーを押して、拡大します。 「-」キーを押して、縮小します。 選択した模様のサイズを80%~120%のはんいで1% ずつ変更できます。 最後に OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にも どります。

⑥ コピーキー

コピーする模様を押します。

選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。

コピーキーを押します。

選択した模様をコピーします。

※ コピーされた模様は、同じ模様の上に置かれます。 指またはタッチペン、ジョグキーなどで移動してく ださい。



削除する模様



⑦ 削除キー

削除する模様を押します。 選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。 削除キーを押します。 選択した模様が削除されます。



(5







⑧ 回転キー

回転する模様を押します。 選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。 回転キーを押します。 回転画面になります。

- 「Q5」キーを押すと、45°左回転します。
- 「 〔 〕 キーを押すと、1° 左回転します。
- 「17」キーを押すと、1°右回転します。
- 「45」 キーを押すと、45° 右回転します。

最後に OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にも どります。

9 左右反転キー

左右反転する模様を押します。 選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。 左右反転キーを押します。 模様の左右が反転します。









① 上下反転キー

上下反転する模様を選択します。 選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。 上下反転キーを押します。 模様の上下が反転します。





ホームキー



文字間かくキー (せまくする)





① アークキー

文字を入力したときにアークキーが表示されます。

- (1)ホームキーを押して、文字選択画面から文字を入力し、OKキーを押します。
 (例.vine/スクリプト体/横書き/文字サイズ中)
- (2) 編集画面に文字が表示されます。
- (3) アークキーを押します。
 アーク編集画面が表示されます。
 上向きアークキーを押すと、上向き円弧にします。
 下向きアークキーを押すと、下向き円弧にします。
 文字間かくキー(広くする)を押すと、文字間かく
 が広くなります。
 文字間かくキー(せまくする)を押すと、文字間かく
- (4) OK キーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にも どります。

12 設定切りかえキー

設定切りかえキーを押すと、設定画面が切りかわります。 ※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色が グレーになっていて使用できないキーがあります。





13 グループキー

編集画面の模様全体をグループにしてコピー、削除また は移動させたい場合と複数の模様だけをグループにして コピー、削除または移動させたい場合に使用します。

グループキーを押すと、グループ選択画面になります。

※ グループキーは、複数の模様がある場合に表示されます。


グループ個別選択キー

【グループ個別選択キー】

グループ個別選択キーは、複数の模様を1つにグループ 化することができます。

グループにしたい模様を押します。

選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。 OK キーを押します。

- ※ グループにしなかった模様は、グレーで表示されます。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にも どります。

コピーキー、削除キー、ズームキーを使用することがで きます。また、グループにした模様の移動ができます。 編集作業が終わったら、グループキーを押します。



- 【グループ全体選択キー】
- グループ全体選択キーは、模様全体を1つにグループ化 することができます。 グループ全体選択キーを押すと、各模様が緑色の四角枠 で囲まれます。 OK キーを押します。

模様全体が緑色の四角枠で囲まれます。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にも どります。

コピーキー、削除キー、ズームキーを使用することがで きます。また、グループにした模様の移動ができます。 編集作業が終わったら、グループキーを押します。





(14) コーナーレイアウトキー

コーナーレイアウトキーを押して、中心の十字の線をも とに反転コピーします。

1つの模様を上下左右に反転してコピーすることで、四 角い枠などを作ることができます。

コピーする模様を押します。 選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。 コーナーレイアウトキーを押します。 模様が上下左右にコピーされます。







15 ぬい順序変更キー

ぬい順序変更キーを押して、組み合わせた模様のぬい順 序を変更することができます。

ぬい順序変更キーを押します。 ぬいたい模様の順番に模様を押していきます。 ぬい順序変更キーを押します。 前の画面にもどります。





16 模様色・背景色変更キー

模様色・背景色変更キーを押すと、模様色変更画面になります。 模様色(糸色)と編集画面の背景色の変更ができます。 ※実際にぬう布色と糸色の編集イメージがわかります。

【模様色の変更】

- (1) 模様色を変更したい模様を選択し、模様色・背景色 変更キーを押します。
- (2) 模様切りかえキーで色がえしたい部分を選びます。
- (3) カラーパレットから好きな色を選びます。
 - ※ 色の明るさを変更するときは、スライダーをタッ チペンか指で右または左へ移動させるか、「+」 キー、「-」キーでスライダーを右または左へ 移動させます。
- (4) ネームキーを押すと、新規名称画面が表示されます。 変更した色に名前が付けられます。



- (5) 新規名称画面で、名称を入力し OK キーを押します。
 ※ 15 文字まで入力できます。
 入力の変更は、削除キーを押します。
- (6) OK キーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にも どります。



【背景色の変更】

- (1) 背景色変更キーを押します。
- (2) カラーパレットから好きな色を選びます。
 ※ 色の明るさを変更するときは、スライダーをタッ チペンか指で右または左へ移動させるか、「+」
 キー、「-」キーでスライダーを右または左へ 移動させます。



- (3) OK キーを押します。
 ※ OK キーを押すと、変えた模様色も変更されます。
 ※ 初期の状態(白い背景色)にもどす場合は、初期化キーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にも どります。このときは、模様色も変更されません。
- ※ 模様色の変更にもどるときは、模様色変更キーを押 してください。
- ※ JPX フォーマット(背景画像)のファイルを開くと きは、JPX キーを押します。
 (詳しくは、アキュツールズに含まれる「エンブロ イダリーエディター」のヘルプをごらんください。)

(4) 背景色を変更した状態です。



例:同色まとめをしないとき



① 同色まとめキー

同色まとめキーを押すと、組み合わせた同じ模様の同じ 糸色を 1 つにまとめることができ、糸がえの回数が少な くなります。

- ※ 同じ模様のぬい順序が続くように、ぬい順序を設定してください。同じ模様の間に他の模様をぬう順序になっていると、同じ模様の同じ糸色を1つにまとめることができません。
 「⑮ぬい順序変更キー」(180ページ)をごらんください。
- 例:同色まとめをしないとき
- (1) 絵のように模様を作成し、ぬい実行画面にします。
- (2) 糸色確認キーで糸色を確認すると、16 色の色がえになっています。

例:同色まとめをしたとき



(2) 〔まとめ確認画面〕

?



- 例:同色まとめをしたとき
- (1) 同色まとめキーを押します。
- (2) まとめ確認画面が表示されます。
 模様切りかえキーを押して、どの模様が1つにまとめられたか確認します。
 OK キーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にも どります。



(糸色確認画面)
JANOME アクリル

203 コバルトブルー
204 モスグリーン
5. 201 ピーコックグリーン
6. 201 ピーコックグリーン
7. 201 ピーコッククリーン
7. 201 ピーコッククリーン
7. 201 ピーコッククリーン
7. 201 ピーコッククリーン
7. 201 ピーコッククリー

- (3) ぬい実行画面になります。
- (4) 糸色確認キーで糸色を確認すると、16 色の色がえ が 6 色に減りました。
- ※ 編集画面にもどった場合は、色まとめ設定は解除されます。

(18) 単色ぬいキー

単色ぬいキーを押すと、全ての模様を1色でぬいます。 全ての模様をぬい終わるまで、ミシンは止まりません。

- (1) 単色ぬいキーを押します。
- (2) 確認画面が表示されます。 OK キーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、もとの画面にもどります。
- (3) ぬい実行画面になります。 模様が灰色単色で表示されます。 お好きな色でぬいはじめます。 色がえになってもミシンは止まりません。
- ※ 編集画面にもどった場合は、単色ぬい設定は解除さ れます。





19 ズームキー

編集画面を拡大表示して、編集をすることができます。 (1) ズームキーを押します。

- (2) 編集画面が拡大した画面になります。
- ※ ズームキーをもう一度押すと、もとの画面にもどり ます。

20 編集画面移動キー

ズームキーで拡大表示させたときに、大きな模様や編集 画面上の端にレイアウトした模様は、画面上に表示しき れない場合があります。そのようなときは、画面移動キー を押し、画面にタッチペンか指で直接ふれて移動させる ことができます。

※「ジョグキー」で移動させないでください。 「ジョグキー」で移動させると模様のぬい位置が移動 します。



(18)

(18)

(1)







② 保存キー

編集した模様をミシンに保存したり、USB メモリに保存するときに使います。 使い方は、「◎模様データの保存・呼び出し/●模様データの保存」(190 ページ)をごらんください。

●フリーアーム刺しゅう枠(FA10)の使い方



筒サイズの大きなすそなどは、フリーアーム刺しゅうが できます。

フリーアーム刺しゅうの条件;

開きぐちの長さは 20cm 以上あること、また、刺しゅうはんいは、筒の長手方向先端から 20cm ぐらいまでで刺しゅうをしてください。

① 布の刺しゅう位置にマークを付けます。

- ② 編集画面から枠選択キーで刺しゅう枠(FA10)を選びます。
 ホームキーから、模様キーを押し、模様選択画面にて刺しゅう枠選択キーを押して刺しゅう枠(FA10)を選択します。表示された模様の中から選びます。
 (例) FA10 # 6
- ③ 編集画面で編集を行い、OK キーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にも どります。
- ④ フリーアーム刺しゅう枠の外枠を筒の中に入れ、内 枠にテンプレートを入れ、布のマークとテンプレートの基準線を合わせ布を張ります。
- (5) 補助テーブルを取り外します。
 (6) 筒の中にフリーアームを入れて、刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。
 - ※ 刺しゅう枠の取り付け、取り外しかたは「●刺 しゅうの準備/★刺しゅう枠のキャリッジ取り 付け」(146ページ)をごらんください。

そでが刺しゅう枠の動きをじゃましないように、そ での先はまくり上げてください。

※ 布が刺しゅう枠の中に入り込む場合は、外枠の 端にある布止めを内枠に立てます。

刺しゅうぬいをしているとき、刺しゅう枠の動きを 布が妨げないように注意してください。

●カウチングデザインのぬい方

(1)9 d ABC 2 271 模様キー (2)押さえ変更キー 大 207 .15



押さえ選択キー

刺しゅうカウチング押さえを取り付けることにより、毛 糸を布に飾り付けることができます。

押さえの種類と毛糸の条件;

刺しゅうカウチング押さえ PC-1:

並太(棒針のサイズ:6~8号)

- 刺しゅうカウチング押さえ PC-2: 並太~極太(棒針のサイズ:8~10号)
- ※ 号数が同じでも、毛糸によって太さが異なりますので、 必ず試しぬいをしてください。
- ① ホームキーから、模様選択画面にて模様キーを押し、 カテゴリーの中からカウチングデザインを選択しま す。お好きなカウチングデザインを選んでください。 (例) カウチングデザイン#7(1/2ページ)
 - ※ 刺しゅうカウチングぬいでは、単色ぬいキー (183ページ)は使用しないでください。毛糸 の処理に問題が発生してしまいます。
- ぬい実行画面で、押さえ変更キーを押します。 ぬい付けたい毛糸の太さに合わせた押さえを選択し ます。押さえの種類に対して、最適な押さえ高さが 設定されます。

毛糸が太いときや、毛糸が何本も重なるときは、押 さえ高さを調節してください。「★刺しゅう実行画面 /【設定キー】/④調節キー/(3)押さえ高さの 調節|(158ページ)をごらんください。

- ※ 毛糸を安全にぬい付けるため、最高回転数は 500spm となっています。本体のスピードコン トロールつまみで 400spm ~ 500spm に変更 できます。遅い速度でぬうと、きれいにぬえます。
- ※ 上糸と下糸を毛糸と同じ色にすると、仕上がりがき れいになります。

\Lambda 注意

押さえの取り外し・取り付け、針止めひも案内の取り付け、毛糸を押さえの穴に通すときは、必ずロックキー によりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



 ③ 設定した刺しゅうカウチング押さえに交換します。 押さえの交換のしかたは「◎刺しゅう/●刺しゅう の準備/★押さえの交換|(141ページ)をごらん ください。

刺しゅうカウチング押さえに交換したあと、はずみ 車を手で手前側に回し、針が押さえの中心に来るこ とを確認してください。

④ 上糸を持ち、押さえの板金の下に滑り込ませるよう にして入れて、上糸を押さえの穴に通します。





針止めねじを手前側に回さないように、十分注意し てください。手前側に回すと針止めねじがゆるみ、 ぬい中に針が落ちて、故障やけがの原因になります。

- ⑥ 補助糸立て棒取り付け穴に、補助糸ガイド棒を入れます。
 補助糸ガイド棒が動かない位置にくるように、回しながらしっかり入れてください。
 ※ 画面側の向きに取り付けます。
- ⑦ 毛糸を補助糸ガイド棒にかけます。
- ⑧ 毛糸を針止めひも案内の前面のすき間から入れます。
 押さえを PC-1 にしたときは左側の案内に入れます。
 押さえを PC-2 にしたときは右側の案内に入れます。

- ③ 毛糸を押さえの穴に入れます。
 毛糸を両手に持ち、板金のななめの部分に上から押
 込むように入れて、押さえの穴に通します。
- ※ 毛糸を常にたるませておくと、きれいにぬうことが できます。

<u> 注</u>意

毛糸によって、途中で結び目があるものがあります。 結び目がひも案内に引っかかると、故障の原因にな ります。

また、針止めひも案内に引っかかることにより、針 止めねじがゆるみ、ぬい中に針が落ちて、故障やけ がの原因になります。

ぬい途中に結び目がこないことを確認するために、 目を離さないようにしてください。





- ① 布を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をキャリッジに
 取り付けます。
 - ※ 刺しゅう枠の取り付け、取り外しかたは「●刺 しゅうの準備/★刺しゅう枠のキャリッジ取り 付け」(146ページ)をごらんください。

※ 必ず試しぬいをしてください。

- スタート / ストップボタンを押します。
 5~6 針ぬったところでスタート / ストップボタン を押して、ミシンを止めます。
- ② ぬい始めの余分な糸と毛糸を、ぬい目のきわから切ります。
- 1 スタート / ストップボタンを押し、模様をぬいます。
- ※ カウチングデザインをぬった後は、必ずカウチング 押さえを取り外してください。 カウチング押さえを取り付けたまま通常ぬいモードに すると、押さえに針がぶつかる恐れがあります。
- ※ ぬいがジャンプするカ所ではミシンを停止し、一度毛 糸をハサミで切り、再びぬい始めてください。 切り忘れると、ジャンプした毛糸に押さえが引っかか り危険です。

●フラッグデザインのぬい方



フラッグデザインの内側に刺しゅうを入れて、お好みのフラッ グ・ガーランドを作ることができます。

- ホームキーを押し、模様選択画面にて模様キーを押し、カテゴリーの中からフラッグデザインを選択します。
 (例)フラッグデザイン#1(2/3ページ)
- ② 編集画面で編集を行います。
 (例)モチーフアルファベットの2/2ページ#24
 「W」模様と、レッドワークの3/3ページ#8
 「鳥」模様を選択し、編集画面に配置。
 OKキーを押します。
- ③ 刺しゅう枠に布を張り、ミシンに取り付けて、刺しゅ うぬいをします。
- ④ ぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外します。
 刺しゅう枠から布を外し、外側のぬい目にそって切り取ります。

- 5 折りしろを裏側に折り、アイロンでしっかり折り目 をつけます。
 - ※ アイロンを使用するときには、当て布をしてく ださい。そのままアイロンをかけると、アイロ ンの熱で刺しゅう糸がつぶれてしまうことがあ ります。
- ⑥ ひもを通すすき間を残して折りしろをぬい合わせます。 別の布をフラッグと同じ大きさに切り、裏側にぬい 付けるときれいに仕上がります。

⑦ 何枚か作成し、ひもを通して完成です。

◎模様データの保存・呼び出し

通常ぬいで組み合わせた模様データや刺しゅうの編集機能などで作成した模様データをミシンやUSBメモリに 保存し(ファイルセーブ)、いつでも呼び出して(ファイルオープン)ぬうことができます。



3	〔Ordf 画面〕	
<u>まだ何も(</u>	保存されていない場合	<u>すでに「M_001」がある場合</u>
ファイ	イル名	ファイル名
M_001	A	M_002
	ľ	M.001
	∎ ∰∀ >< ∑' ? п− ⊅	
上の階 移動	í層へ ━┛ ┃ ┗──閉 キー ∩K ≠−	じるキー

- ③ ミシンに用意されているファイル名「M_001」で保存する場合は、「Ordf」画面のOKキーを押すと模様 データがミシンに保存され、模様選択画面にもどります。
- ※ すでに「M_001」名で保存されているデータがある 場合は、自動的に番号が繰り上げられ、「M_002」 が表示されます。
- ※ お好みのファイル名で保存する場合は、【名称変更 キーの使い方】(192ページ)をごらんください。
- ※「上の階層へ移動」キーを押すと1つ前の「ファイル を保存」画面に、閉じるキーを押すと模様選択画面に、 データは保存されずにもどります。

【新規フォルダの作成方法】(通常ぬいの例)

ミシンに用意されているフォルダを使わないでお好みの フォルダを作成してデータを保存する場合は、下記の手 順で保存します。

- 前ページ手順②の「ファイルを保存」画面の新規フォ ルダキー を押して「新規名称」画面を表示させ、 文字キーによりお好みの名前(10文字以内)を付け て OK キーを押し、再度「ファイルを保存」画面を表 示させます。(例では、「もようー1」と入力)
- ※ 文字の入力中に修正したい場合は、カーソル移動キー で取り消したい文字にカーソルを合わせ、削除キーで 取り消すことができます。
- ※ 文字の種類は、文字種切りかえキーで変更できます。
- ②「ファイルを保存」画面に、新規に作成した「もよう
 1」フォルダが表示されるので、
 して
 した
 した
- ③「もようー 1」画面の OK キーを押すと、ファイル名 「M_001」の模様データがフォルダ名「もようー 1」 に保存され、模様選択画面にもどります。





【名称変更キーの使い方】(通常ぬいの例)

名称変更キーは、すでに作成されているフォルダの名前 を書きかえたり、ミシンに用意されているファイル名 「M_001」等を使わずに、お好みのファイル名を付けて 保存するときに使います。

作成されているフォルダの名前を変更する場合

- ※ キーの色が黒色の状態でフォルダの名前をかえること ができます。
- ② 名前をかえたいフォルダ(例えば)を押して「新規名称画面」を表示させます。
- ③ 文字キーによりお好みの名前(10 文字以内)を付け て OK キーを押します。(例では、「かざりもよう-1」) 再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダ名 が「かざりもよう-1」に書きかえられています。
- ※ 名前の入力方法は、【新規フォルダの作成方法】(191 ページ)を参照してください。

ファイルにお好みの名前を付けて保存する場合

- 例えば、【ミシンの内蔵メモリに保存する】手順③ (191ページ)の「Ordf」画面のファイル名「M_001」 をお好みのファイル名に書きかえる場合は、「Ordf」 画面の新規ファイル名称変更キーを押して「新規名称 画面」を表示させます。
- ② 文字キーによりお好みの名前(10 文字以内)を付け て OK キーを押します。(例では、「もよう O1」)
- ※ 名前の入力方法は、【新規フォルダの作成方法】(191 ページ)を参照してください。

OK +-



(3)



OK X

A OK X

3

2 1 21

OK +-

前序

M.00

一合色

 ③ 再度「Ordf」画面が表示され、ファイル名が「もよう01」に書きかえられているので、OK キーを押す とファイル名「もよう01」でデータを保存すること ができます。

【フォルダの削除方法】(通常ぬいの例)

不要になったフォルダは削除キーにより削除することが できます。

- 「ファイルを保存」画面で、削除キーを押してキーの 表示を黒色にかえます。
- ※ キーの色が黒色の状態でフォルダを削除することがで きます。

② 削除したいフォルダ(例えば Property)を押します。

 ③ フォルダを削除してよいか確認するためのメッセージ 画面が表示されるので、OK キーを押します。
 再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダ 「かざりもようー1」が削除されています。

1 OK X

2 271



※ ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中(転送中)に電源スイッチを切ったり、USB メモ リを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

●模様データの呼び出し

★通常ぬい

(1)



ファイル オープンキー



(ファイルを開く画面) ミシンの内蔵メモリ選択状態



【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

① 通常ぬいの状態でファイルオープンキーを押します。

- ※ 手順②や③の画面で、フォルダやファイルが1画面 に表示しきれない数だけ保存されている場合は、ペー ジキーで別のページ(画面)を表示できます。





③「Ordf」画面のファイルの中から呼び出したいファイル(模様データ)を押すと、模様データを保存したときと同じ状態の模様選択画面が表示され、ぬうことができます。

★刺しゅう

(1)



(2) 〔ファイルを開く画面〕



【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

- ① 刺しゅうの状態でファイルオープンキーを押します。
- ※ 手順②や③の画面で、フォルダやファイルが1画面 に表示しきれない数だけ保存されている場合は、ペー ジキーで別のページ(画面)を表示できます。



ページキー





USB メモリから呼び出す場合

USB メモリに保存されている模様データを呼び出す 場合は、ミシン右側の USB 差し込み口に USB メモ リ 1 を差し込み、通常ぬいの模様データの場合はミシ ンを通常の状態に、刺しゅうの模様データの場合はミ シンを刺しゅうの状態にしてからファイルオープンキ ーを押して「ファイルを開く」画面にし、「「」を押 して、キーの色を黒色にかえます。 データの呼び出し方法は、ミシンの内蔵メモリから呼 び出す方法と同じです。 USB 差し込み口は 1 と 2 があり、USB メモリを 2 本差すことができます。USB 差し込み口 2 に USB メモリを差し込んだ場合は 「1502」を押してください。

※ ミシンの内蔵メモリや USB メモリから模様データを呼び出し中(転送中)に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

● PC リンク



USB ケーブルでミシンとパソコンとを接続し、パソコ ンの刺しゅうデータを取り込むことができます。

付属のアキュツールズの CD-ROM をパソコンに入れ、 アキュツールズとアキュツールズに入っているドライバ インストーラをお使いのパソコンにインストールする必 要があります。

USB ケーブルのタイプ A 端子をパソコンに入れ、タイ プ B 端子をミシンに入れてパソコンとミシンを接続しま す。(USB ケーブルは市販のものも使用できます。)

ステッチコンポーザーや、エンブロイダリーエディター で作成した模様データをパソコンからミシンへ送ること ができます。

詳しくは、アキュツールズに含まれる「ステッチコンポー ザー」や、「エンブロイダリーエディター」のヘルプをご らんください。



データ転送中はミシンやパソコンの電源を切ったり、 USB ケーブルを抜いたりしないでください。データ が破損するおそれがあります。

〔設定の初期画面〕(共通設定 1/5ページ)



〔ロック画面〕



【キーのはたらき】

- 共通設定キー
 通常ぬいと刺しゅうの共通項目の設定画面になります。
- ② 通常ぬい設定キー 通常ぬい専用項目の設定画面になります。
- ③ **刺しゅうぬい設定キー** 刺しゅう専用項目の設定画面になります。
- ④ 言語設定キー 画面に表示されている言語の設定画面になります。
- ⑤ ページキー 現在表示されている設定画面の次または前のページ (画面)を表示させるときに使います。
- ⑥ OK キー 変更した内容を確定し、セットキーを押す前の画面に もどります。
- ⑦キャンセルキー

変更した内容を確定しないで、セットキーを押す前の 画面にもどります。

※ 設定内容を変更しても、OK キーを押さないでキャ ンセルキーを押した場合は、変更した内容は何も受 け付けられず、セットキーを押す前の画面にもど ります。

⑧ロックキー

ロックキーを押すとミシンがロック状態になり、押さ え上下移動ボタンと糸通しボタンを除くすべてのボタ ンやキーなどが受け付けられません。ミシンも動きま せん。ミシンが現在設定されている状態を保持したま ま安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うこ とができます。

- ※ 押さえや針の交換、糸のセットなどを行うときに、 ロック状態にしないで、電源スイッチを切った状 態で行うと、押さえ上げで押さえのあげさげがで きない場合があります。
- ※ ロックキーを押すと、押さえがさがった状態になります。
- ※ ロック状態を解除する場合は、ロック画面のロッ クキーを押してください。

【共通設定】

5つのページ(画面)に分かれていて、14項目の通常 ぬいと刺しゅうの共通項目の設定ができます。

① 画面のコントラスト

画面のコントラストを「+ / −」キーで調節すること ができます。

2 音量

キーを操作したときに鳴るブザーの音量を「+/-」 キーで調節することができます。 〈O(消音)~5の6段階、初期値:3〉

③ インチ / ミリ表示

画面に表示される数値の単位をインチとミリに切りか えることができます。

〈初期:ミリ〉

※ 布ガイド設定時の布ガイドの位置を示す数値や刺 しゅうの大きさを示す数値など、画面に単位の 「mm」または「inch」が表示されているものが切 りかわります。調節画面のぬい目の幅やあらさの 数値はかわりません。

④ 上糸切れ検知

ぬい中に上糸が切れたとき、切れたことを知らせてミシンを停止する機能で、その機能のあり「ON」、なし「OFF」を設定することができます。上糸無しでミシンを動かしたいときは「OFF」に設定してください。 〈初期:ON〉

※通常は、「ON」に設定した状態のままご使用くだ さい。ぬい中に上糸が切れてしまったあとの無駄な ぬいを防ぎます。

⑤ ライト

⑥待機時間(省エネモード)

電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場 合、一定時間が経過するとミシンランプが消え、ミシ ンは省エネモードになります。その時間を設定するこ とができます。

く1 ~ 30 分および OFF (なし)、初期値:10分> ※ 省エネモード中は、画面や操作ボタンに触れると 使用中のもとの画面にもどり、ミシンランプも点 灯します。

⑦スクリーンセーバー

省エネモード中にスクリーンセーバーを表示するか設 定できます。表示する「ON」、表示しない「OFF」 を設定することができます。 取り込みキーを押すと、USBメモリからスクリーン セーバーを取り込むことができます。スクリーンセー バーはアキュツールズのスクリーンセーバーツールで、 作ることができます。 削除キーを押すと、取り込んだスクリーンセーバーの データを削除します。また、「⑬フォーマット」 (202 ページ)を選択したときも取り込んだスクリー ンセーバーのデータは削除されます。









⑧静音モード

ミシンの動作音を静かにしたい場合、静音モードでミ シンの動作音をおさえることができます。静音モード では、音量は1(設定が0のときは0のまま)、通常 ぬいのスロースタート調整と、刺しゅうぬいの最高ぬ い速度は最低速度になります。 **〈初期:OFF〉**

※静音モード中は、設定画面の対応項目の左側と、 通常ぬい、刺しゅうぬいの画面の右上に静音モー ドマークが表示されます。

⑨キーの位置調整

画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれて いて、押しても受け付けられない場合に調整すること ができます。

調整する場合は、画面の Yes キーを押して、キー の位置調整画面を表示させ、付属のタッチペンで「+」 の中心を押します。

押すと、次の画面に切りかわるので、順番に(A)~(E)の画面の「+」の中心を押します。

(E)の画面が終了すると(F)の画面を数秒表示し、 共通設定画面にもどります。

201

①背景色

画面の背景を8パターンから設定することができます。 〈初期:濃紺〉

① ラインライト色設定

ラインライトの色と明るさを設定することができます。

- 設定する場合は、画面の Yes キーを押して、ラインライト色の設定画面を表示させ、色と明るさを設定し、OK キーを押します。内容が決定され、共通設定画面にもどります。
- ※ 共通設定画面の OK キーが押されるまで確定はされません。
- 明るさ〈1~5の5段階、初期値:3〉
- ※「⑤ライト」(199 ページ)の設定で、ライトを 「OFF」にしたときは、ラインライトの設定はでき ません。

3 🕇

OK



〔共通設定画面〕 4/5 ページ

3





12 下糸巻き速度

下糸巻きの速度を設定することができます。 く1~5の5段階、初期値:3>

13フォーマット

ミシンの内蔵メモリおよび USB メモリをフォーマットします。
フォーマットする場合は、画面の キー (ミシンの場合)または 1キー (USB メモリ1の場合)、 2キー (USB メモリ2の場合)を押してフォーマット画面を表示させ、OK キーを押します。
※フォーマットすると、現在保存されている通常ぬいと、刺しゅうの模様データおよび、取り込んだスクリーンセーバーのデータがすべて消えますのでご注意ください。

⑭ すべて初期状態にもどす

通常ぬいと刺しゅうの共通項目、通常ぬい専用項目、 刺しゅう専用項目で設定したすべての内容を初期の状 態(購入時の設定状態)にもどすことができます。 言語の設定はもどりません。

初期の状態にもどす場合は場合は、画面の Yes キーを押し、続けて OK キーを押します。 言語の設定を除く変更したすべての内容が初期の状態 にもどり、セットキーを押す前の画面にもどります。



【通常ぬい設定】

4つのページ(画面)に分かれていて、13項目の通常 ぬい専用項目の設定ができます。

①糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に 自動セットされますが、この自動セットされる値(オ ート値)をすべての模様に対して全体的に強くしたり (+)、弱くしたり(-)することができます。 くオート-5~オート+5の11段階、 初期値:オート〉

②下糸残量

下糸の残っている量が少なくなってきたときに検出し て知らせる機能で、その検出して知らせる時期を早め に、または遅めにすることができます。 数値が大きいほど、早めに(下糸残量が多いときに) 検出します。「+/-」キーで設定します。 〈OFF(なし)、0.5、1~4の6段階、初期値:2〉

③針停止位置

④送り歯

デコレーションステッチや押さえを下げた状態でぬい たいとき、この設定で送り歯を下げることができます。 (「「「」: 送り歯上げ、「」」: 送り歯下げ) 〈初期:送り歯上げ〉



⑤ 押さえ上げ高さ(ピボット)
 ぬいを止めたとき押さえが自動で上げる高さを調整することができます。
 数値が大きいほど、押さえ上げの高さが高くなります。
 「+/-」キーで設定します。
 〈0.5~6.0mmの12段階、初期値:3.0mm〉

(6) 押さえ圧 押さえ圧は最適になるように自動で調節(オート)されますが、お好みの圧に設定することができます。 オートに対して強くしたり(+)、弱くしたり(-)することができます。 〈オート-5~オート+4の10段階、初期値:オート〉

- ⑦ バリアブル ZZ (可変ジグザグ) 感度調整
 バリアブル ZZ (可変ジグザグ) をぬうとき、ひざ上
 げレバーで動く量を調整することができます。
 「1」に設定すると、ひざ上げレバーを小さく動かす
 だけで、針棒は動く設定になります。
 「3」に設定すると、ひざ上げレバーを大きく動かすと、
 針棒が動く設定になります。
 「+/-」キーで設定します。
 - <1~3の3段階、初期:2>



⑧ スロースタート調節

ミシンをスタートさせたとき、ゆっくり動きはじめて からスピードコントロールつまみでセットした速さに なりますが、その動きはじめの速度を普通(♪ ♪)、 やや速め(♪ ♪)、速め(♪ ♪)の3段階にか えることができます。 上段はスタート / ストップボタン使用時、下段はフッ トコントローラー使用時の調節ができます。 〈初期:普通〉

⑨ 布ガイドの初期位置調整

布ガイドの位置(中針位置からの距離)を示す数値に 対して、移動する布ガイドの実際の位置を調整する(少 しずらす)ことができます。

※ 刺しゅうユニットを取り付けて、キャリッジアー ムが格納されている状態でのみ操作できます。

調整する場合は、画面の Yes キーを押します。 キャリッジが初期位置に移動することを示すメッセー ジ画面【A】が表示されるので、メッセージ画面の OK キーを押して初期位置調整画面を表示させます。 キャリッジが布ガイドのオート位置(電源を入れたと き、ミシンに自動的に設定されている位置)15mm に移動するので、この位置より右ににずらしたい場合 は → キーを、左にずらしたい場合は 4 キーを押し ます。

OK キーを押すと調整量が決定され、布ガイドのすべ ての位置でこの調整量が適用されます。(通常ぬい設 定画面の OK キーが押されるまで確定はされません。) 画面は、キャリッジが収納位置にもどることを示すメ ッセージ画面【B】が表示されるので、メッセージ画 面の OK キーを押すと、通常ぬい設定画面にもどりま す。

- ※ 初期の状態(購入時の設定状態)にもどす場合は、 初期置調整画面で、初期化キーを押して OK キー を押し、通常ぬい設定画面で OK キーを押してく ださい。
- ※ 布ガイドは、「◎実用ぬい/●実用ぬいの調節画面 /★布ガイド設定キー」(41 ページ)をごらんく ださい。

⑩ 布ガイドの位置記憶

布ガイドを設定したとき、通常はキャリッジが布ガイ ドのオート位置(電源を入れたとき、ミシンに自動的 に設定されている位置)15mmに移動しますが、布 ガイドの位置記憶を「ON」にすると、この位置を前 回最後に使用した位置にすることができます。 〈初期:OFF〉

※ 布ガイドは、「◎実用ぬい/●実用ぬいの調節画面 /★布ガイド設定キー」(41 ページ)をごらんく ださい。



① 通常ぬいオートストップ時の糸切り

通常ぬいオートストップ時の糸切りを「ON」に設定 すると、ぬい終わったあと糸切りボタンを押さなくて も自動で糸を切ることができます。

〈初期:OFF〉

※「ON」に設定すると、ボタンホールグループの模様および文字ぬいなど、模様の最後にほつれ止めの止めぬいが入っていて、ぬい終わると自動的にミシンが停止する模様は、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。 その他の模様も、止めぬいボタンまたは返しぬいボタンでぬい終わりに止めぬいを入れてミシンを停止した場合、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

12ステッチの調整値を保存(FS)

模様を選ぶと、模様のぬい目の幅やあらさ、糸調子な どはオート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に 設定されている値)にセットされますが、ステッチの 調整値を保存を「ON」に設定すると、オート値を模 様ごとにお好みの値に変更して記憶することができま す。オート値をお好みの値に変更して記憶しておくと、 その模様を選ぶだけで、その設定した値でぬうことが できます。

〈初期:OFF〉

- ※オート値をお好みの値に変更して記憶する方法は、 「◎実用ぬい/●実用ぬいの調節画面/★ぬい目の 幅(針位置)、ぬい目のあらさ、糸調子のオート値 の変更」(39ページ)をごらんください。

③お好み記憶モード(リジューム)

お好み記憶モードを「ON」に設定すると、電源スイッ チを入れたとき、前回最後にぬっていた模様の画面を 表示し、ぬい目の幅やあらさ、糸調子などの設定値も 前回と同じ条件でぬうことができます。

〈初期:OFF〉

※お好み記憶モードが「ON」に設定された状態で電 源スイッチを入れると、前回のぬい画面を表示す るかを確認するためのメッセージ画面【D】が表 示されます。メッセージ画面のOKキーを押すと 前回最後にぬっていた模様の画面になります。



【刺しゅうぬい設定】

5つのページ(画面)に分かれていて、13項目の 刺しゅう専用項目の設定ができます。

①糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に 自動セットされますが、この自動セットされる値 (オート値)をすべての模様に対して全体的に強くし たり(+)、弱くしたり(-)することができます。 くオート-5~オート+5の11段階、 初期値:オート>

2 下糸残量

下糸の残っている量が少なくなってきたときに検出し て知らせる機能で、その検出して知らせる時期を早め または遅めにすることができます。 数値が大きいほど、早めに(下糸残量が多いときに) 検出します。「+/-」キーで設定します。 〈OFF(なし)、0.5、1~4の6段階、初期値:2〉

③ぬい開始1針停止

ぬい開始1針停止を「ON」に設定すると、ぬい始め や色替え後のぬい始め、および上糸切れ検出後のぬい 始めにミシンをスタートさせたとき、ミシンは自動的 に1針ぬって停止し、以下のメッセージ画面が表示さ れます。

〈初期:OFF〉



※ ぬい開始1針停止は、1針ぬってミシンを停止後に、 上糸を上に引いて下糸を布の上に引き出すことで、 下糸を布の裏側にぬい込まないようにするための 機能です。

④ 枠種確認メッセージ

枠種確認メッセージを「OFF」に設定すると、模様を 選択して刺しゅう実行画面にかわるときに表示される 枠確認のためのメッセージ画面を表示させなくするこ とができます。 **〈初期:ON〉**

〔刺しゅうぬい設定画面〕 2/5 ページ



⑤最高ぬい速度

刺しゅうをぬっているあいだのぬい速度は、ぬい目に よって変化しますが、その中の最高速度を設定するこ とができます。「+ / -」キーで設定します。

〈400 ~ 1000spm の 7 段階、初期値:600spm〉

- ※最高ぬい速度の値は、スピードコントロールつま みの位置がいちばん右側の最高速になっている場 合です。ぬい速度を遅くする場合は、スピードコン トロールつまみで調節できます。
- ※ぬい速度を遅くした方が、刺しゅうはきれいに仕 上がります。
- ※ 刺しゅう実行画面で表示される押さえ変更画面の 初期値になります。

刺しゅうカウチング押さえ (PC-1 と PC-2) の最高 速度は 400 ~ 500spm の 2 段階のみです。 500spm 以上の最高速度を設定した場合は、 500spm になります。

⑥刺しゅう押さえ高さ

刺しゅうをぬっているときの、布からの押さえ高さを 設定することができます。

数値が大きいほど、布からの押さえの位置が高くなります。「+/-」キーで設定します。

<0.0~4.0mmの41段階、初期値:1.7mm>

※刺しゅうモードで押さえが下がっているときは、 調整した値に応じて押さえの高さが変わります。

※刺しゅう実行画面で表示される調節画面と押さえ 変更画面の初期値になります。

刺しゅうカウチング押さえ (PC-1 と PC-2) の押さ え高さはの初期値は変更できません。







⑦自動色まとめ

自動色まとめを「OFF」に設定すると、外部で作成された刺しゅうデータで刺しゅうする場合、データ上に同色で異なるブロック(レイヤー)が連続しているとき、グループ化しないで色がえのためにミシンを停止することができます。

〈初期:ON〉

※「ON」に設定されている場合はグループ化され、 同一グループ(同色)として、ミシンは色がえ停 止しません。

⑧刺しゅう枠の中心位置調整

刺しゅう枠の中心位置の調整を行っておくと、模様を 正確な位置にぬうことができます。(枠の種類ごとに 調整が必要です。)

調整する場合は、画面の Yes キーを押して刺しゅ う枠位置調整画面を表示させ、続けて キーを押し て枠選択画面を表示させ、調整したい枠を選びます。 枠選択画面上の枠選択キーを押すと、再度刺しゅう枠 位置調整画面にもどります。(画面の中段部には、調 整する枠の種類が表示されています。)

画面の中のジョグキーを押して枠を上下左右に移動 させ、テンプレートの中心を針に合わせます。

OK キーを押すと調整量が決定され、刺しゅうぬい 設定画面にもどります。

(刺しゅうぬい設定画面の OK キーが押されるまで確定はされません。)

※ 初期の状態(購入時の設定状態)にもどす場合は、 刺しゅう枠位置調整画面で、初期化キー押して OK キーを押し、刺しゅうぬい設定画面で OK キーを 押してください。

⑨ グリッドライン

グリッドラインを「OFF」に設定すると、編集画面 のグリッドラインを消すことができます。 〈初期:ON〉

グリッドラインが「ON」のとき、編集画面のグリッ ドラインの間かくを変更することができます。 〈10 ~ 30mm の 3 段階、初期値: 10mm〉

[〔]刺しゅうぬい設定画面〕 4/5 ページ





色がえおよび、ぬい終了時の自動糸切り、渡り糸の自動糸切りの設定をすることができます。 「OFF」にすると、自動糸切りを行わない設定にできます。

〈初期:ON〉

 カスタマイズキーを選択すると、色がえおよびぬい 終了時の自動糸切り、渡り糸の自動糸切りの設定を カスタマイズ(お好み設定)することができます。

設定する場合は、 🔅 キーを押して、カスタマイズ 画面を表示させ、(1) ~(3)の設定を行います。



- (1) 渡り糸の糸切り長さ
 渡り糸の糸切り長さ(渡り糸の間かくが何 mm 以上の場合に行うかの数値)を設定することができます。「OFF」に設定すると渡り糸の自動糸切りを行いません。「+ / -」キーで設定します。
 (3~30mmの8段階および OFF、初期値:3mm>
- (2) 色がえ / ぬい終了時の糸切り
 色がえおよびぬい終了時の自動糸切りを行う
 (ON) か、行わない(OFF) かを設定すること
 ができます。
 〈初期:ON〉
- (3) 糸切りコマンド
 外部で作成された刺しゅうデータの糸切りコマンドに対応する(ON)か、しない(OFF)かを設定することができます。
 〈初期:OFF〉



〔刺しゅう実行画面〕



〔確認のためのメッセージ画面〕



①糸選択

刺しゅう糸の種類を9種類の中から選ぶことができ ます。使用する刺しゅう糸と同じ種類の刺しゅう糸の キーを選択してください。刺しゅう糸の種類を選択す ると刺しゅう実行画面の糸色表示が選んだ糸の種類の 表示に対応します。

〈初期:JANOME ポリエステル〉

①お好み記憶モード(リジューム)

お好み記憶モードを「ON」に設定すると、刺しゅう のぬい実行中(ぬい停止中)に電源スイッチを切っても、 次に電源スイッチを入れたとき、前回ぬっていた模様 の表示画面になり、前回の続きからぬい始めることが できます。

〈初期:ON〉

※お好み記憶モードが「ON」に設定された状態で電 源スイッチを入れると、前回のぬい画面を表示する かを確認するメッセージ画面が現れます。 OK キーを押すと前回最後にぬっていた模様の画面 になります。



【言語設定】

画面に表示されている言語を13カ国の中から設定する ことができます。

設定する場合は、設定したい言語を選び、OKキーを押します。

〈初期:日本語〉

◎ヘルプ動画



〔動画再生画面〕



ヘルプキーを押すと、ミシンの基本動作を動画で見るこ とができます。

ミシンの基本動作の動画 7 個の他に、ミシンのバージョン番号、ミシンの通電時間、ぬった時間を表示します。

ページキーを押すと動画のページが前のページか次のページに切りかわります。

見たいヘルプ動画の動画キーを押すと、再生画面が表示 され、動画が再生します。

再生キーを押すと動画が再生されて、一時停止キーを押 すと動画は停止します。停止中に早送り / 早戻しキーを 長押しすると、早送り再生か早戻り再生できます。

頭出しキーを押すと動画の始めから再生します。

閉じるキーを押すと再生画面は閉じます。

○ミシンのお手入れ ●かまと送り歯、糸切り部の掃除



内がま

内がま凸部

・お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源 プラグをコンセントから抜いてください。 ・説明されている場所以外は、分解しないでください。 感電・火災・けがの原因になります。

【内がまの取り外しと掃除】

- ① 針と押さえを外します。
- ② 針板を外し、ボビンを取り出します。
- ※ 針板の外し方、付け方は、「◎操作方法/●針板の外 し方、付け方」(23ページ)をごらんください。
- ③内がまの手前を上に引きながら外します。
- ④ 内がまを付属のミシンブラシで掃除し、やわらかい布 に付属のかま用クリーナーを少量含ませて、全体を軽 くふきます。
- 送り歯、糸切り部のごみをミシンブラシで手前に落とし、外がまを掃除します。
- ⑥ かま用クリーナーを少量含ませたやわらかい布で、外がまのまわりや内部全体を軽くふきます。
- ※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、 掃除機などで吸いとってください。

【内がまの組み付け】

- 内がまを取り付けます。
 内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、
 内がまの凸部が回転止めの左側にくるように取り付けます。
- ② 針板を取り付けます。
- ③押さえ、針を取り付けます。

回転止め

◎メッセージ画面一覧

メッセージ画面	原因	解決法
フットコントローラーを外してください。	フットコントローラーが接続された状態で、 スタート / ストップボタンを使用したとき表 示されるメッセージ画面です。	フットコントローラーを外してからス タート / ストップボタンを使用してく ださい。
	フットコントローラーが壊れているときに表示される警告画面です。	お客様相談窓口 (巻末に記載) もし くは、ミシンを買ったお店にお問い合 わせください。
▲ BHレバーを 下げてください。	ボタンホール切りかえレバー (BH レバー)を さげないでミシンをスタートさせると、少しだ けぬってミシンは停止し、このメッセージ画面 が表示されます。	ボタンホール切りかえレバーを引きさ げて、ミシンを再スタートさせてくだ さい。
▲ 針を確認してください。 2本針設定をキャンセルしました。	2本針設定から1本針設定に変更したときに 表示されるメッセージ画面です。	2 本針を 1 本針に付けかえてあるこ とを確認してから、OK キーを押して ください。
▲ 送り歯を確認後スタートして ください。	送り歯が下がっているときに、ぬい始めたと きに表示される警告文です。	送り歯を下げてぬおうとしている場 合以外のときは、送り歯を上げてく ださい。
	針板が外れているときに表示される警告メッ セージです。	針板を取り付けて、このメッセージ画 面が消えることを確認してください。 消えない場合は、もう一度取り付け 直してください。
 ・ ・ ・	ミシンのモーターに高い負荷がかかったとき に表示される警告メッセージです。	15 秒程待ち、その後、天秤、外がま、 糸切り部などにからみついている糸 くずを取り除きます。
◎ミシンの調子が悪いときの直し方

 ・・・・ 通常ぬいの場合の項目です。
 ・・・・ 刺しゅうの場合の項目です。 〔通〕

〔刺〕

何もなし … 通常ぬいと刺しゅうの共通の項目です。

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる	 1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針の付け方がまちがっている。 4. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 6. 糸がかまなどにからまっている。 7. 糸こまに上糸が引っかかっている。 〔通〕 8. ぬい始めに上糸を引き出して、押さえで押さえていない。 〔刺〕 9. ぬい始めに上糸を糸押さえにかけていない。 	31 ページ参照 38 ページ参照 24 ページ参照 25 ページ参照 213 ページ参照 糸こま押さえを付ける 43 ページ参照 146 ページ参照
下糸が切れる	1. 下糸の通し方がまちがっている。 2. 内がまの中にごみがたまっている。 3. ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。 4. 下糸の巻き方がゆるい。	29 ページ参照 213 ページ参照 ボビンを交換する 巻く速度を速くする
針が折れる	 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 4. 布に対して針が細すぎる。 〔通〕 5. ぬい終わったとき布を手前に引いている。 〔通〕 6. 模様に合った押さえを使用していない。 	24 ページ参照 24 ページ参照 24 ページ参照 25 ページ参照 布を向こう側に出す 指定の押さえに交換する
ぬい目がとぶ	 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか針先がつぶれているか、品質の悪い針を 使用している。 3. 布に対して針と糸が合っていない。 4. ぬい目がとぶようなときに、付属のブルー針やパープル針 (または市販SP針)を使っていない。 5. 上糸のかけ方がまちがっている。 6. 押さえ圧が弱い。 7. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 (刺) 8. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 (刺) 9. 刺しゅう枠が正しく取り付けられていない。 	24 ページ参照 24 ページ参照 25 ページ参照 31 ページ参照 35 ページ参照 35 ページ参照 145 ページ参照 146 ページ参照
ぬい目がしわになる	 1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸・下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 3. 布に対して針が太すぎる。 4. 布に対してぬい目があらすぎる。 5. 押さえ圧が合っていない。 6. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 	38 ページ参照 29、31 ページ参照 25 ページ参照 ぬい目を細かくする 35 ページ参照 芯地を貼る
ぬいずれがおこる	〔通〕 1. 押さえ圧が合っていない。	35 ページ参照
布送りがうまくいかない	 〔通〕 1. 送り歯に糸くずがたまっている。 〔通〕 2. ぬい目が細かすぎる。 〔通〕 3. 押さえ圧が弱い。 〔通〕 4. 厚手の布のぬい始めに布が送れない。 〔通〕 5. 送り歯がさがっている。 	213 ページ参照 ぬい目をあらくする 35 ページ参照 43 ページ参照 34 ページ参照
ぬい目に輪ができる	1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。	38 ページ参照 25 ページ参照
ボタンホールが うまくぬえない	 〔通〕 1. 布に対してぬい目のあらさが合っていない。 〔通〕 2. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 〔通〕 3. ボタンホール切りかえレバーがさがっていない。 	60 ページ参照 56 ページ参照 57、59 ページ参照
音が高い	 わまの部分に糸くずが巻きこまれている。 1. かまの部分に糸くずが巻きこまれている。 2. 電源投入時、制御モータからわずかな共鳴音がでる。 〔通〕 3. 送り歯にごみがたまっている。 	213 ページ参照 異常ではありません 213 ページ参照

調子が悪い場合	その原因	直し方
模様がきれいにぬえない	 ボビンのセットがまちがっている。 (ボビンの入れる方向・下糸が内がまのばねに入ってない。) 上糸調子が強すぎる。 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 4. 指定の押さえを使用していない。 5. 布の種類や厚さ、ぬい速度などに対してミシンの送り調節が 合っていない。 「刺」6. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 7. 刺しゅう枠のつまみがゆるんでいる。 キャリッジ移動時に、ミシン周辺に置いてある物にあたって いる。 	29 ページ参照 38 ページ参照 芯地を貼る 指定の押さえを使用する 18 ページ参照 145 ページ参照 146 ページ参照 146 ページ参照
 糸切りボタン(自動糸切り) でうまく糸が切れない	1. 使用している糸が太すぎる。 2 糸がからまっている。	12ページ参照
- 部の模様しか選べない	(通) 1. 直線ぬい用針板が取り付けられている。(直線ぬい用針板が取り付けられている。(直線ぬい用針板が取り付けられているあいだは、安全のために、実用ぬいグループと用途選択グループの直線ぬい用針板専用の模様しか選択できないようになっています。)	通常の針板に交換する 23、49 ページ参照
ミシンが動かない	 1. 電源のつなぎ方がまちがっている。 2. かまに糸やごみがたまっている。 3. 上糸が外れ、ボビンにからまっている。(ガチャガチャ音がする) 4. 押さえ上げがさがっていない。 5. 上糸が天秤から外れ、他の部品にからまっている。 (通) 6. フットコントローラーが接続された状態で、スタート / ストップボタンを使用している。 〔刺〕 7. フットコントローラーで刺しゅうを行おうとしている。 	9ページ参照 213ページ参照 上糸かけを確認する 16ページ参照 電源を切り、からまっている糸 を取る フットコントローラーを外す スタート / ストップボタンで行う
布裏で糸がからまる	1. 上糸のかけ方が間違っている。 [手順 2 の図]	31 ページ参照 [からまっている糸の取り方] 手順1.電源スイッチを切る 手順2.押さえ上げと針をあげ、 ハサミで布裏の糸を切る 手順3.針板を外す (23、213ページ参照) 手順4.ボビン、内がまを外し、 からまっている糸を取る (213ページ参照) 手順5.内がま、ボビンをセット し、針板を取り付ける (23、213ページ参照) 手順6.上糸をかけ直す (31ページ参照)
ボビンにうまく 下糸が巻けない	 1. 糸のかけ方がまちがっている。 2. ボビンの上 または、下 に巻きが片寄っている。 (調整ねじを (調整ねじを 左に回す) 右に回す) 糸案内カバー(A) 調整ねじ 	27 ページ参照 調節ねじをまわす 注意:調整ねじを回すはんいは 1回転までにしてください。 部品が外れます。
画面が見にくい	1. 画面のコントラストが合っていない。	199ページ参照

※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モータから発生している もので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 長時間使うと操作ボタンやタッチパネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、 ぬい作業上はとくに問題はありません。

●ミシンの調子が悪いときの直し方(自動糸通し)



自動糸通しが動かなくなったり、自動的に上にもどらな くなったときは、以下の通りにしてください。

ゆっくりとはずみ車を前後に回して、針を少しだけ上げる。 そうすると、自動糸通しは自動的に上にもどります。

それでも上にもどらなかったときは、以下の手順にしたがってください。

電源スイッチを切る。
 面板をあける。

② 軸についてる金属製の板を指で押しあげる。



- ON OFF OF OF
- ③ 面板をとじる。 電源スイッチを入れる。



じつようぬい

アップリケ

Image: Second state Image: Second state<

かざりもよう 1

$\begin{array}{c} & & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & & \\ & & & & \\ & & &$

キルト

1/4"| 7mm 111 ł لىلىيلى 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 孝業業贅業図目業)€重員美茶豪美 ne ne 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 62 63 64 65 66 67 61

つなぎもよう

01 02 03 04 05 06 07

・赤い表示の模様は、直線針板対応模様です。

・模様を四角に塗って表示している模様は、上下反転ができる模様です。

かざりもよう2

01 02 03 04 05 06 07 08 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 <u>388x6¢∲}&⇔88***+3}≥383**\$</u> 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 100 101 102 103 104 105 106 107 108

ロングステッチ



ワンポイント

Descores and the state of the s 09 10 03 04 05 06 07 08 01 02 17 18 19 20 21 22 23 24 ŊĦŶŦĔĠĠĠŔĹĬMĬĨĿ 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41

TUT Stick S 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11

・模様を四角に塗って表示している模様は、上下反転ができる模様です。



明朝体(9)9mm
-------	------

あいうえおかきくけこさしすせそ たちつてとなにぬねのはひふへほ
まみむめもやゆよらりるれろわを ん、。ぁぃぅぇぉっゃゅょ-
がぎぐげござじずぜぞだちづでど ばびぶべぼぱぴぷぺぽゔ
アイウエオカキクケコサシスセソ タチッテトナニヌネノハヒフへホ
マミムメモヤユヨラリルレロワヲ ン、。アイウェオッヤユョー
ガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデド バビブベボパピプペポヴ

まるもじ (9mm)

あいうえおかきくけこさしすせそ
たちつてとなにぬねのはひふへほ
まみむめもやゆよらりるれろわを
[h] () [b] [
がぎぐげござじずぜぞだぢづでど
ぼびぶべぼぱぴぷぺぽう
アイウエオカキクケコサシスセソ
$[9][f][y][f][h][f][z][x][\lambda][J][N][L][J][\Lambda][\pi]$
REDAMERERATE
$ \bigcirc \ \ \bigcirc \ \ \bigcirc \ \ \bigcirc \ \ \land \ \ \bigcirc \ \ \land \ \ \bigcirc \ \ \land \ \) \ \ \land \ \ \bigcirc \ \ \land \ \) \ \) \ \) \ \) \ \) \ \ $
ガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデド
(バ)(ビ)(ブ)(ベ)(ボ)(パ)(ピ)(プ)(ペ)(ボ)(ヴ)

リック	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . I I I a b c d e f 9 h i j k I m n o p q r s t u v w x y z . I<
スクリプト	A B C D E F G K J J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ a l c d e & g k i j k l m n o P & r z t u v w x Y z . □ □ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$@ , ? i ! i ' ' <> () - + = / M % ~ : À Á Â Ă Ă Ă K Ç Ê Ê Ê Ê Ĵ Ĵ Ĵ Ň Ò Ô Ô Ô Ô O Ù Ú Û Û B A É E G Ĵ J Ł N N E S Ş Y Z Ż Ż à á â Ä Č E S Ş Y Z Ż Ż à á â Ä Č E S Ş Y Z Ż Ż à á â Ä Č E S Ş Y Z Ż Ż
ブロードウェイ	$\begin{array}{c} ABCDEFGHIJKLMN\\ OPQRSTUVWXYZ. \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \$
ブロック (9mm)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$@ , ? ¿ ! i ' ' < > () - + = / // % ~ :
シンボル	┿★♡◇☆☆☆☆☆☆△○�✦ ӭ╪┢ЈЈ♪♬米跶♡Ü.



模様画像の縮尺は異なります。

ワールド



デザインセレクション



(FA10)

デザインセレクション



ホリデーデザイン



Noriko Nozawa コレクション



※外形線や色が付いている所にできる白いすき間は、デザインです。

がなはコレクション フラワー



がなはコレクション キッチン



がなはコレクション キッズ



がなはコレクション スイーツ



がなはコレクション ソーイング



がなはコレクション その他



がなはコレクション レッドワーク





刺し子デザイン



キルティング



クロスステッチ



アップリケデザイン



ABCDEFGHIJ KLMNOPQRST UVWXYZo (SQ23)

モチーフアルファベット デザイン



フリンジ (SQ14) (FA10)

フラッグデザイン				
(5	SQ14)	\bigvee	(SQ23)	(GR)

クロスセッター模様

				(SQ14)

●【刺しゅうぬい文字】

明朝体



まるもじ



ゴシック

 $\begin{array}{c} A B C D E F G H I J K L M N \\ O P Q R S T U V W X Y Z . \Box \Box \\ a b C d e f g h i j k I m n \\ o P q r s t u v w x Y Z . \Box \Box \\ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ $ @ . \\ \cdot ,? & . I i' ? < > () - + = \\ / / % ~ : \\ \dot{A} \dot{A} \ddot{A} \ddot{A} \dot{A} \dot{E} \dot{C} \dot{E} \dot{E} \dot{E} \dot{I} \dot{I} \\ \ddot{I} \dot{N} \dot{O} \dot{O} \ddot{O} \ddot{O} \dot{U} \dot{U} \ddot{U} \dot{B} \dot{A} \dot{C} \\ \hline E \ddot{G} I J \dot{L} \dot{N} \dot{N} & E \dot{S} \dot{S} \dot{Y} \dot{Z} \dot{Z} \dot{Z} \\ \dot{a} \dot{a} \ddot{a} \ddot{a} \ddot{a} & \hat{a} & \hat{C} \dot{e} \dot{e} \dot{e} \dot{e} \dot{I} \hat{I} \\ \ddot{I} \ddot{N} \dot{O} \dot{O} \ddot{O} \ddot{O} & \dot{U} \dot{U} \ddot{U} \dot{U} \dot{G} \dot{A} \dot{C} \\ \hline E \ddot{G} I J \dot{L} \dot{N} & \dot{N} & \dot{C} \dot{S} \dot{S} \dot{Y} \dot{Z} \dot{Z} \dot{Z} \\ \dot{a} \dot{a} \ddot{a} \ddot{a} \ddot{a} & \hat{a} & \hat{C} \dot{e} \dot{e} \dot{e} \dot{e} \dot{e} \dot{I} \hat{I} \\ \ddot{I} & \ddot{N} \dot{O} \dot{O} \ddot{O} \ddot{O} & \dot{U} \dot{U} \ddot{U} \dot{U} \dot{U} \dot{C} \dot{C} \\ \hline e \ddot{g} I \ddot{J} \dot{L} \dot{N} & \dot{M} & \dot{C} \dot{S} \dot{S} \dot{Y} \dot{Z} \dot{Z} \dot{Z} \end{array}$

スクリプト

 $\begin{array}{c} \mathcal{A} \ \mathcal{B} \ \mathcal{C} \ \mathcal{D} \ \mathcal{E} \ \mathcal{F} \ \mathcal{G} \ \mathcal{H} \ \mathcal{J} \ \mathcal{K} \ \mathcal{L} \ \mathcal{M} \ \mathcal{N} \\ \mathcal{O} \ \mathcal{P} \ \mathcal{Q} \ \mathcal{R} \ \mathcal{S} \ \mathcal{J} \ \mathcal{U} \ \mathcal{I} \ \mathcal{I} \ \Box \ \Box \\ a \ b \ c \ d \ e \ \ \mathcal{I} \ \mathcal{G} \ \mathcal{G} \ \mathcal{R} \ \mathcal{S} \ \mathcal{J} \ \mathcal{U} \$

 X
 X
 X
 X
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y
 Y</t

チェルトナム

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.abcdefghijklmnoPqrstuvwXYZ.1234567890&-\$@. $\cdot,? \cdot ! i' ' < > () - + =$ / / / ~ :ÀÁÂÂÄÅÆÇÈÉÊÌÍÍĨÑÒÓÕÕØÙÚÚÜBAĆEĞIJŁŃŇEڧÝŹŽàáããåæçèéêềìíîĩñòóôõøùúúüBacęğlijłńňeś§ýźž

バウハウス



ギャラン

 $\begin{array}{c} & & & & \\ & & & \\$

タイピスト

	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
0	P	ଢ଼	R	8	T	U	V	W	X	Y				
a	b	C	d	e	f	g	h	i	j	k	1	m	n	
0	p	q	r	8	t	u	V	W	X	y	2			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	ഋ		\$	0	
•	,	?	ઢ		(i	•)	<	\geq			-	$\left \begin{array}{c} \bullet \end{array} \right $	
		%	~											
À	Á)	Â	Ã	Ä	Å	æ	Ç	È	É	Ê	Ë	1	Í	Î
Ī	Ñ	ð	Ó	Ô	Ő	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	ß	A	Ć
Ę	Ğ	İ	IJ	Ł	Ń	Ň	Œ	Ś	Ş	Ý	Ź	Ż	Ž	
à)	á)	â	ã	ä	å)	8	Ç	(è)	é	ê	(ë)	ì	í	î
ī	ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	ù	ú	û	ü	ß	a ,	Ć
ę	ğ	1	ij	Ł	ń	ň	œ	Ś	Ş	ý	ź	Ż	Ž	

ブラシ



ホローブロック



 π−ダ−1

000	C	*	Ļ	Ĵ		Q	*	/##		~/	Ş	5	٢	Л	••	∞	• ○]	*		•	\Diamond	\diamond
	γ.	>	8	<i>ce</i> 2	\sim		\bigcirc	*	\sim	-54	44	•	•	#		•••	×	•••	×			

ボーダー 2

マイクロゴシック

ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ.DD
abcdef9hijk1mn
opqrstuvwxyz. 🗆
1234567890&-\$@.
· ,?¿!;' '<>())-+=



	仕 様
使用電圧	100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	75 W
外形寸法	幅 62.4 cm× 奥行 26.2 cm× 高さ 32.0 cm
質 量	15.8 kg(本体)
使用針	家庭用 HAX1
亘古めい市府	毎分1060針(直線模様)
取同ゆい述反	フットコントローラー使用時 毎分 1060 針(直線模様)

仕様および外観は改良のため予 告なく変更することがあります のでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますので お申し付けください。

修理用部品の保有期間

● 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要 に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとでも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。 ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 - 1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - 2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - 3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷 したとき。
 - 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。 お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

株式会社ジャノメ

〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

お客様相談室 TEL. 0120-026-557(フリーダイヤル) 042-661-2600

受付 平日 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ https://www.janome.co.jp <u>問合せフォーム</u>をご利用ください。



862862004 (6)